

鳥取県の政策に関する県民意識調査
結果報告書
(令和4年6月調査)

令和4年 10 月



目 次

	ページ
【 調査の概要 】	
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
3 資料のみかた.....	1
4 回収状況と信頼区間	2
5 回答者の情報	3
【 結果の概要 】	
結果の概要.....	6
【 調査結果 】	
I 鳥取県の住みやすさについて.....	9
問 1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか.....	9
問 2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください	11
問 3 あなたは鳥取県での暮らしについてどう思われますか	13
問 4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今どの程度「幸せ」ですか.....	15
問 5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか	17
II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について.....	19
1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる.....	19
問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度	19
問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度	23
2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む	25
問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度	25
問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度	29
3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ.....	31
問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度	31
問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度	35
4 男女共同参画社会づくり.....	37
問 7 男女に関する役割についてどう思いますか.....	37
問 8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思 いますか.....	38
問 9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思 いますか.....	40
5 SDGs(持続可能な開発目標)の推進.....	42
問 10 あなたは国連で採択された SDGsという言葉・内容を聞いたことがありますか	42
問 11 SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか	44
問 12 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか	46
問 13 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、「2030 年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき 課題は何だと思 いますか.....	48

Ⅲ	重点施策への関心・認識	50
問 14	「脱炭素社会」を目指す取組は、あなたの生活を豊かにすると思いますか	50
問 15	「とっとりエコライフ構想」を進めていくうえで、あなたが特に重要と考える施策はどれですか	52
問 16	電気自動車(EV)導入を促進するために、あなたが必要と思うことは何ですか	54
問 17	太陽光発電設備の設置時の初期費用が不要な「PPA」への関心度について	56
問 18	とっとり健康省エネ住宅(NE-ST(ネスト))についての認知度及び関心度について	58
	<とっとり健康省エネ住宅(NE-ST(ネスト))の認知度について>	58
	<とっとり健康省エネ住宅(NE-ST(ネスト))の関心度について>	60
【 自由記載 】	(問5、問8、問9、問 11、問 16 の回答を含む自由記載)	62
【 資料 】		
	調査票	66
	集計結果	78

【調査の概要】

1 調査の目的

鳥取県は、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取組を進めています。

これからも、県民の皆さんが住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう現在の状況や今後の要望など、率直なご意見をお伺いするため調査を行ったものです。

2 調査の概要

- (1)調査対象 鳥取県内在住の18歳以上75歳未満の者 3,000名
- (2)抽出方法 住民基本台帳に基づく無作為抽出法
- (3)調査時期 令和4年6月
- (4)調査方法 (2)により抽出した者に対し、郵送により調査票を送付して、回答は郵送またはインターネットにより受付した。なお、調査票の提出は無記名とした。
- (5)有効回答数 1,760名
- (6)回収率 58.7% (1,760/3,000)
・郵送回答:1,097(62.3%)・インターネット回答:663(37.7%)
- (7)回答者の属性 性別:男性736人(41.8%)、女性944人(53.6%)
その他・回答したくない35人(2.0%)、無回答45人(2.6%)
年齢:18~19歳(2.8%)、20~29歳(10.2%)、30~39歳(13.7%)、
40~49歳(15.9%)、50~59歳(17.5%)、60~69歳(25.5%)、
70歳以上(12.9%)、無回答(1.5%)

3 資料のみかた

(1) 比率(%:パーセント)の表示について

原則として、各設問の無回答を含む集計対象総数(副設問では設問該当対象数)に対する百分率(%)を表している。複数回答を求める設問では、百分率の合計は100%を超える。

また、百分率は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。このため、百分率の合計が100%とならず、端数が生じたものがある。

(2)「無回答」の取り扱いについて

以下については「無回答」として取り扱うこととした。

- ・回答が選択されていない場合
- ・指定回答数以上を回答している場合 例)単数回答の設問に複数回答を行っている場合など

(3)クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」標本の取り扱いについて

クロス集計の「性別:その他」及び「年代:18~19歳」は標本数が少ないため、他の性別又は年代と比較・分析する場合は除外することとした。

※「性別:その他(50~59歳)」については、該当者なしのため記載なし。

4 回収状況と信頼区間

(1) 必要標本数について

今回の調査においては、18歳以上75歳未満の鳥取県推計人口366,553人(令和3年10月1日時点)から無作為に3,000人を抽出し、調査の依頼を行った。そのうち有効回答数は1,760人であり、回収率は58.7%であった。

まず、標本数の設定については、次の式によって与えられる。

$$A = \frac{N}{\left[\frac{\varepsilon}{X(\alpha)} \right]^2 \cdot \frac{N-1}{\sigma^2} + 1}$$

- A = 必要標本数
- α = 推定を誤る確率
- $X(\alpha)$ = 正規分布の性質から与えられる値(1.96)
- N = 母集団の大きさ(満18歳以上75歳未満の県民)
- σ^2 = 母分散
- ε = 精度

本調査では、信頼度を95%として計算を行った。この場合、 $X(\alpha)$ は、1.96であり、母集団の大きさは366,553人。精度を仮に3%、母比率を50%とし、それぞれ代入して計算すると、以下のとおりとなる。

$$A = \frac{366,553}{\left[\frac{3}{1.96} \right]^2 \cdot \frac{366,552}{50 \times 50} + 1} = 1064.013$$

よって、今回の調査において必要な最小標本数は1,064人であり、有効回答1,760人はこの条件を満たしているといえる。

(2) 標本誤差について

有効回答票の標本誤差を次の式によって計算した。

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{N-n}{N-1} \right] \cdot \frac{Q(1-Q)}{n}}$$

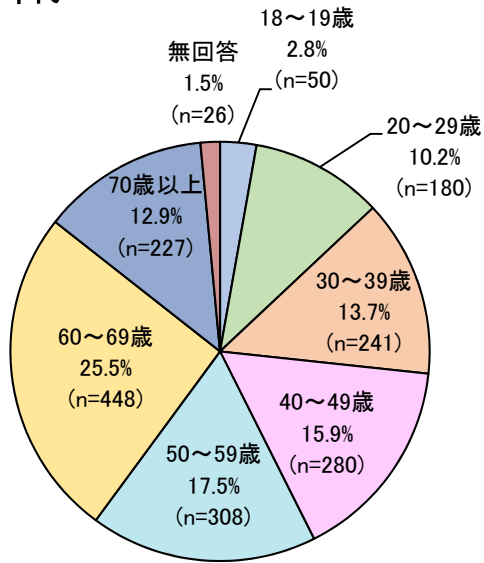
- B = 標本誤差
- N = 母集団の大きさ(満18歳以上75歳未満の県民)
- n = 回答者総数(1,760人)
- Q = 母比率(0.5とする)

$$B = \pm 1.96 \cdot \sqrt{\left[\frac{364,793}{366,552} \right] \cdot \frac{0.5(1-0.5)}{1,760}} = \pm 2.33$$

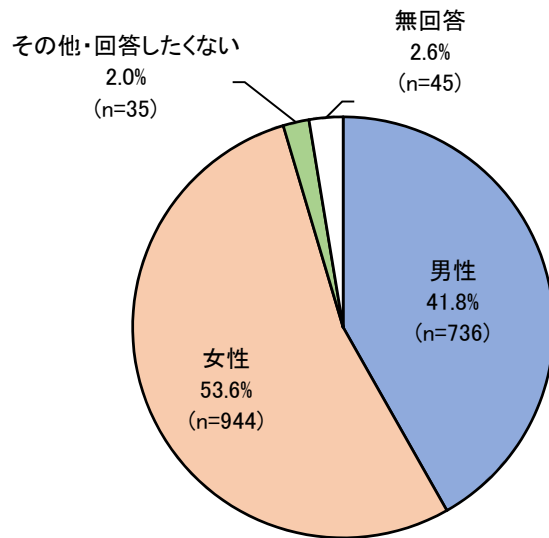
すなわち、標本誤差は $\pm 2.3\%$ しかないといえる。

5 回答者の情報

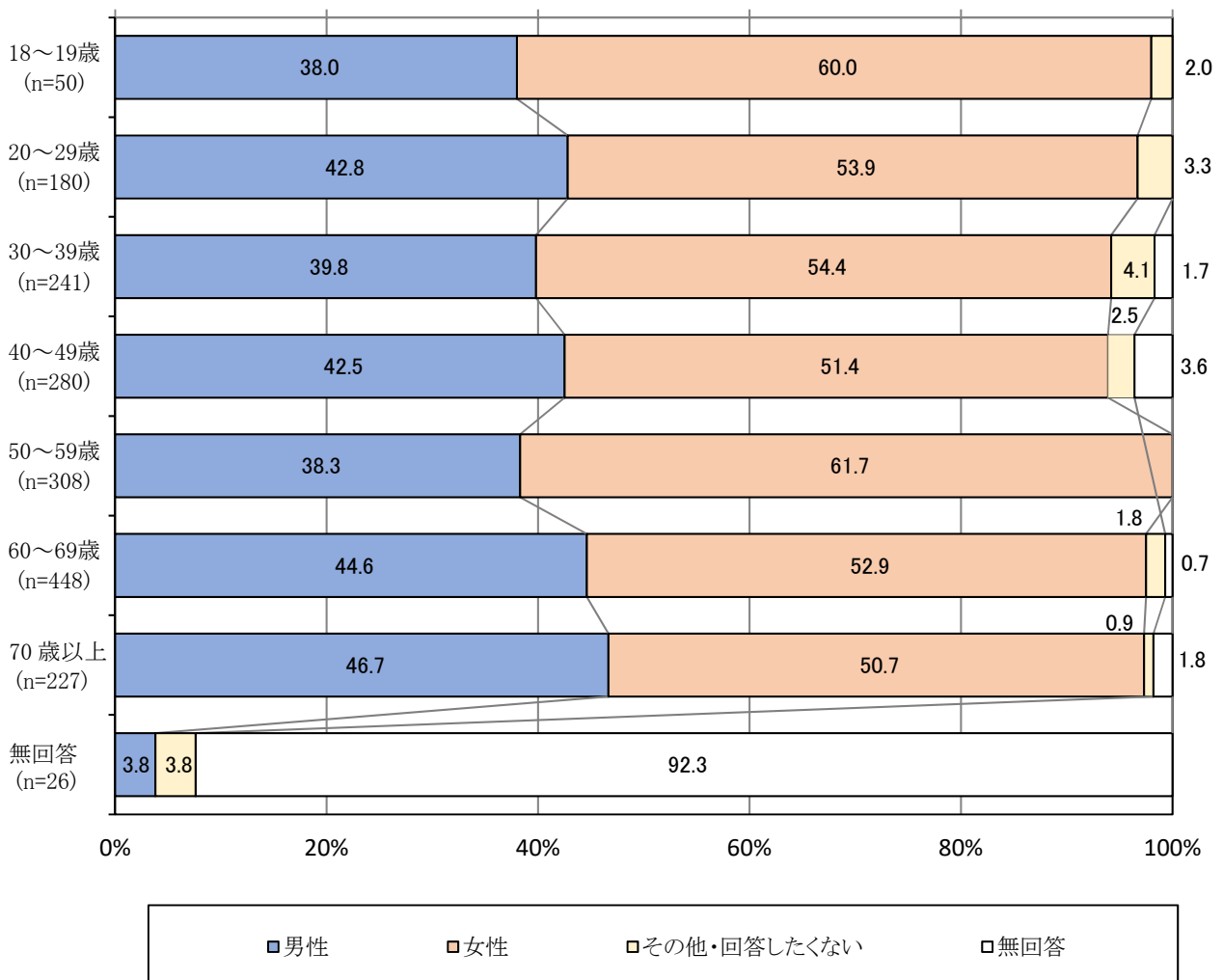
(1) 年代



(2) 性別



(3) 性別 × 年代



<市町村別調査対象者数>

区 分		人 口			抽 出 数		
		男性	女性	合計	男性	女性	合計
東 部 地 区	鳥取市	63,855	63,722	127,577	522	522	1,044
	岩美町	3,597	3,546	7,143	30	29	59
	八頭町	5,270	5,259	10,529	43	43	86
	若桜町	886	853	1,739	7	7	14
	智頭町	2,047	1,971	4,018	17	16	33
	(小計)	75,655	75,351	151,006	619	617	1,236
中 部 地 区	倉吉市	14,627	15,483	30,110	119	127	246
	湯梨浜町	5,264	5,344	10,608	43	44	87
	三朝町	1,930	1,885	3,815	16	15	31
	北栄町	4,652	4,793	9,445	38	39	77
	琴浦町	5,180	5,224	10,404	42	43	85
	(小計)	31,653	32,729	64,382	258	268	526
西 部 地 区	米子市	47,585	50,121	97,706	390	410	800
	境港市	11,008	10,907	21,915	90	89	179
	南部町	3,392	3,396	6,788	28	28	56
	伯耆町	3,418	3,390	6,808	28	28	56
	日吉津村	1,147	1,230	2,377	10	10	20
	大山町	4,972	4,842	9,814	40	40	80
	日南町	1,322	1,111	2,433	11	9	20
	日野町	887	853	1,740	7	7	14
	江府町	802	782	1,584	7	6	13
	(小計)	74,533	76,632	151,165	611	627	1,238
合 計		181,841	184,712	366,553	1,488	1,512	3,000

<回答者の情報>

【性別】

区分	件数	割合(%)
男性	736	41.8
女性	944	53.6
その他 ・回答した くない	35	2.0
無回答	45	2.6
計	1,760	100

【年代】

区分	件数	割合(%)
18～19歳	50	2.8
20～29歳	180	10.2
30～39歳	241	13.7
40～49歳	280	15.9
50～59歳	308	17.5
60～69歳	448	25.5
70歳以上	227	12.9
無回答	26	1.5
計	1,760	100

【職業】

区分	件数	割合(%)
会社員 (公務員含む)	785	44.6
自営業 (家族従業者含む)	160	9.1
パート ・ アルバイト	292	16.6
学生	70	4.0
専業主婦 ・主夫	163	9.3
無職	252	14.3
無回答	38	2.2
計	1,760	100

【住まい】

区分	件数	割合(%)
鳥取市	614	34.9
米子市	451	25.6
倉吉市	133	7.6
境港市	97	5.5
岩美町	36	2.0
八頭町	56	3.2
若桜町	7	0.4
智頭町	19	1.1
湯梨浜町	59	3.4
三朝町	19	1.1
北栄町	55	3.1
琴浦町	41	2.3
南部町	28	1.6
伯耆町	30	1.7
日吉津村	12	0.7
大山町	40	2.3
日南町	13	0.7
日野町	9	0.5
江府町	11	0.6
無回答	30	1.7
計	1,760	100

【 結 果 の 概 要 】

I 鳥取県の住みやすさについて

- 鳥取県に対する愛着や誇りは、約7割の人が「感じている」又は「少し感じている」と答えている。
- 今暮らしている地域について、約6割の人が「住みやすい」と答えている。
- 鳥取県に暮らしていて、豊かな自然環境に恵まれていると思う人は約9割と圧倒的に多く、また5割以上の人が、治安が良い、住民が親切であると答えている。
- 生活するにあたっての公共交通機関の状況について、約6割の人が「整っていない」と思っている。
- 鳥取県での暮らしの幸せの程度について、約9割の人が「普通」から「とても幸せ」と答えている。
- 幸福度の判断で重視することについて、6割以上の人が「家計の状況」「自身の健康の状況」と答えている。

II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる】

- 「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」「農業の活力増進に関する取組」に満足を感じている割合が多い。一方で、農林水産・畜産業の担い手育成、外国人観光客に対する観光地づくりに不満を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」「農業の活力増進に関する取組」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む】

- 「感染症に強い地域づくり」「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「健康寿命の延伸」など、感染症対策、健康、結婚、出産、子育てに関する取組に満足を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「地域で子育て世代を支える取組」「女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ】

- 「アート・文化による地域づくりへの取組」「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」に満足を感じている割合が多い。一方で、「自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」に不満を感じている割合が多い。

（今後優先すべき重要度の高い項目）

- 「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が、今後優先すべき項目の上位を占めている。

【男女共同参画社会づくり】

- 男女に関する役割などについて、8割以上の人が「現実として家事や子育てが女性の役割となっていると思う」、約7割の人が「現実として介護が女性の役割となっていると思う」と答えている。
- 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために行政が行うべき施策について、約6割の人が「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」と答えている。
- 男女共同参画社会を実現するために行政が特に力をいれるべきことについて、5割以上の人が「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備」「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」、約4割の人が「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」と答えている。

【SDGs(持続可能な開発目標)の推進】

- SDGsという言葉・内容について、約9割の人が「聞いたことがある」と答えている。
- SDGsという言葉・内容をどうやって知ったかについて、約8割の人が「テレビ」、約5割の人が「新聞・雑誌」、約3割の人が「インターネット」と答えている。
- SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるかについて、約5割の人が「平和と安全・安心社会の実現」「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」と答えている。
- SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて行政が特に力を入れるべき課題について、約5割の人が「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」、約4割の人が「平和と安全・安心社会の実現」「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」と答えている。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

- 「脱炭素社会」を目指す取組について、約5割の人が生活を豊かにすると思っている。
- 「とっとりエコライフ構想」を進めていくうえで、特に重要と考える施策について、「森林の保全管理」が5割以上となっている。
- 電気自動車(EV)導入の促進に必要なことは、約8割の人が「低価格化」、約6割の人が「充電場所の拡充」と答えている。
- 太陽光発電設備の設置時の初期費用が不要な「PPA」への関心度について、約4割の人が「関心がある」と答えている。
- とっとり健康省エネ住宅(NE-ST(ネスト))についての認知度について、約6割の人が「聞いたことがない」、約3割の人が「聞いたことがあるが、内容は知らない」、1割未満の人が「だいたいの内容を知っていた」と答えている。
- とっとり健康省エネ住宅(NE-ST(ネスト))についての関心度について、関心がある(「かなり関心がある」「少し関心がある」と関心がない(「全く関心がない」「あまり関心がない」と答えている人は共に約3割となっている。

【 調 査 結 果 】

I 鳥取県の住みやすさについて

問1 あなたは、鳥取県に対して愛着や誇りを感じていますか。(〇は1つ)

～鳥取県に対しての愛着や誇りを感じている人が約7割～

鳥取県に対する愛着や誇りは、「感じている」が47.1%、「少し感じている」が24.7%と、愛着や誇りを感じている人が71.8%となっている。一方、「あまり感じていない」が3.8%、「感じていない」が1.9%で、愛着や誇りを感じていない人は、5.7%と1割に満たない。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、「感じている」「少し感じている」の合計は28年度が約8割と最も割合が高く、29年度以降は約7割とほぼ横ばいで推移している。令和4年度は前年度より2.2ポイント減少している。

年代別でみると、愛着や誇りを「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、70歳以上が最も高く、20歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、男女ともに70歳以上が最も高くなっており、女性では年代が上がるにつれ割合が高くなっている。

地域別でみると、「感じている」「少し感じている」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べて高くなっている。

図1 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(n=1,760)

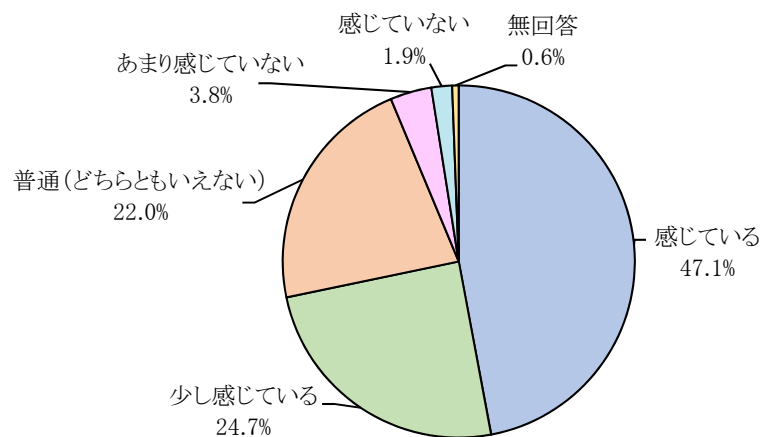


図2 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(年次比較)

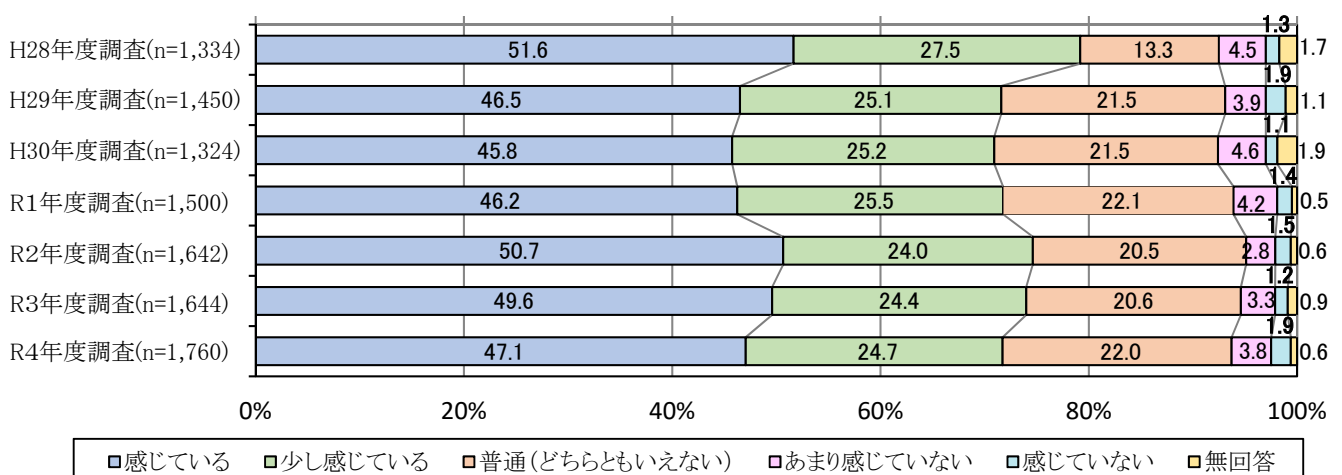
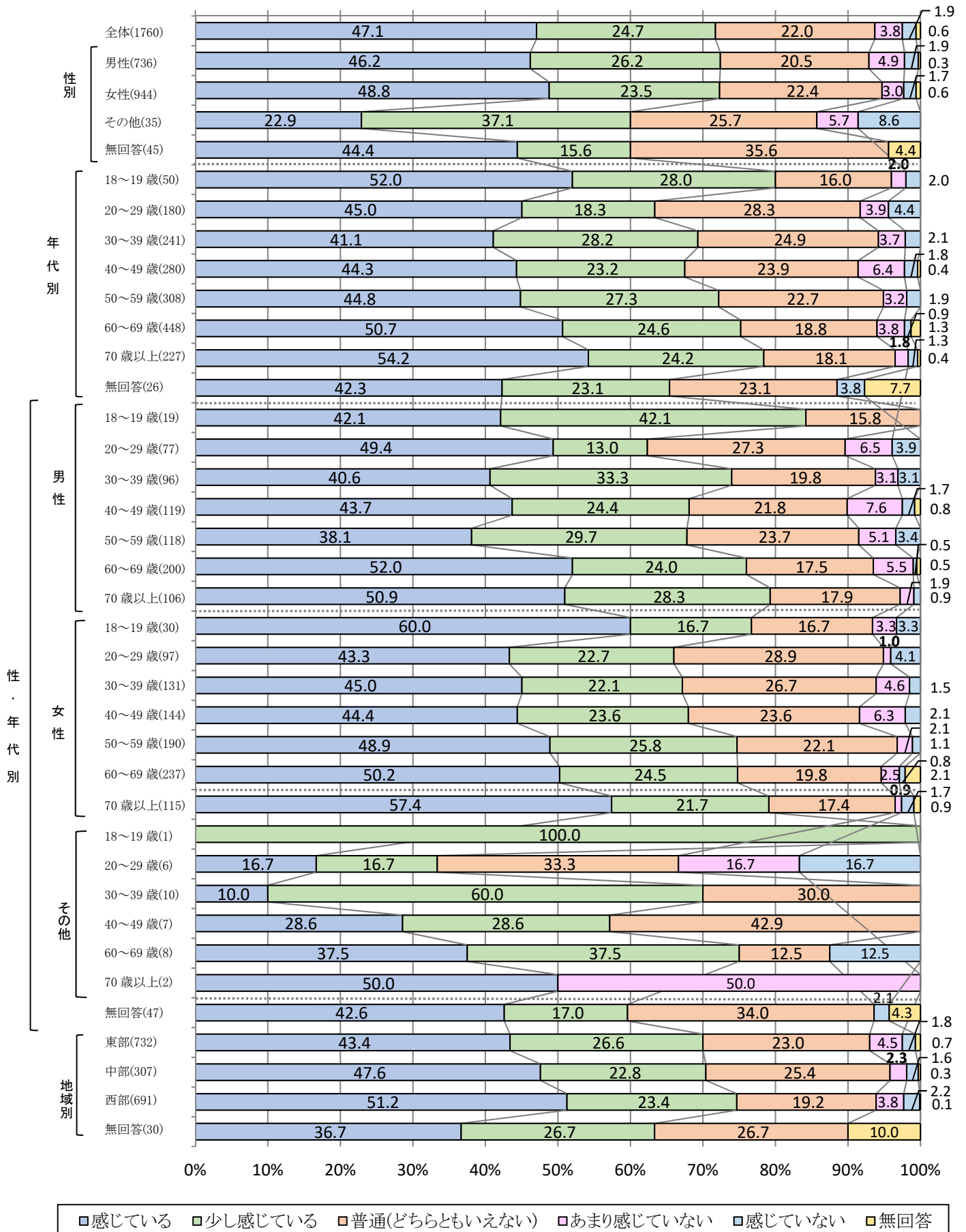


図3 鳥取県に対して愛着や誇りを感じているか(性別・年代別・地域別)



問2 あなたが、今暮らしている地域の住みやすさを教えてください。(○は1つ)

～「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせると約6割の人が住みやすいと回答～

今暮らしている地域の住みやすさは、「とても住みやすい」が19.0%、「どちらかという住みやすい」が44.5%で、住みやすいと答えている人が合わせて63.5%となっている。

一方、「どちらかという住みにくい」が6.6%、「住みにくい」が2.3%で、住みにくいと答えている人は合わせて8.9%となっている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」の合計は、28年度の74.9%が最も割合が高く、29年度以降は減少傾向にあった。2年度は前年度より9.4ポイントの増加となったが、3年度以降は減少している。

年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、30歳代が最も高く、20歳代が最も低くなっている。

性・年代別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、男性・女性共に30歳代と70歳代以上が高くなっている。

地域別でみると、「とても住みやすい」「どちらかという住みやすい」を合わせた割合は、西部地区が他の地域に比べ高くなっている。

図4 今暮らしている地域の住みやすさ(n=1,760)

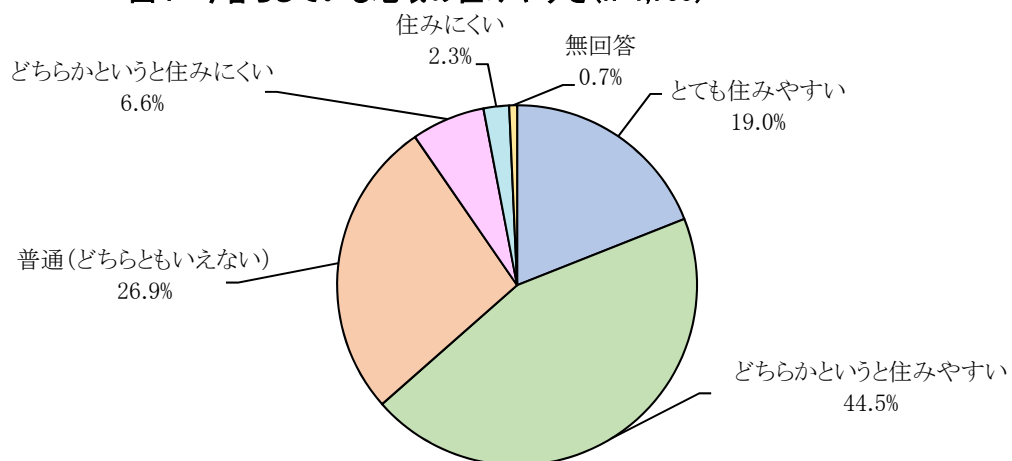


図5 今暮らしている地域の住みやすさ(年次比較)

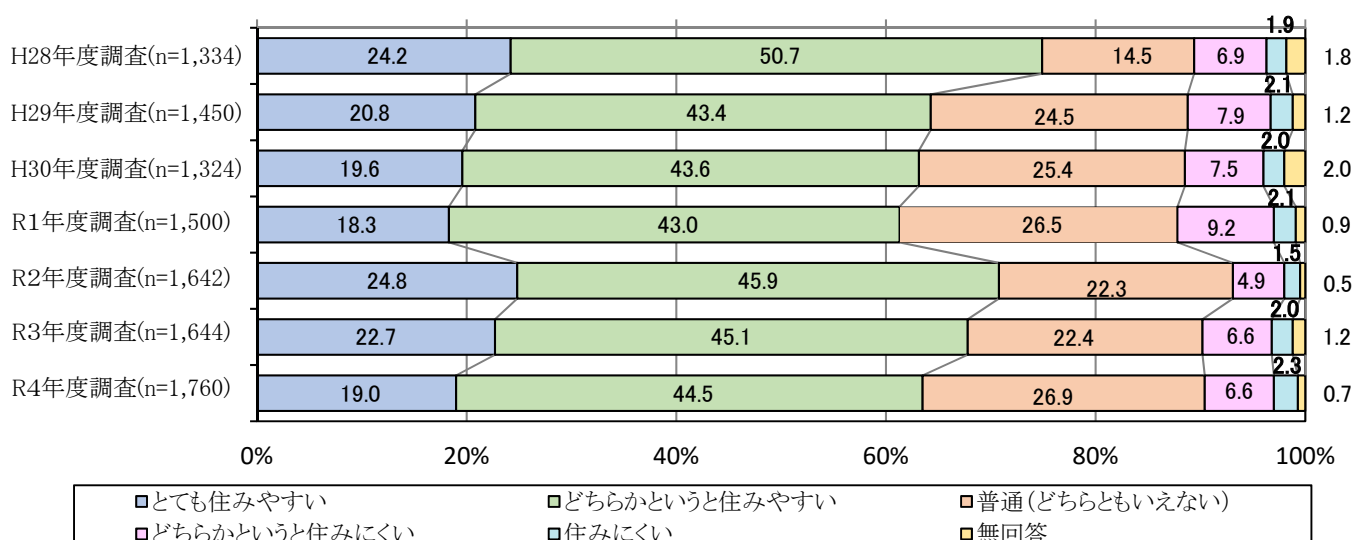
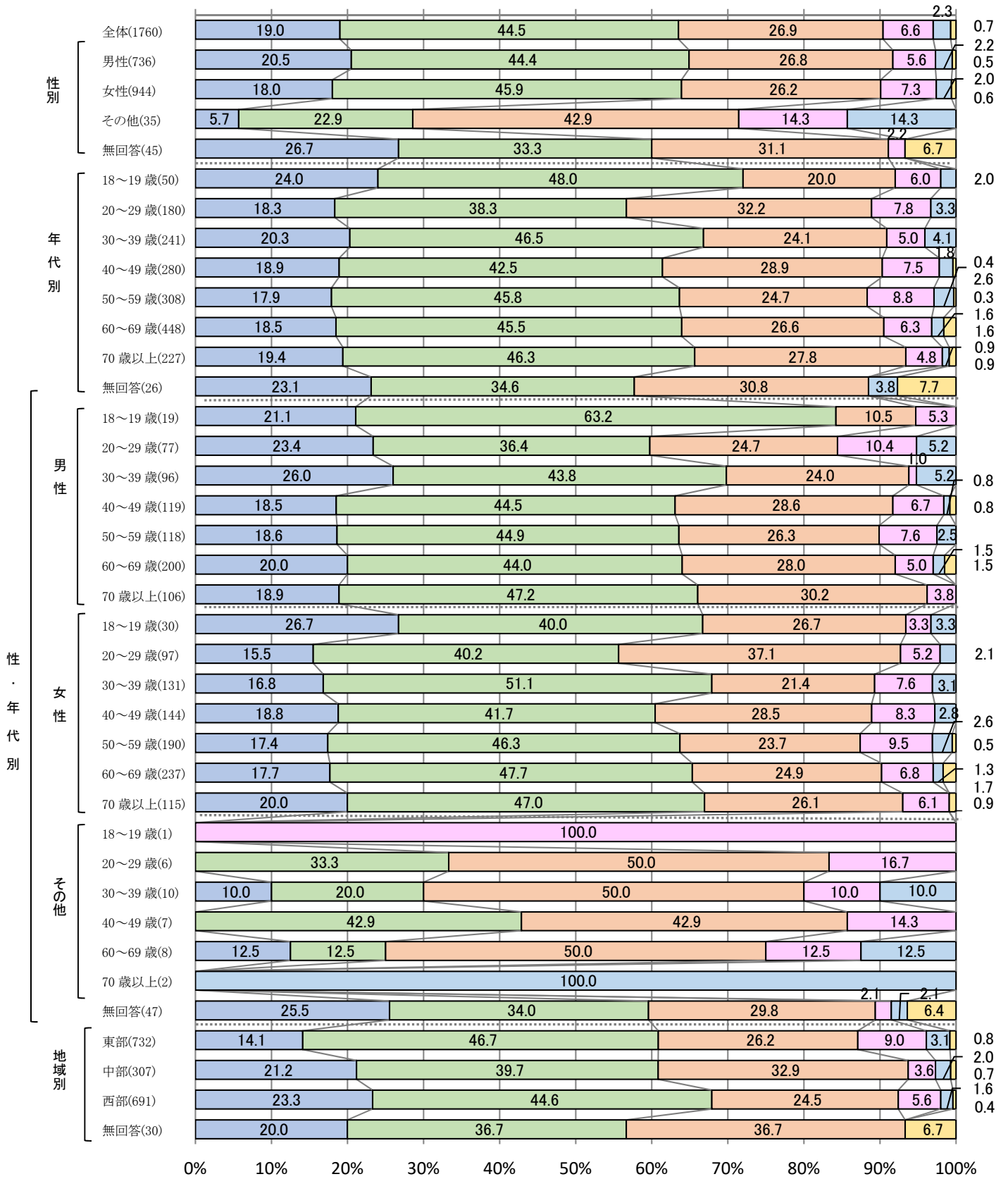


図6 今暮らしている地域の住みやすさ(性別・年代別・地域別)



とても住みやすい どちらかという住みやすい 普通(どちらともいえない)
どちらかという住みにくい 住みにくい 無回答

**問3 鳥取県に暮らしていて、次の項目(設問)についてどう思われますか。
項目ごとにいずれかに○を記入してください。**

～「豊かな自然環境に恵まれている」と思う人が約9割～

鳥取県に暮らしていてよく感じる(そう思う)項目は、上位項目では「豊かな自然環境に恵まれている」が90.9%と最も割合が高く、次いで「地域の治安が良いと感じている」が65.3%、「住んでいる住民(県民)が親切である」が54.4%、「地域での人と人とのつながりがある」が49.6%と続き、自然環境、治安、人とのつながりを鳥取県に暮らす良い面として答えている。

一方、鳥取県に暮らしていて良いと感じない(そう思わない)項目は、上位項目では「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」が60.1%で最も割合が高く、次いで「地域の防災組織が整っている」が16.6%、「ストレスなく日常生活を送ることができる」が16.4%と続いている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、「豊かな自然環境に恵まれている」は、よく感じる(そう思う)との回答が全ての年度で約9割、「住んでいる住民(県民)が親切である」は概ね5割台、「地域の治安が良いと感じている」は全ての年度で6割台となっている。

一方、「子育て支援が充実している」「ストレスなく日常生活を送ることができる」について、令和4年度はよく感じる(そう思う)は前年度に比べ、5ポイント以上減少している。また、「生活するにあたり、公共交通機関が整っている」は1割台で推移していたが、4年度は1割に達していない。

図7 鳥取県の暮らしについて(n=1,760)

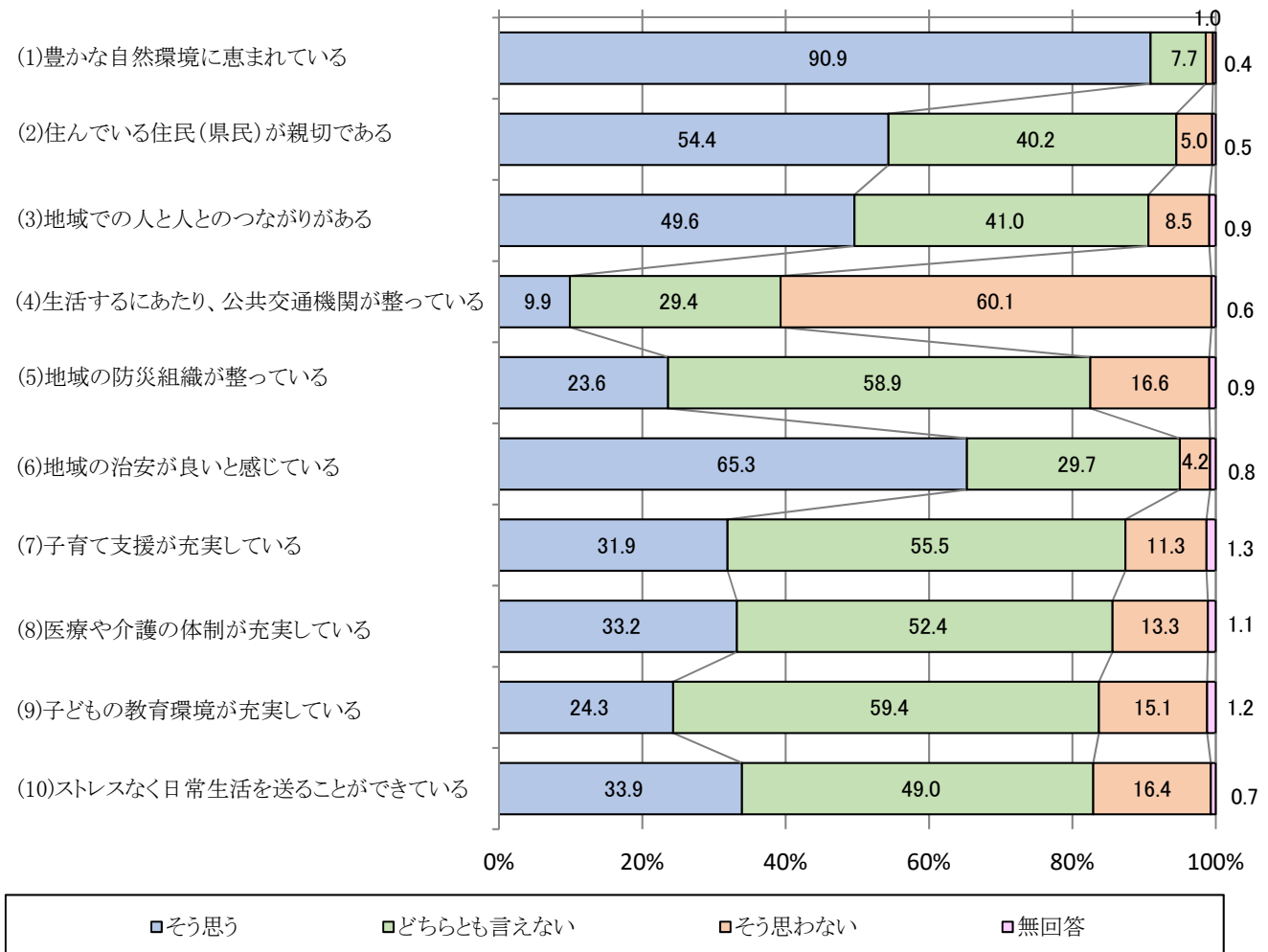
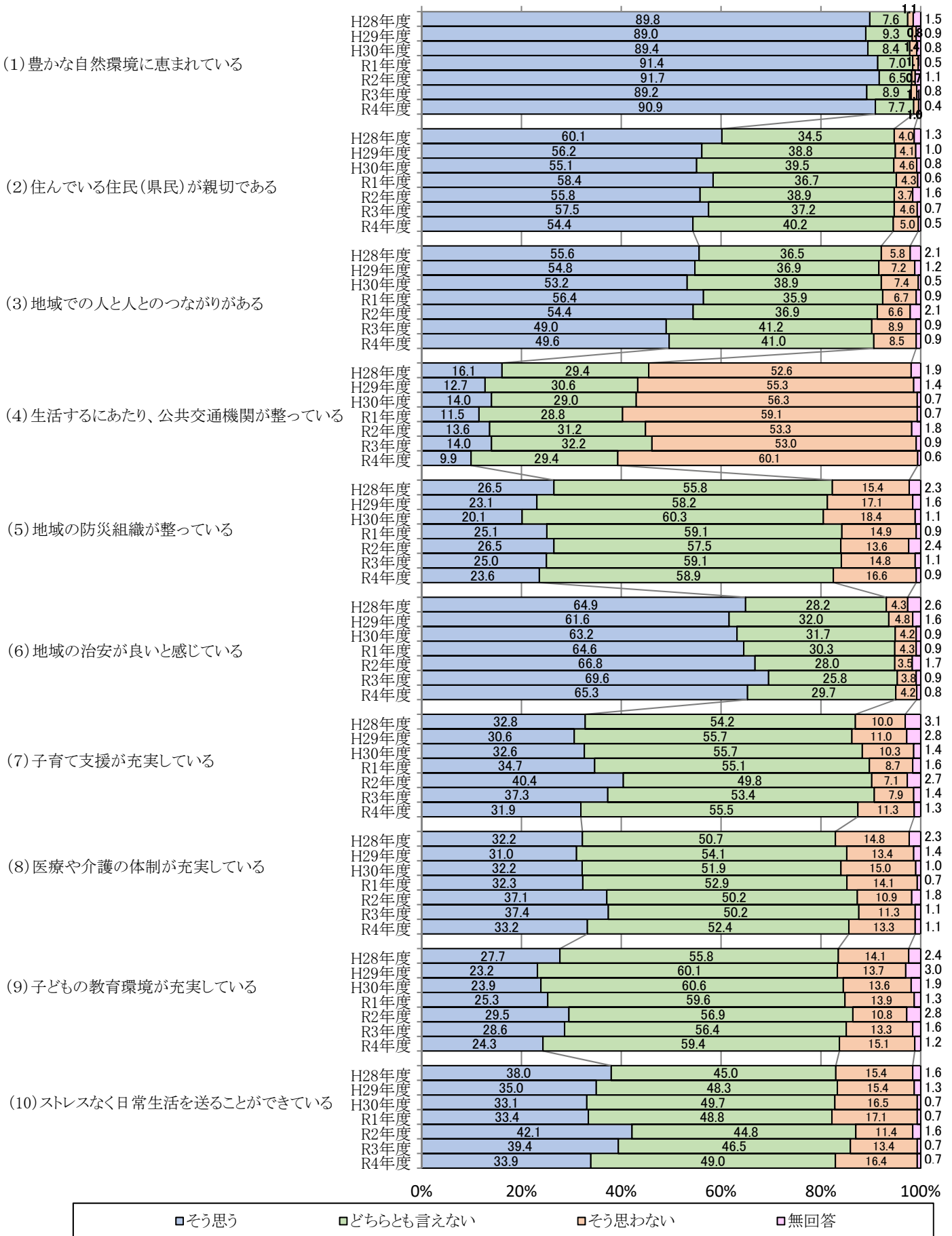


図8 鳥取県の暮らしについて(年次比較)



問4 鳥取県に暮らしていて、あなたは今の程度「幸せ」ですか。

～5点「普通」から10点「とても幸せ」が約9割～

幸福度について10点満点で質問したところ、5点「普通」が28.1%と最も割合が高く、8点が19.4%、7点が19.1%、6点が11.1%と続き、5点「普通」以上と回答した割合は89.1%となっている。

性・年代別でみると、幸福度5点「普通」は男性、女性共に70歳以上で高くなっている。

図9 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(年次比較)

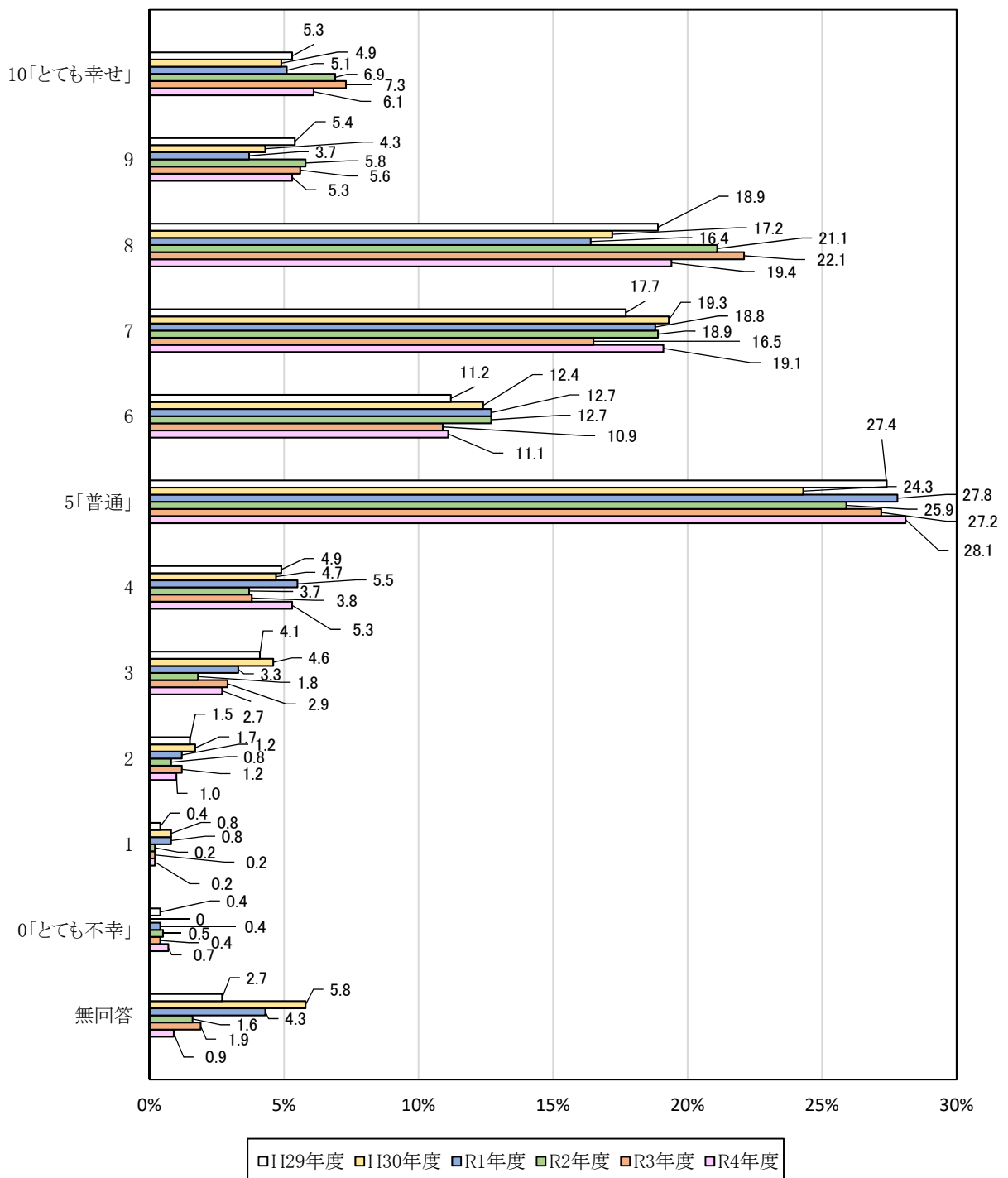
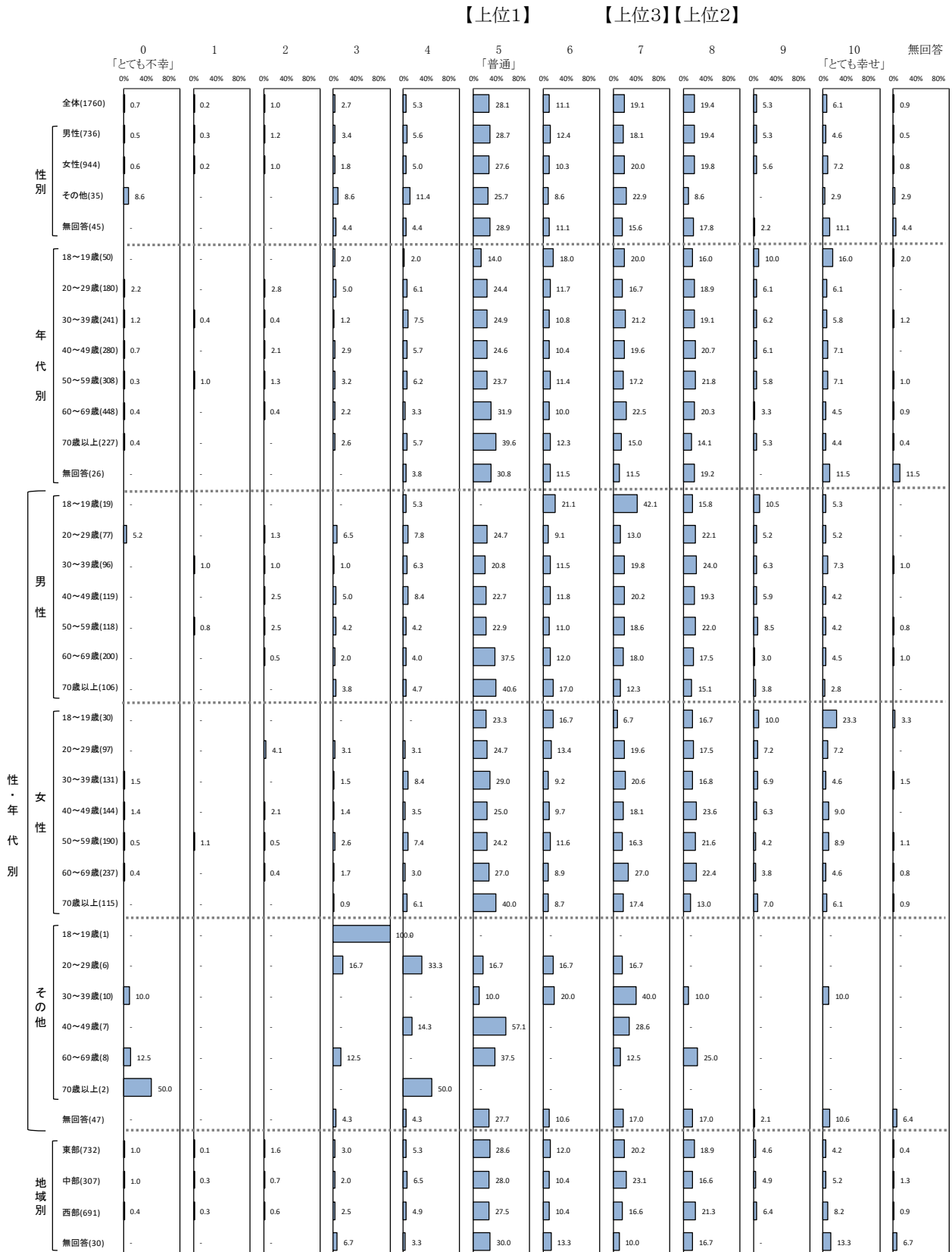


図 10 鳥取県に暮らしていて、「幸せ」ですか(性別・年代別・地域別)



問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(〇はいくつでも)

～「家計の状況」「自身の健康の状況」「家族関係」を重視～

幸福度を判断するときに重視することは、「家計の状況」が69.2%と最も割合が高く、次いで「自身の健康の状況」が67.4%、「家族関係」が59.0%となっている。

平成29年度-令和4年度を比較してみると、上位3項目は常に「自身の健康の状況」、「家計の状況」、「家族関係」となっている。また、4年度は前年度より「自由な時間(充実した余暇)」、「趣味などのいきがい」、「友人関係」が特に増加している。

年代別でみると、「家計の状況」は30～60歳代、「自身の健康の状況」は60歳代以上、「家族関係」は30～40歳代で高くなっている。

また、「精神的なゆとり」、「自由な時間(充実した余暇)」とも20～30歳代で高くなっている。

図11 「幸福度」の判断で重視すること(年次比較)

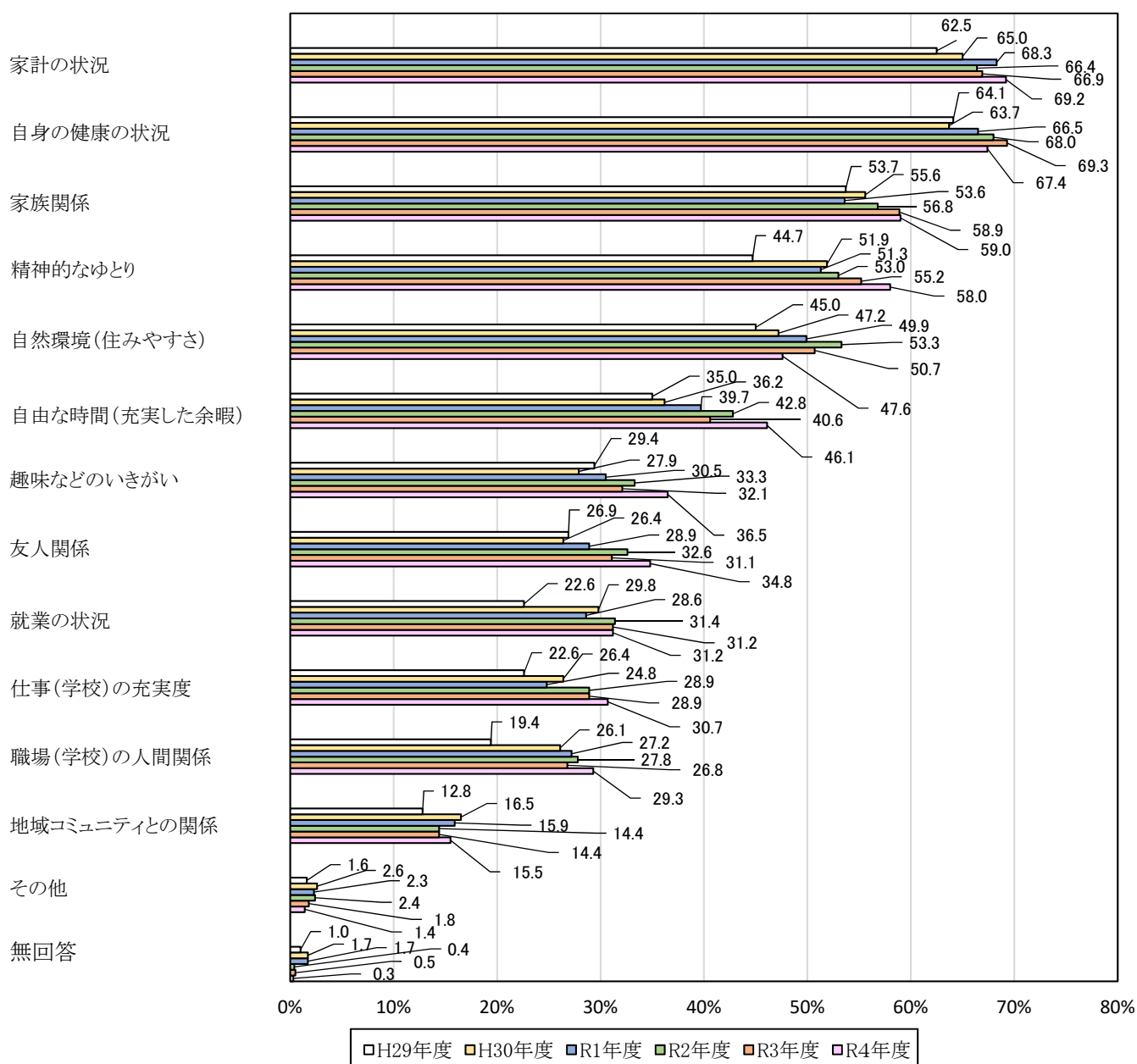
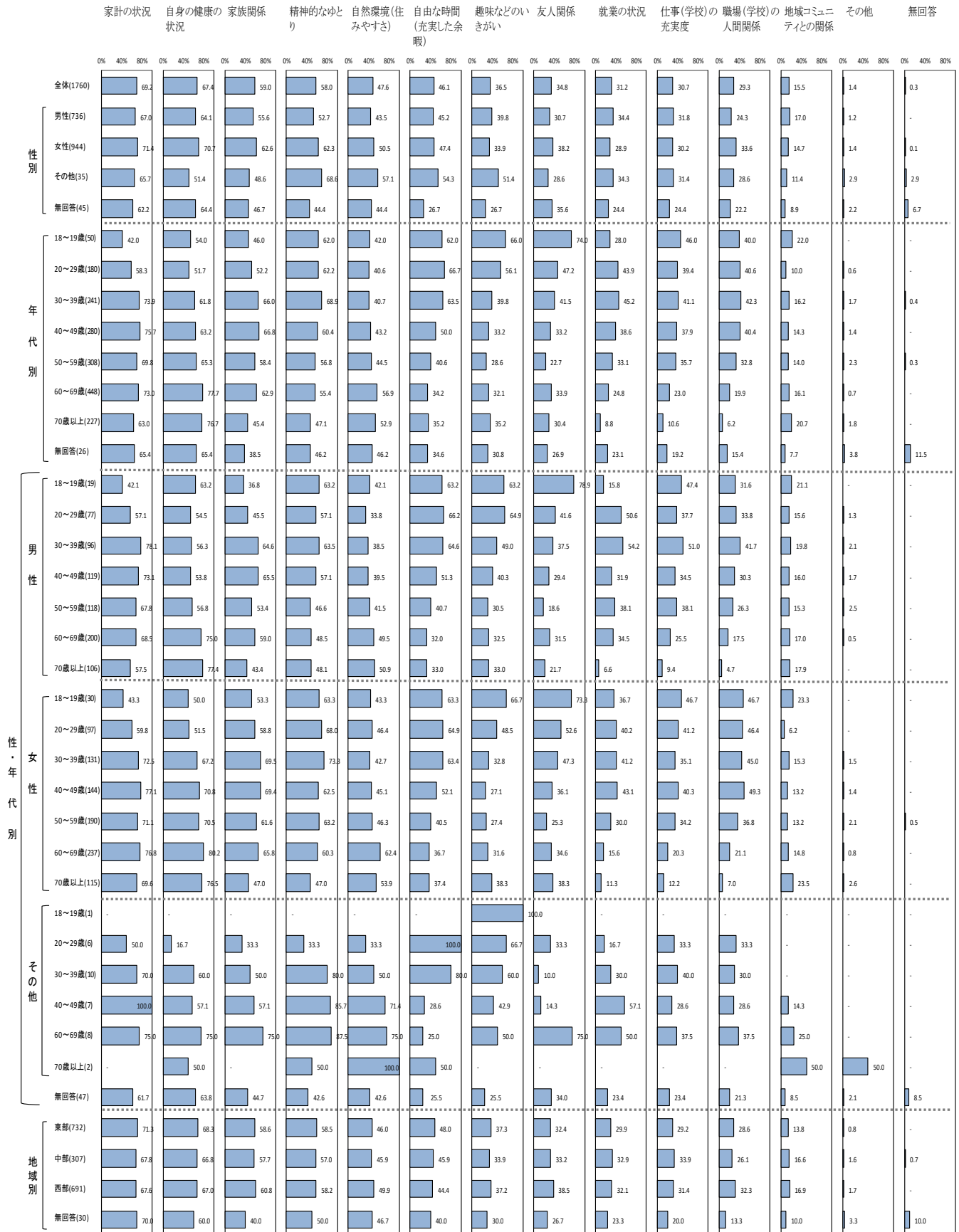


図 12 「幸福度」の判断で重視すること(性別・年代別・地域別)

【上位1】【上位2】【上位3】



II 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

問6 鳥取県の施策等について、あなたの満足度をお聞きますので、それぞれ5段階で評価をお願いします。(1~5のいずれかの数字に○をしてください。)

※「5」は満足、「1」は不満

問 6-1 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度

～「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」の満足度がトップ～

「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が32.5%と最も割合が高く、次いで「農業の活力増進に関する取組」が31.8%、「スポーツによる交流促進を進める取組」が21.0%と続いている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、満足度は全ての年度で「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が3割台で推移している。また、「外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり」「農業の活力増進に関する取組」は前年度より満足度が2ポイント程度減少しており、それ以外の項目は横ばいとなっている。

一方、「不満・やや不満」は「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が前年度に比べ4.5ポイント増加している。

図13 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる取組の満足度(n=1,760)

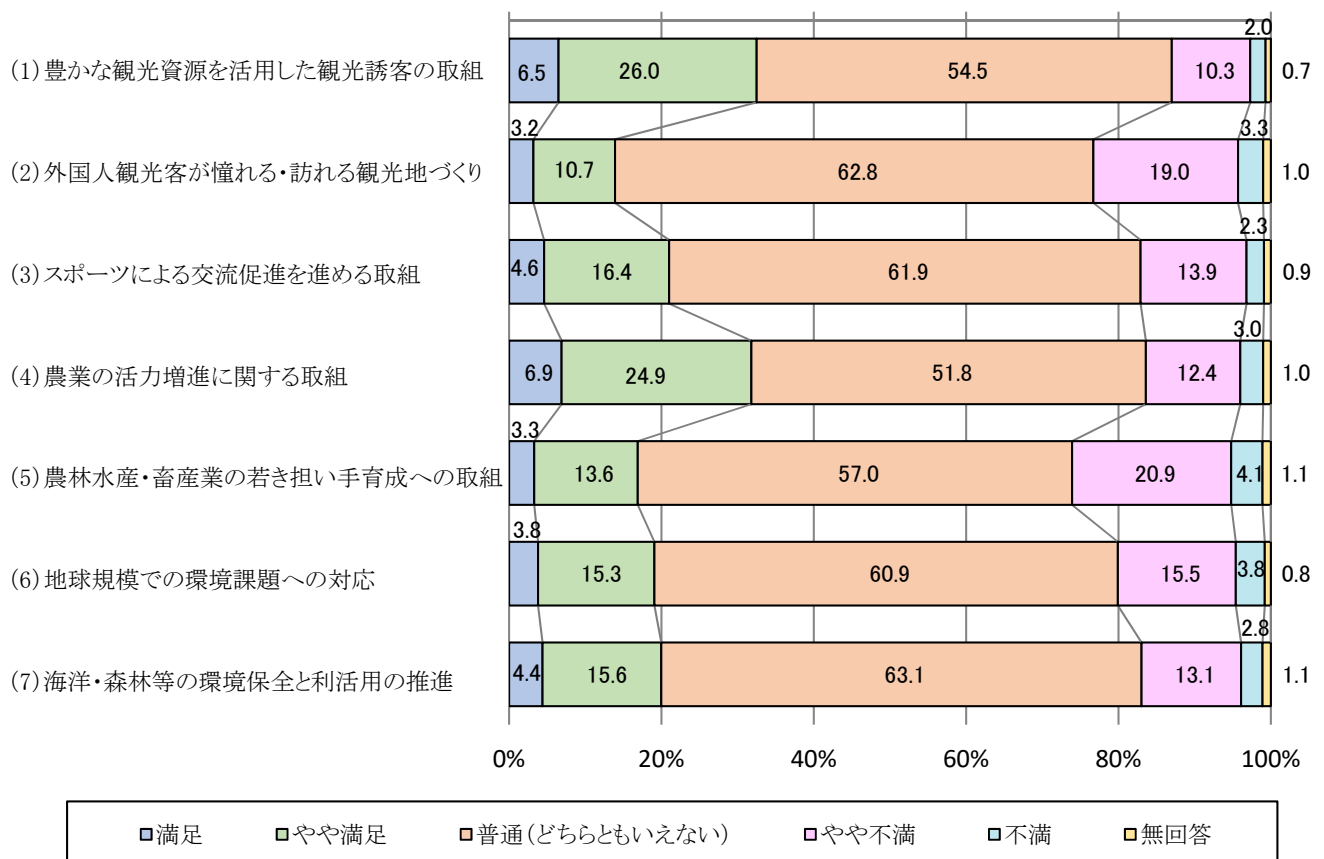
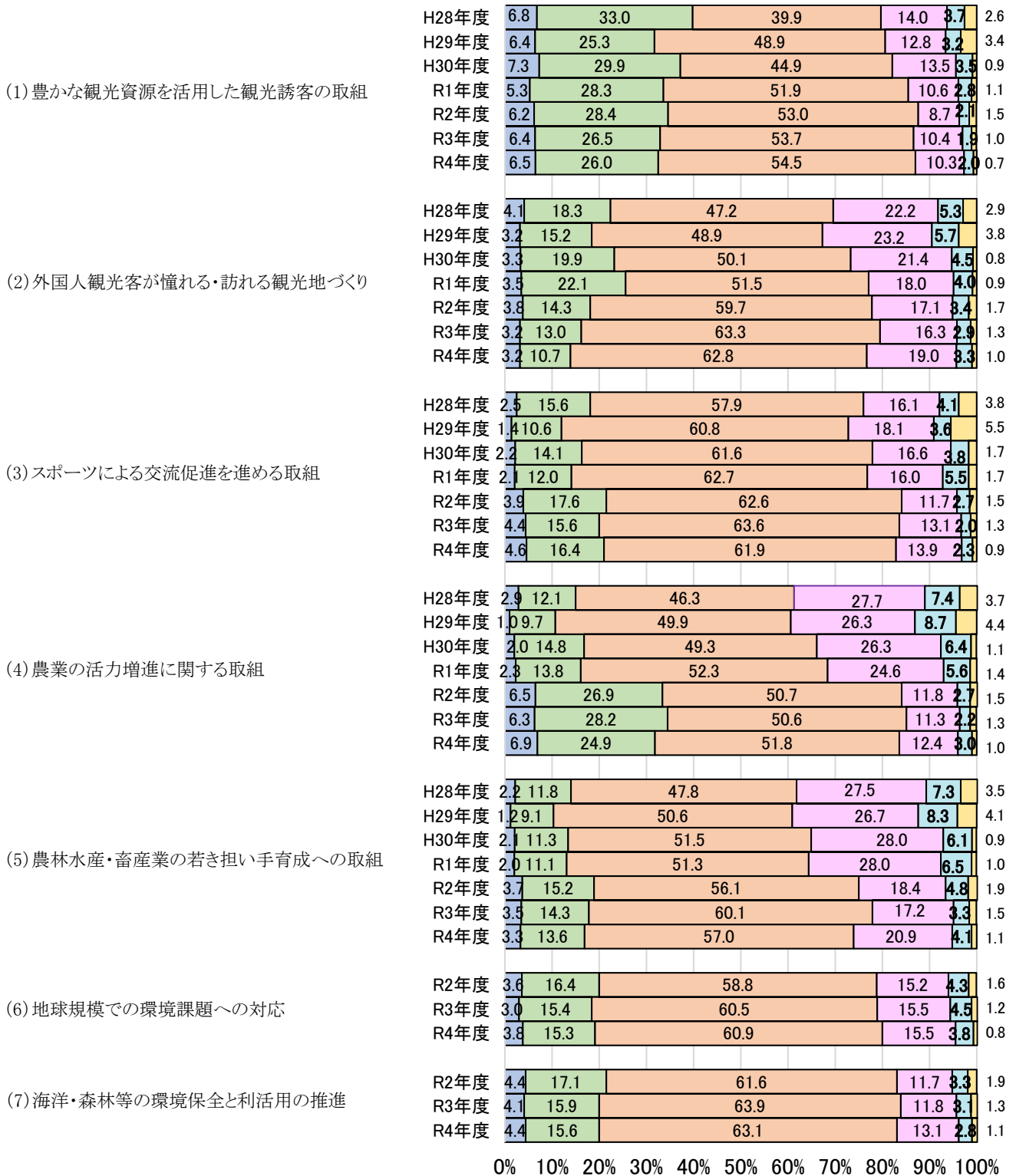


図 14 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の満足度(年次比較)



満足
 やや満足
 普通(どちらともいえない)
 やや不満
 不満
 無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

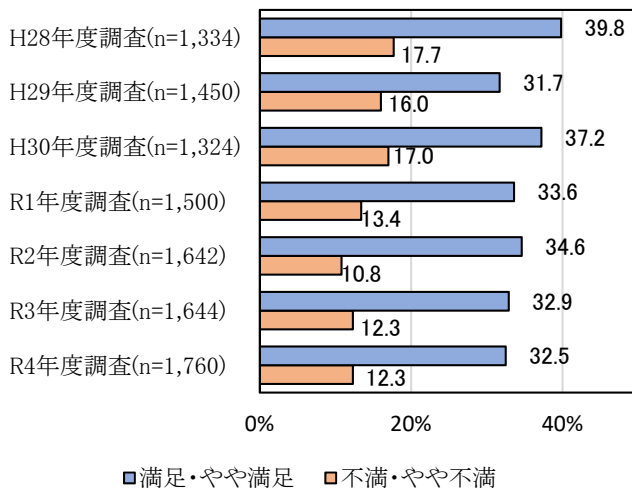
- (3) スポーツによる交流促進を進める取組 【+1.0】
- (6) 地球規模での環境課題への対応 【+0.7】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

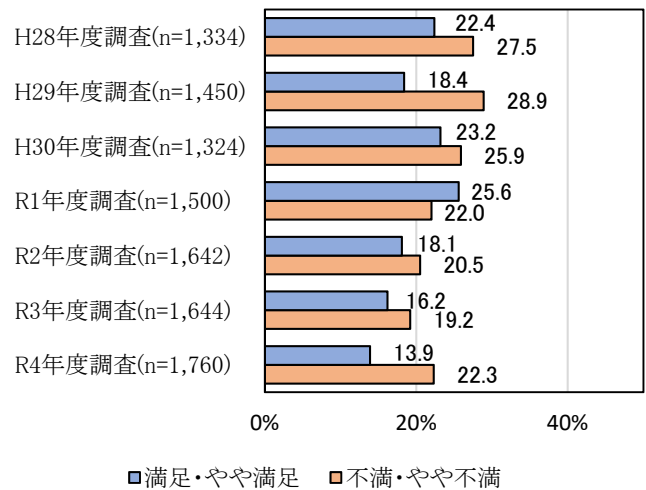
- (5) 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組 【+4.5】
- (2) 外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり 【+3.1】
- (4) 農業の活力増進に関する取組 【+1.9】
- (3) スポーツによる交流促進を進める取組 【+1.1】
- (7) 海洋・森林の環境保全と利活用の推進 【+1.0】

●満足度・不満足度の比較(複数年度のデータがある項目を掲載)

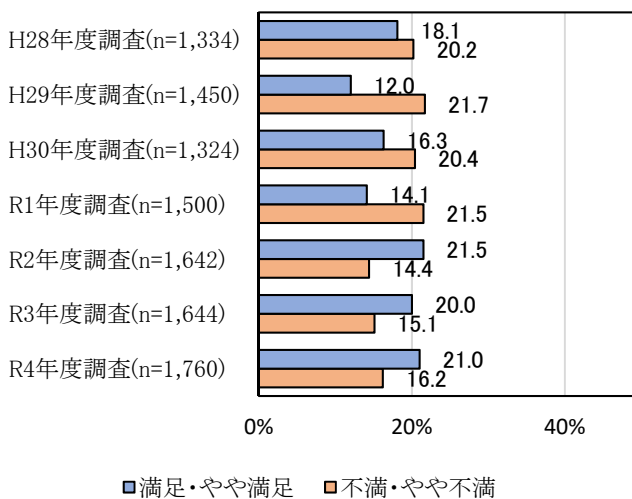
(1) 豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組



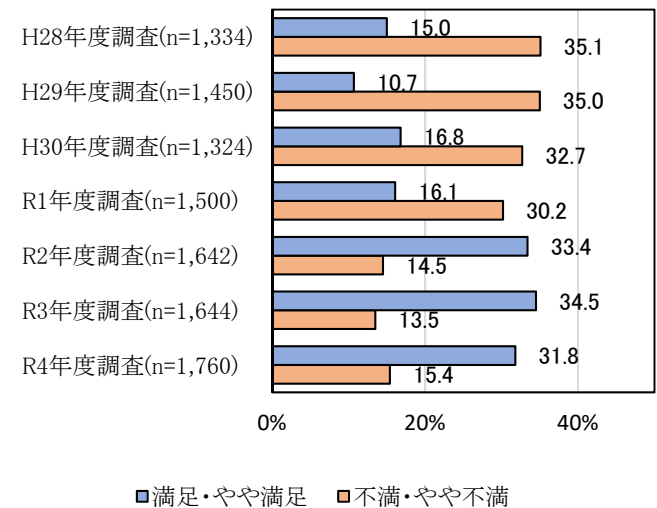
(2) 外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり



(3) スポーツによる交流促進を進める取組

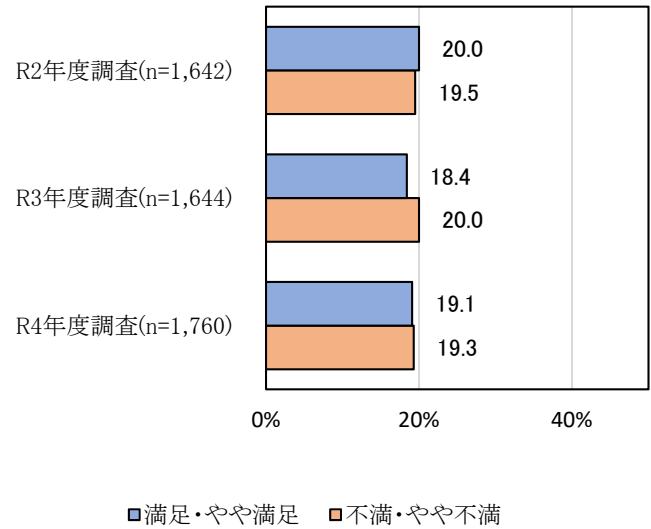
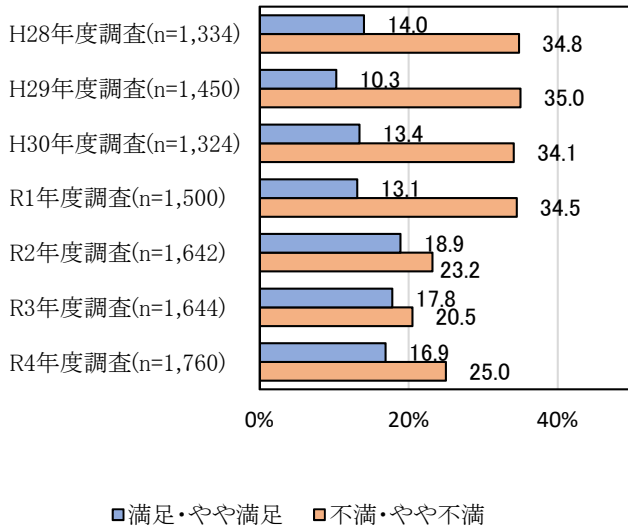


(4) 農業の活力増進に関する取組

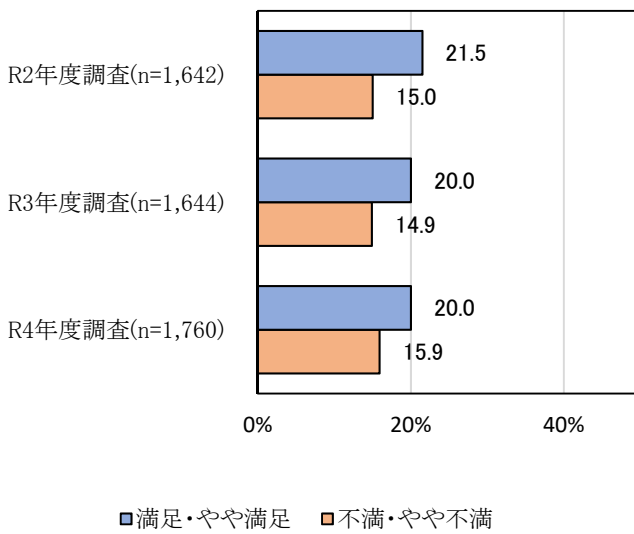


(5) 農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組

(6) 地球規模での環境課題への対応



(7) 海洋・森林等の環境保全と利活用の推進



問 6-1-2 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

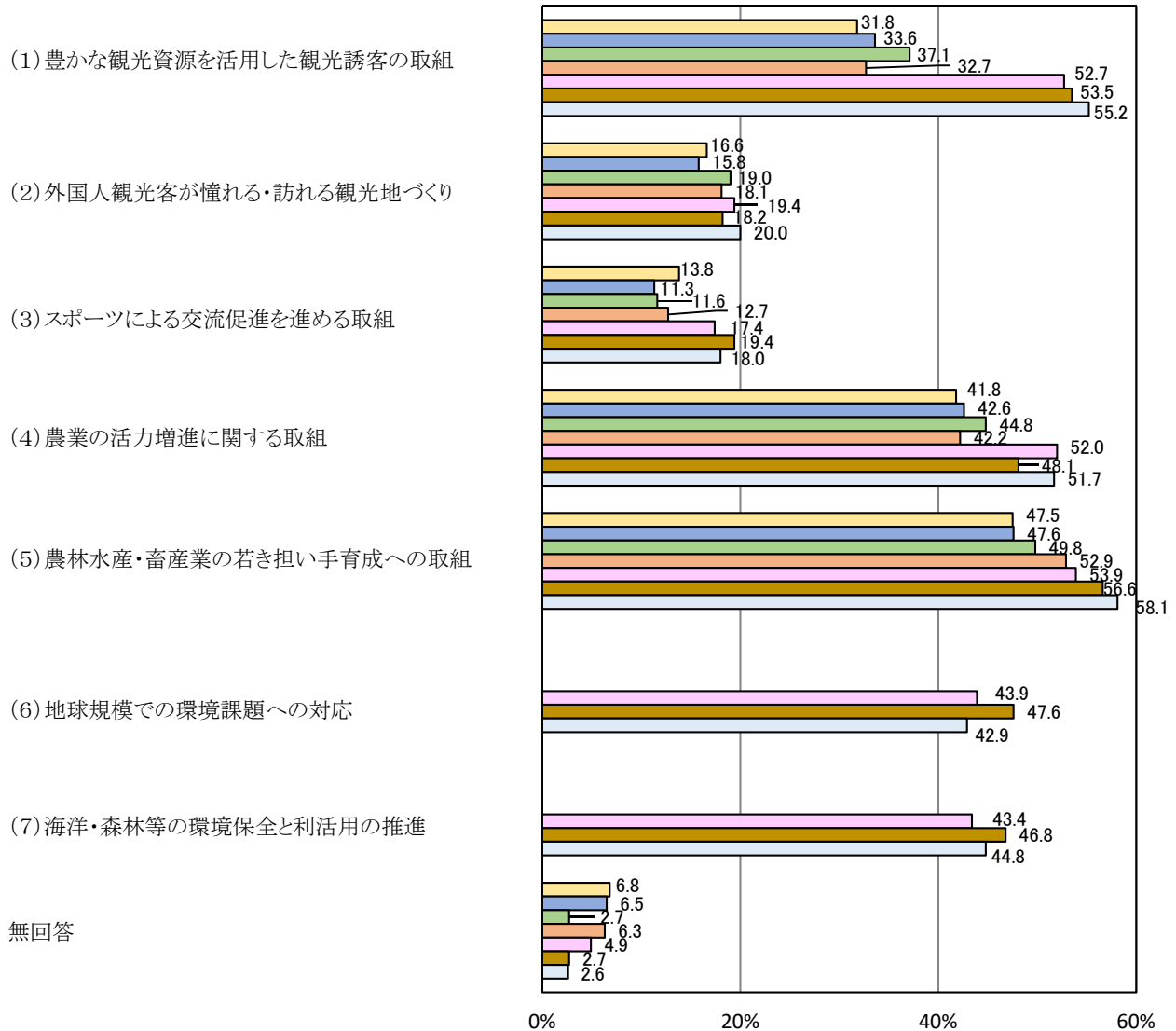
～農林水産・畜産業の振興や観光資源を活用した誘客の取組が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」が58.1%と最も高く、次いで「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」が55.2%、「農業の活力増進に関する取組」が51.7%と続いている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、「農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組」は毎年増加している。

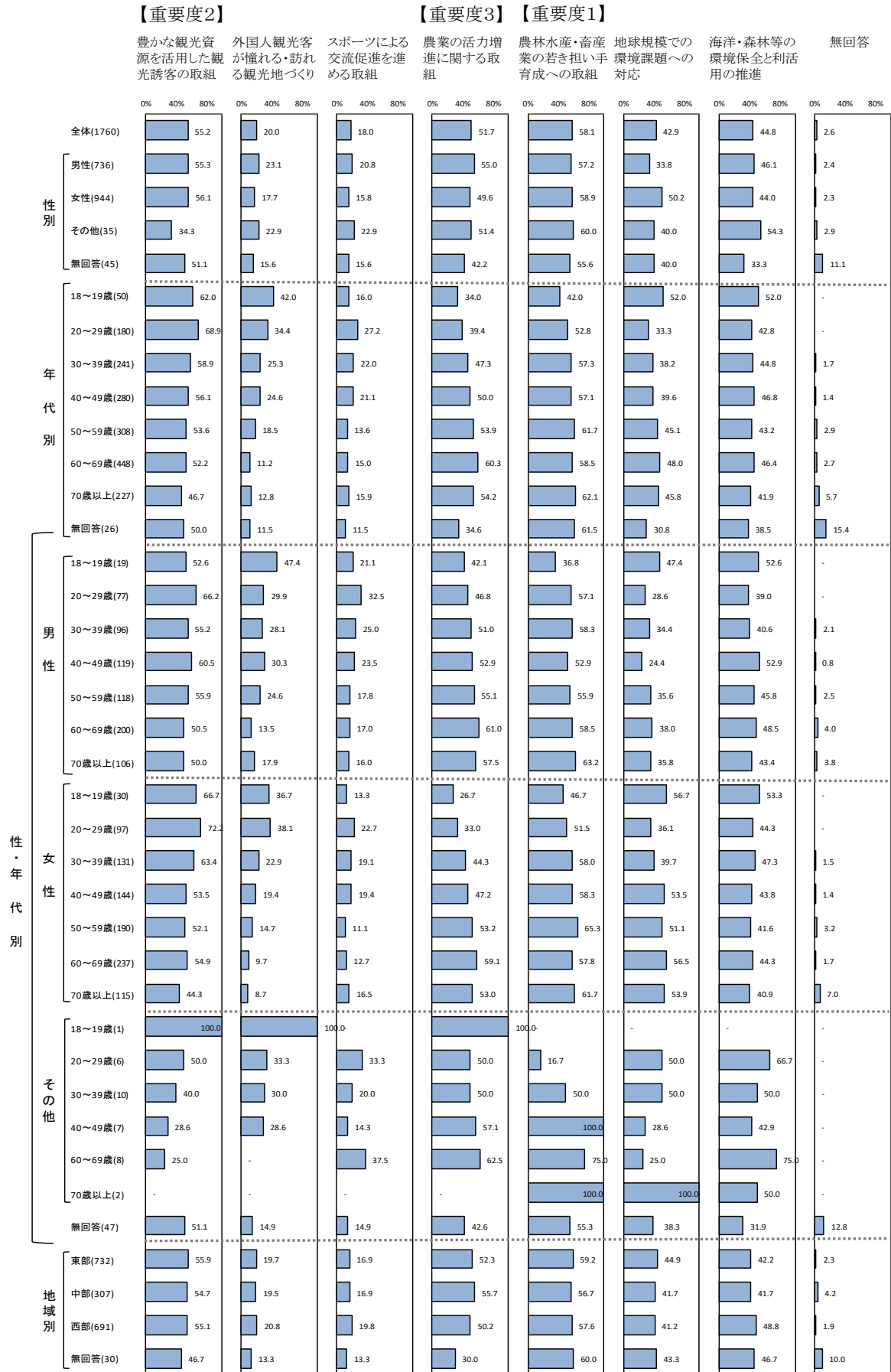
年代別でみると、「豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組」は20～40歳代が高く、「農業の活力増進に関する取組」は60歳代で高くなっている。

問15 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(年次比較)



■ H28年度調査(n=1,334) ■ H29年度調査(n=1,450) ■ H30年度調査(n=1,324)
■ R1年度調査(n=1,500) ■ R2年度調査(n=1,642) ■ R3年度調査(n=1,644)
■ R4年度調査(n=1,760)

図16 「豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

問 6-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度

～「感染症に強い地域づくり」の満足度が高い～

「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「感染症に強い地域づくり」が 35.5%と最も割合が高く、次いで「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が 23.3%、「健康寿命の延伸」が 22.4%となっている。

平成 28 年度-令和4年度を比較してみると、4年度の「健康寿命の延伸」「鳥取ならではの防災文化づくり」の満足度は前年度より3ポイント以上減少しており、それ以外の項目は横ばいとなっている。

また、4年度の「感染症に強い地域づくり」の不満(不満・やや不満足)の計)は、前年度と比べて約4ポイント減少している。

図17 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(n=1,760)

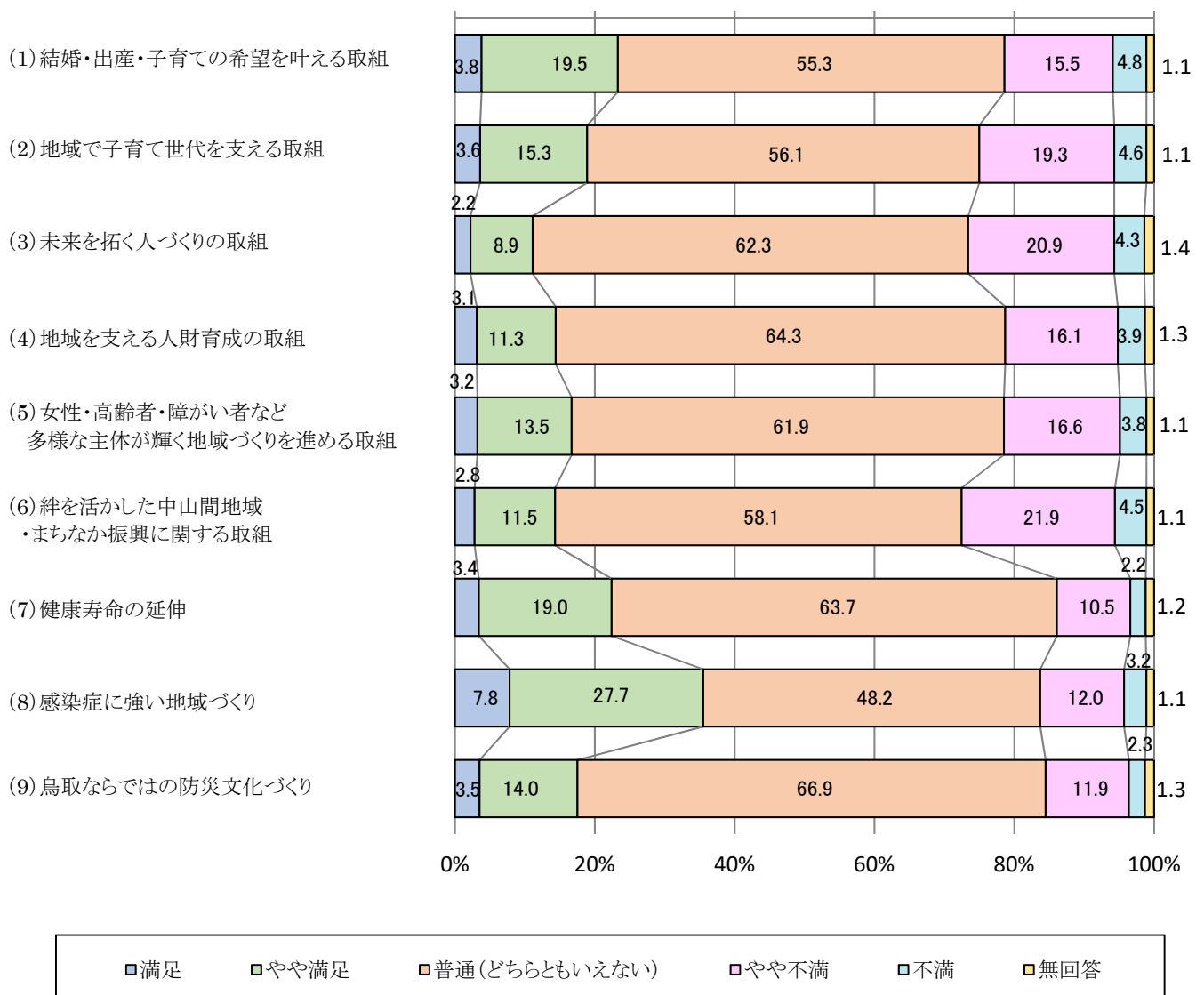
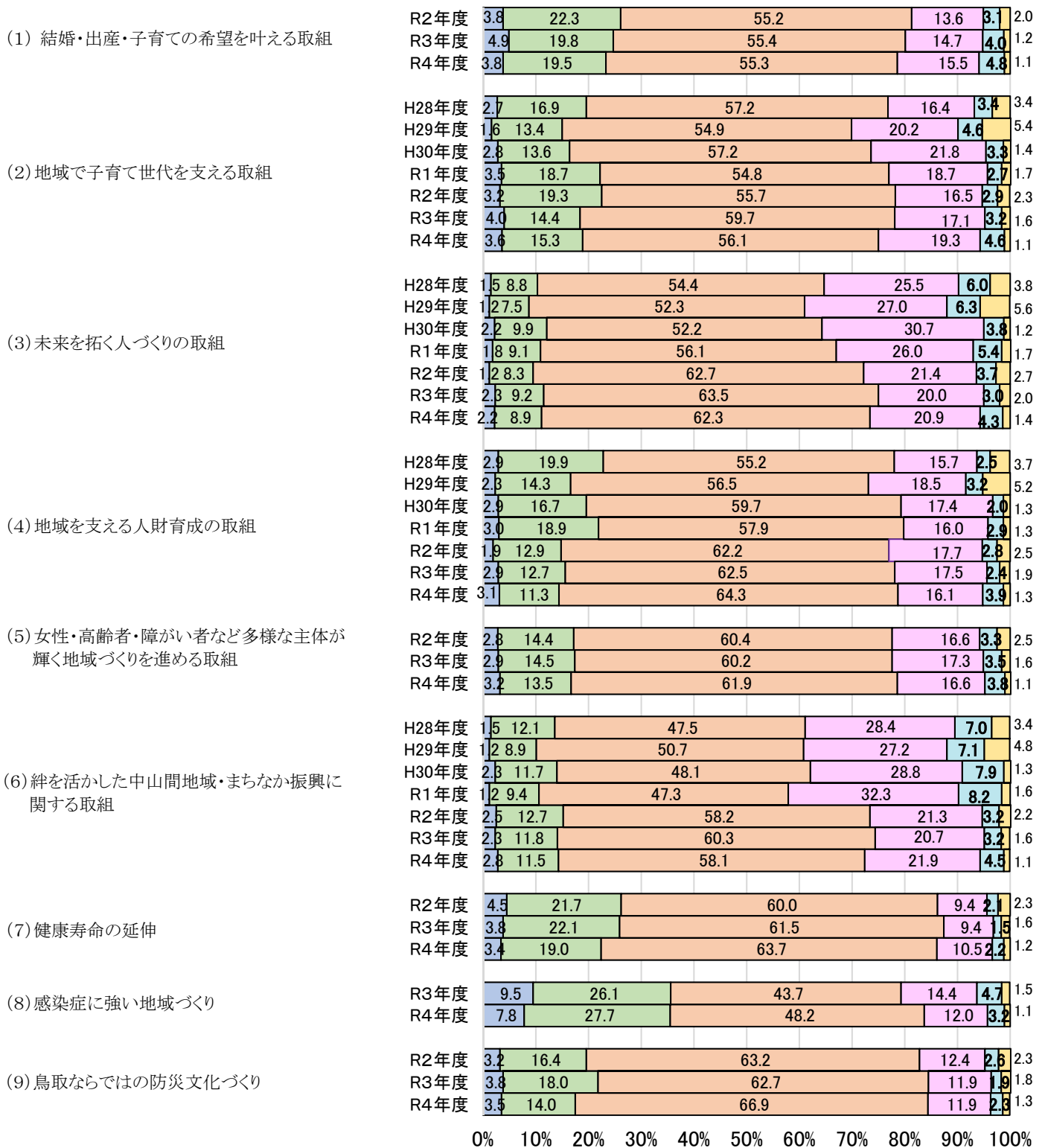


図 18 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の満足度(年次比較)



満足
 やや満足
 普通(どちらともいえない)
 やや不満
 不満
 無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

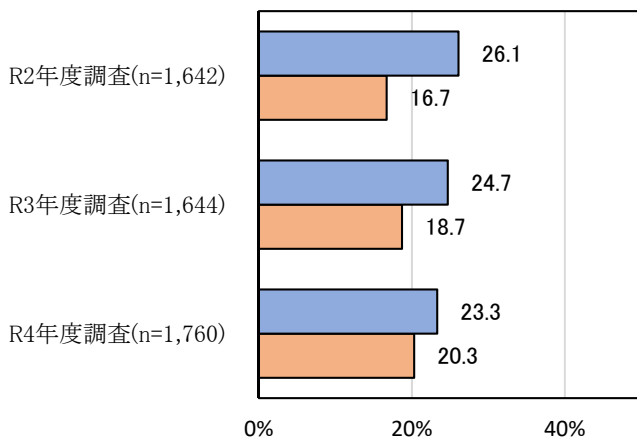
- (2) 地域で子育て世代を支える取組 【+0.5】
- (6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組 【+0.2】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

- (2) 地域で子育て世代を支える取組 【+3.6】
- (6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組 【+2.5】
- (3) 未来を拓く人づくりの取組 【+2.2】
- (7) 健康寿命の延伸 【+1.8】
- (1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組 【+1.6】
- (9) 鳥取ならではの防災文化づくり 【+0.4】
- (4) 地域を支える人財育成の取組 【+0.1】

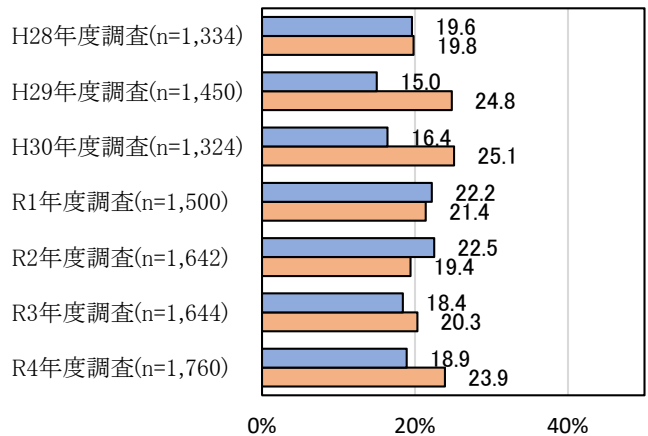
●満足度・不満足度の比較

(1) 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組



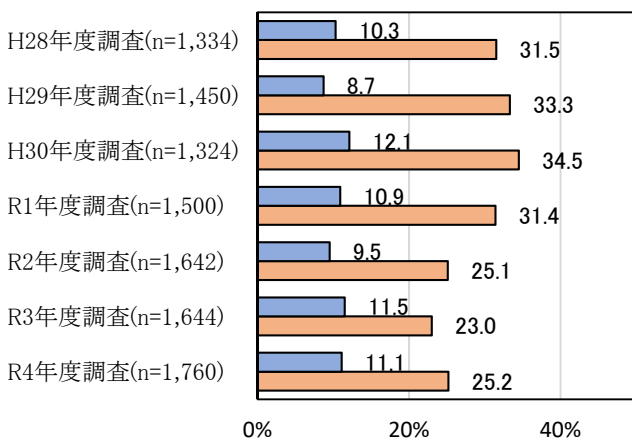
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(2) 地域で子育て世代を支える取組



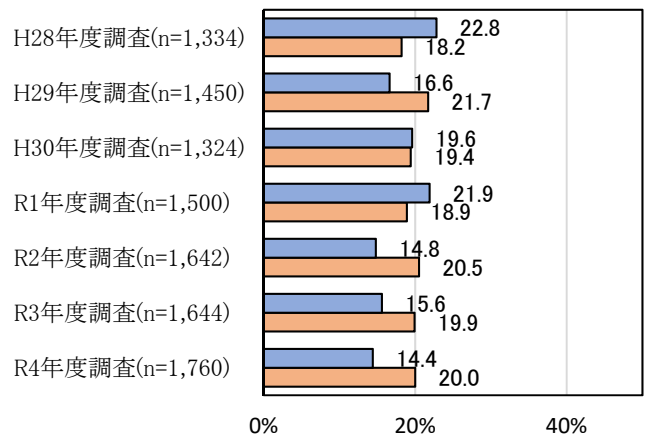
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(3) 未来を拓く人づくりの取組



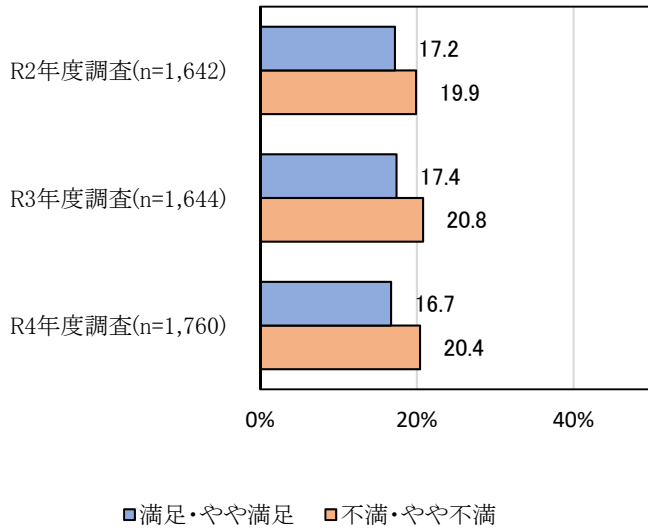
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(4) 地域を支える人財育成の取組

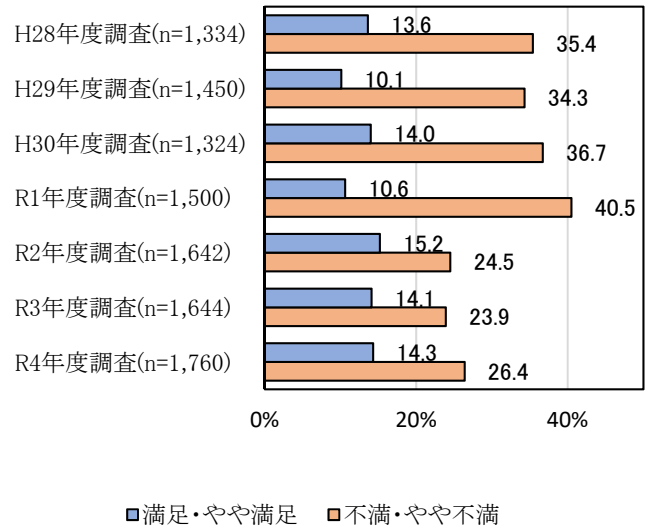


■満足・やや満足 ■不満・やや不満

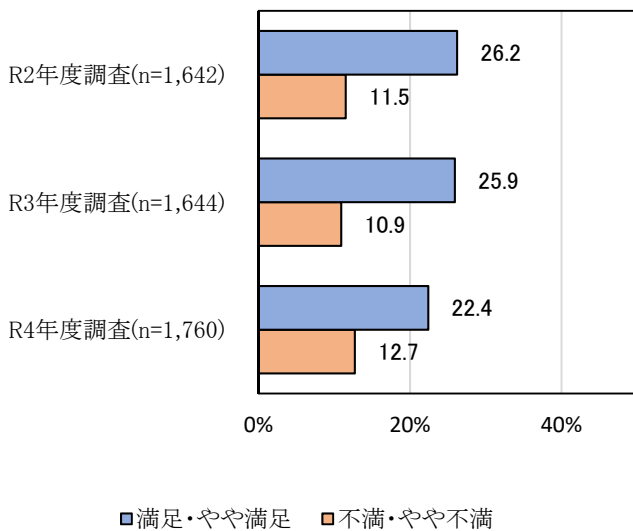
(5) 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組



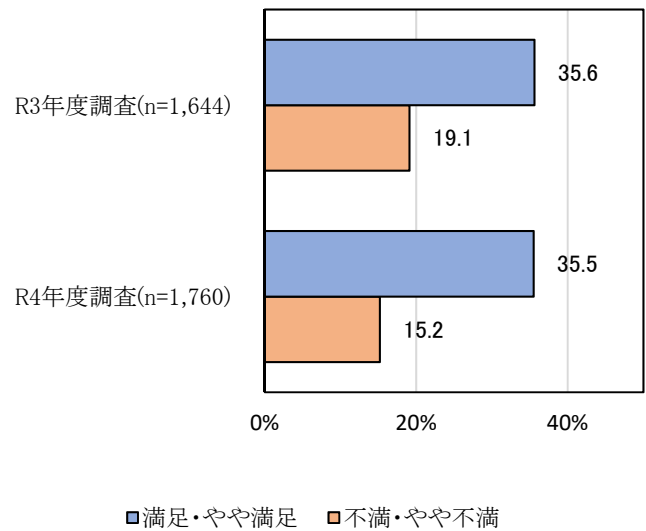
(6) 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組



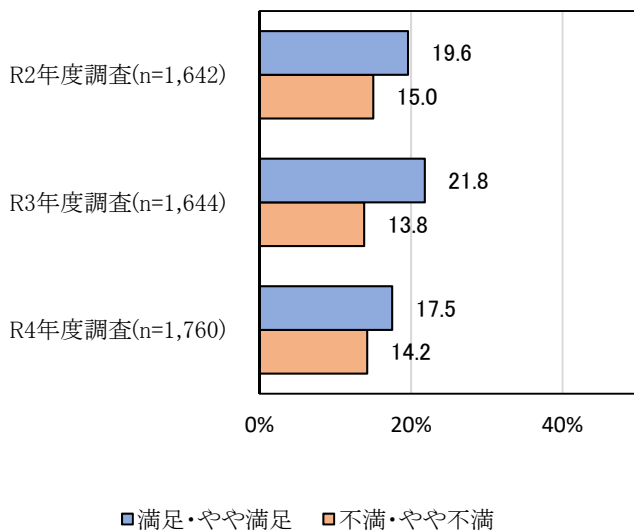
(7) 健康寿命の延伸



(8) 感染症に強い地域づくり



(9) 鳥取ならではの防災文化づくり



問 6-2-2 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」の施策のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」「地域で子育て世代を支える取組」「女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「結婚・出産・子育ての希望を叶える取組」が49.0%と最も割合が高く、次いで、「地域で子育て世代を支える取組」が48.1%、「女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組」が32.8%となっている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、「地域を支える人財育成の取組」は過去7年間で最も高くなっている。

図19 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(年次比較)

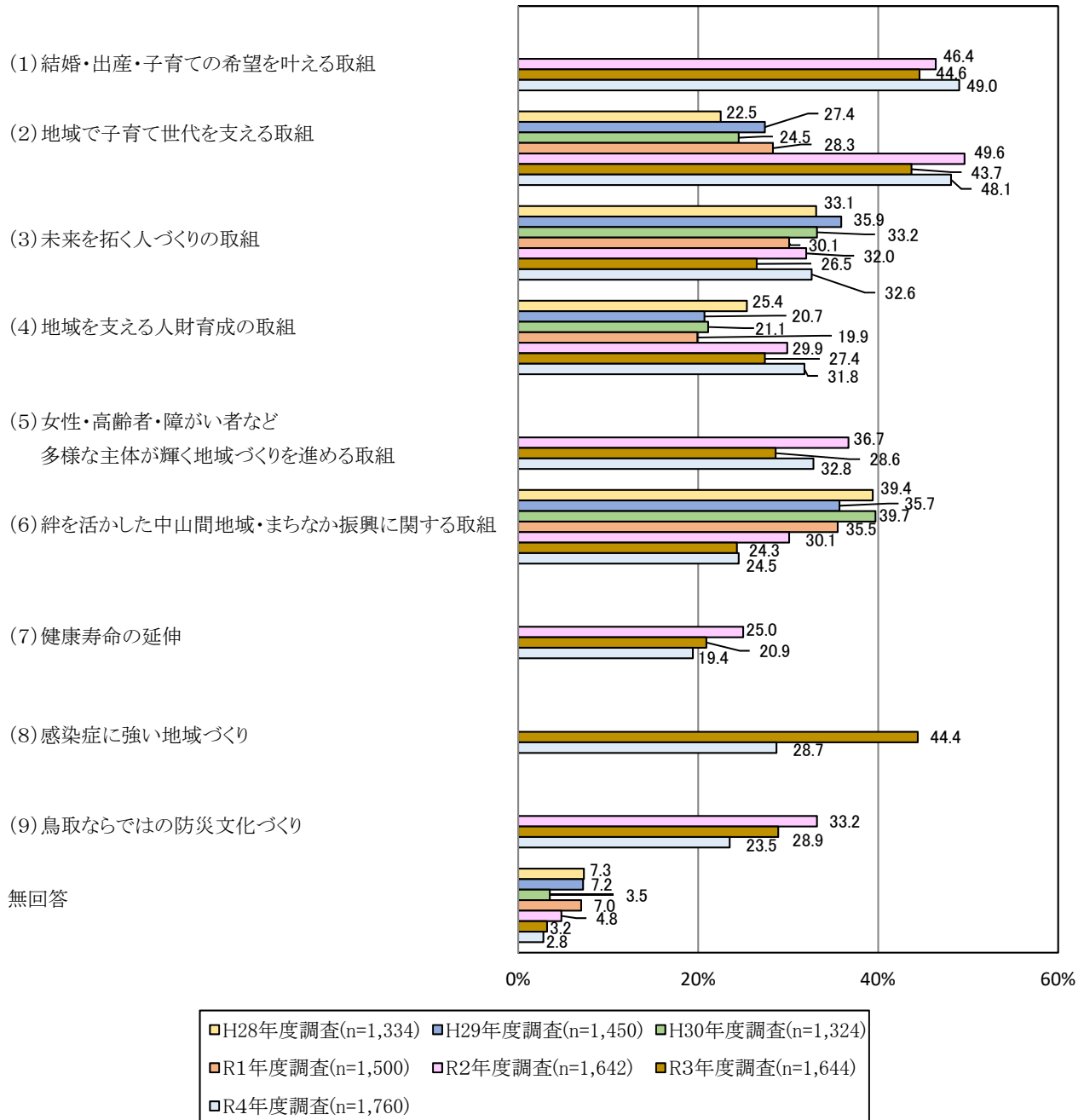
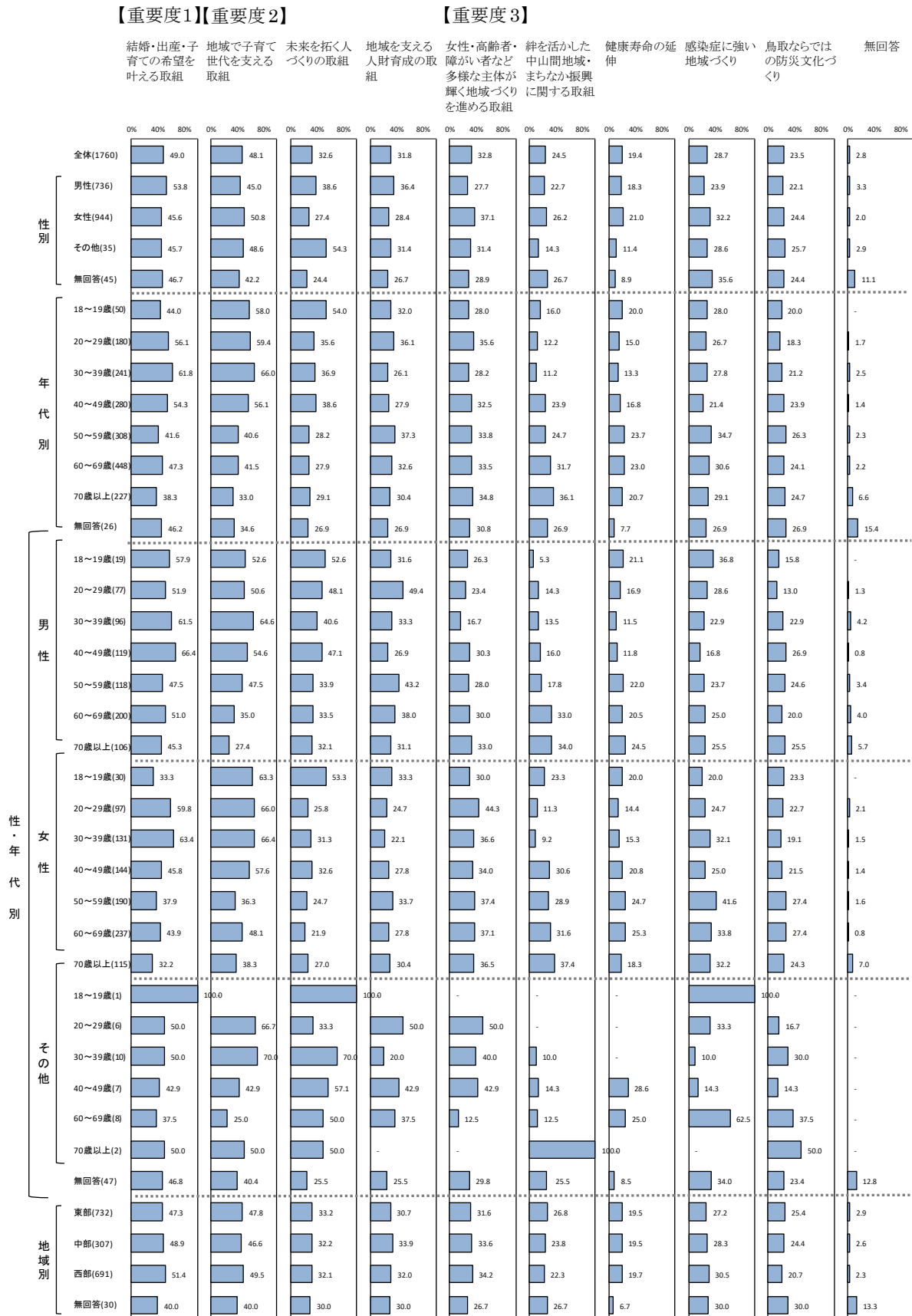


図 20 「人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

問 6-3 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度

～アート・文化、防災基盤構築、移住定住の取組が上位～

「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」ための取組の満足度(満足・やや満足の計)は、「アート・文化による地域づくりへの取組」が22.2%と最も割合が高く、次いで「強靱な防災基盤の構築に向けた取組」が20.4%、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が20.2%となっている。

平成28年度-令和4年度を比較してみると、4年度は「アート・文化による地域づくりへの取組」「関係人口の拡大を進める取組」以外の全ての項目で満足度が3年度から減少している。

また、不満(不満・やや不満足)については、「戦略的な産業人材の育成・確保」が1.3ポイント減少している。

図21 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(n=1,760)

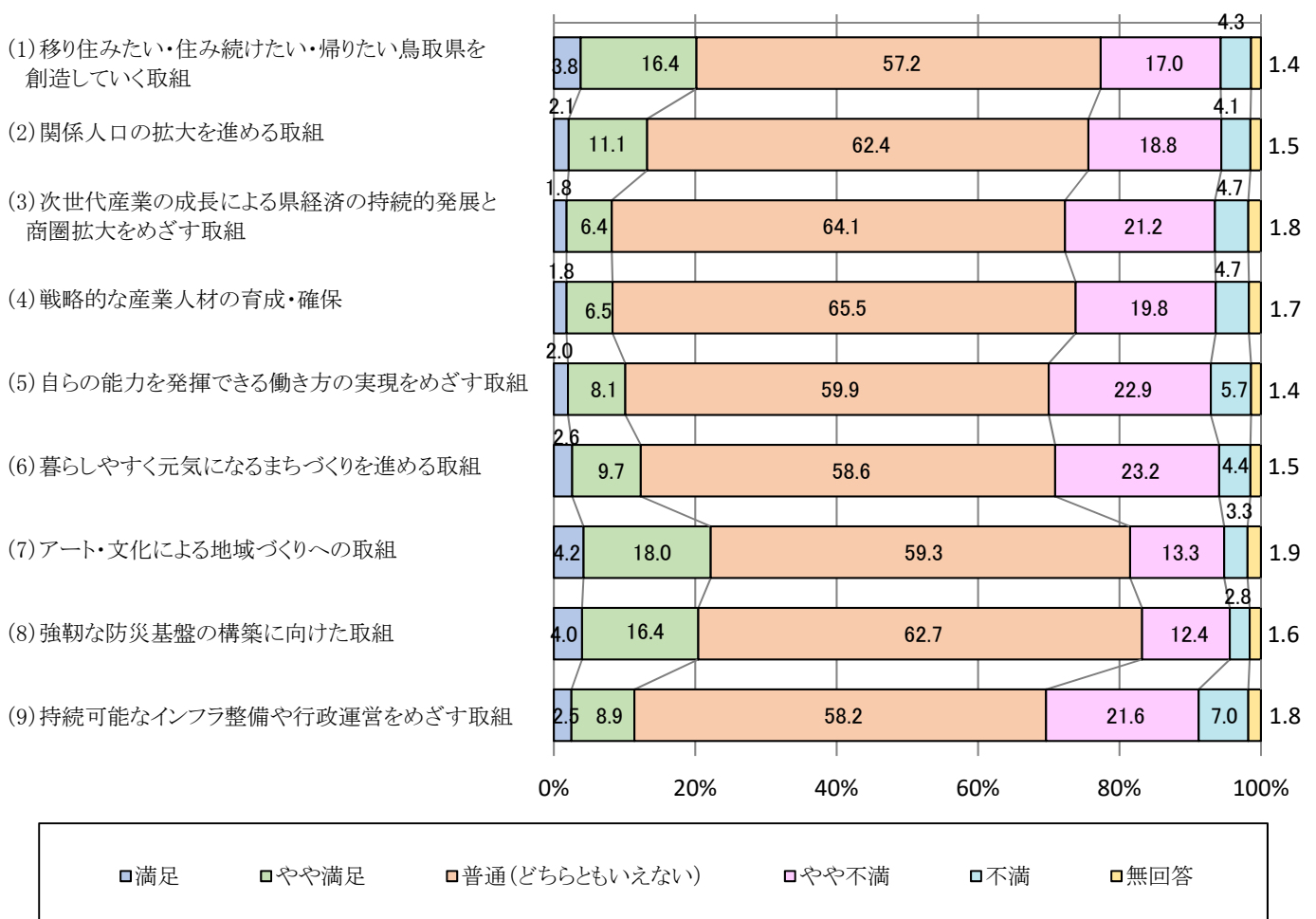
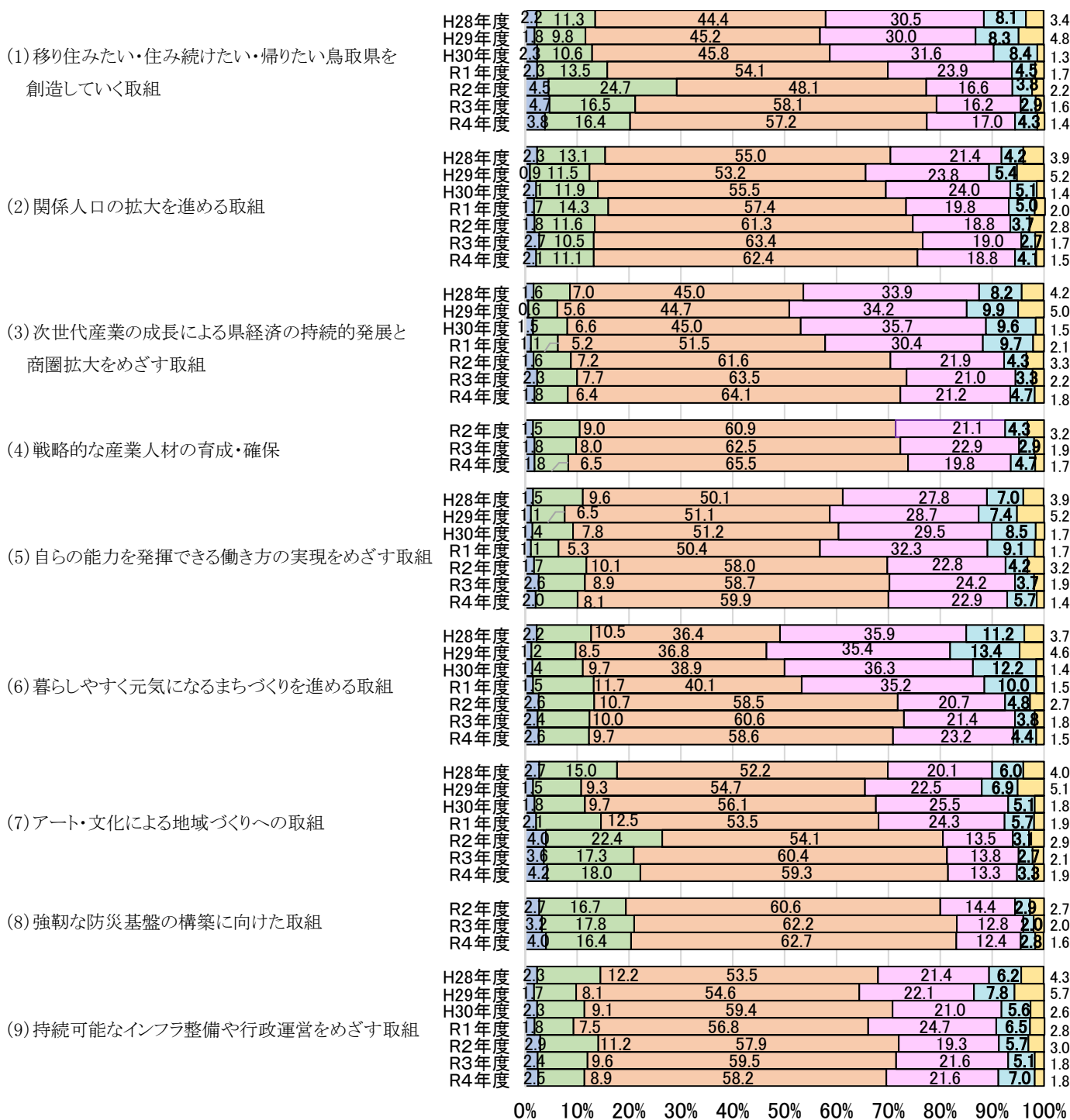


図 22 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の満足度(年次比較)



□満足 □やや満足 □普通(どちらともいえない) □やや不満 □不満 □無回答

●「満足・やや満足」のポイント数が前年度より上がった項目

(7) アート・文化による地域づくりへの取組 【+1.3】

●「不満・やや不満」のポイント数が前年度より上がった項目

(6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組 【+2.4】

(1) 移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組 【+2.2】

(9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組 【+1.9】

(3) 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圈拡大をめざす取組 【+1.6】

(2) 関係人口の拡大を進める取組 【+1.2】

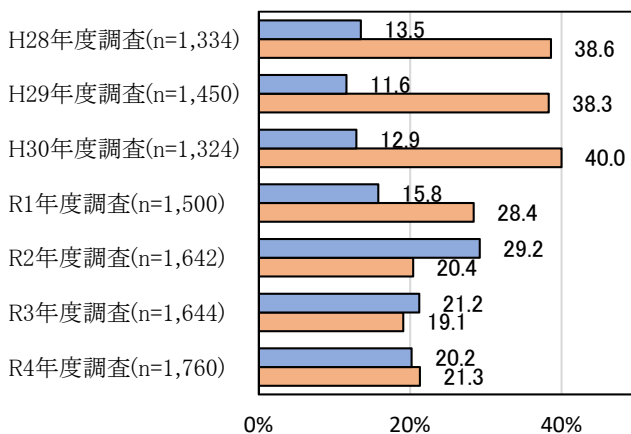
(5) 自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組 【+0.7】

(8) 強靱な防災基盤の構築に向けた取組 【+0.4】

(7) アート・文化による地域づくりへの取組 【+0.1】

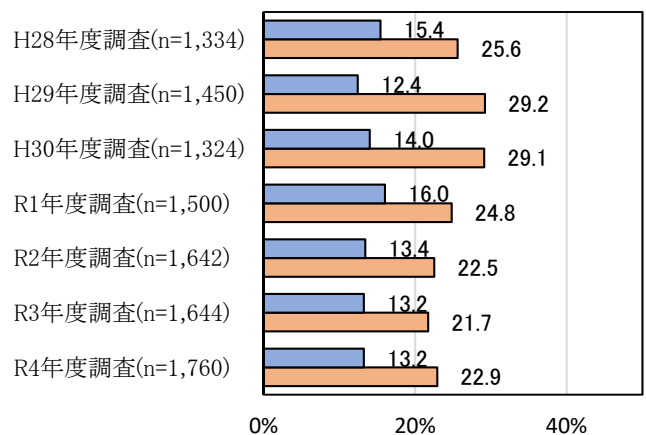
●満足度・不満足度の比較

(1) 移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組



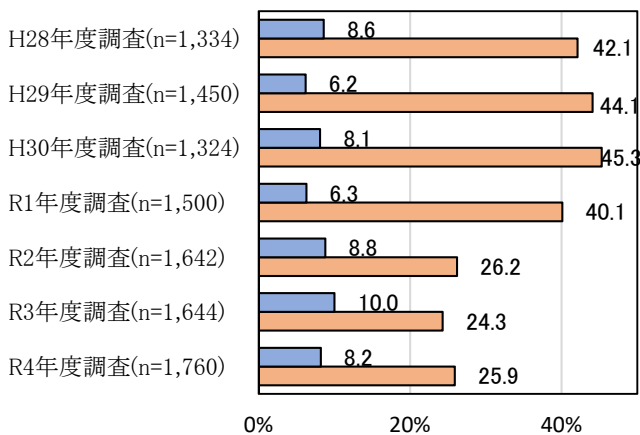
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(2) 関係人口の拡大を進める取組



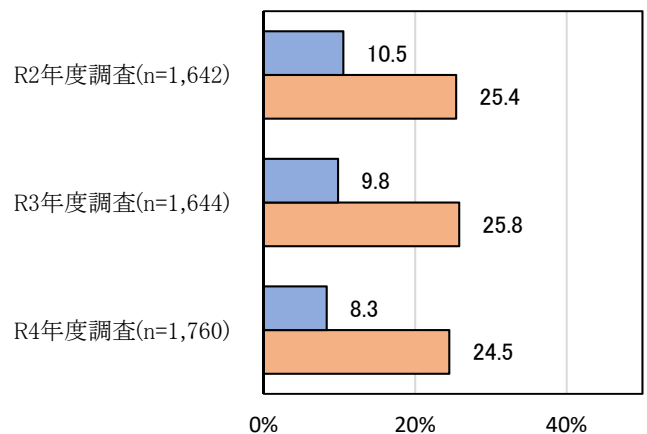
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(3) 次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圈拡大をめざす取組



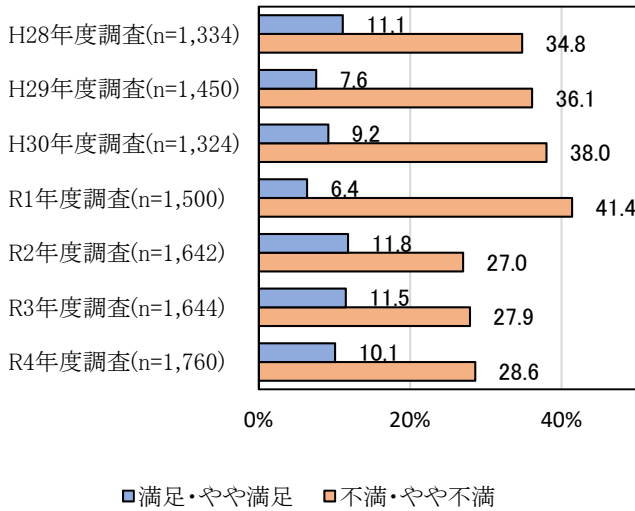
■満足・やや満足 ■不満・やや不満

(4) 戦略的な産業人材の育成・確保

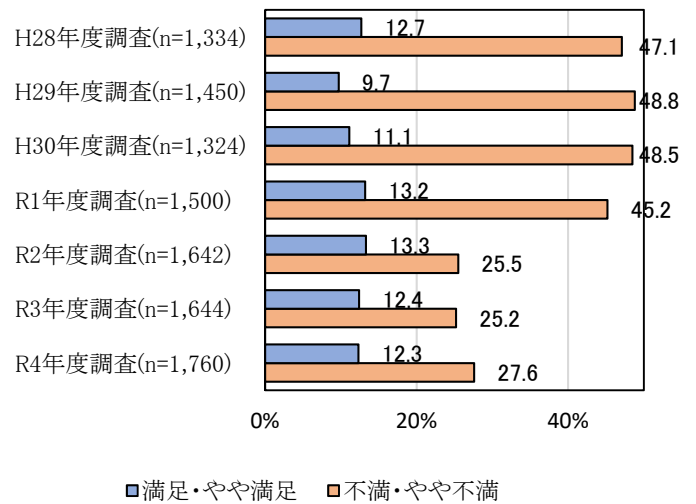


■満足・やや満足 ■不満・やや不満

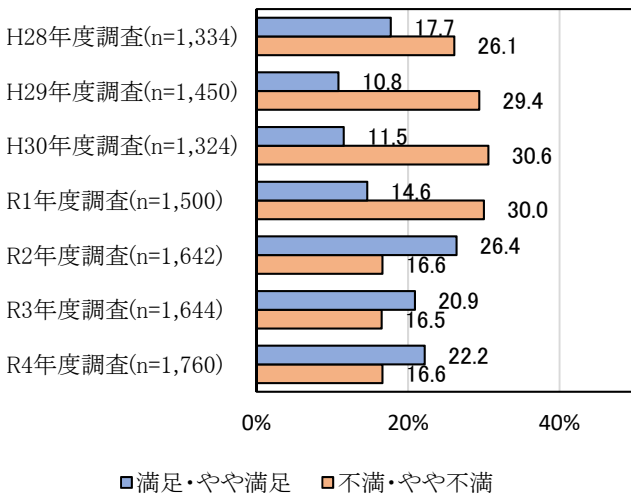
(5) 自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組



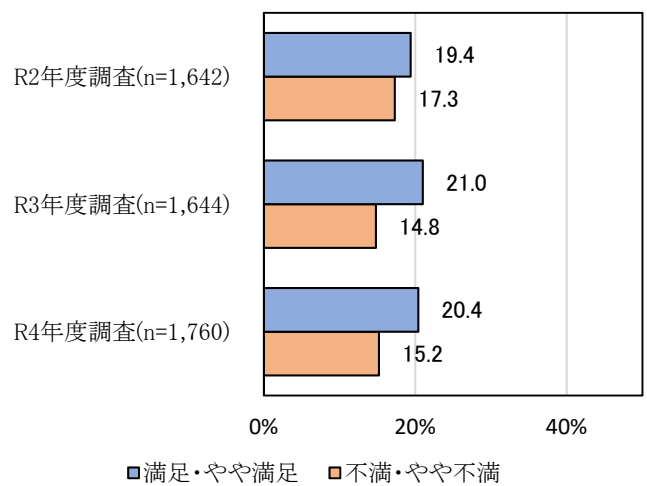
(6) 暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組



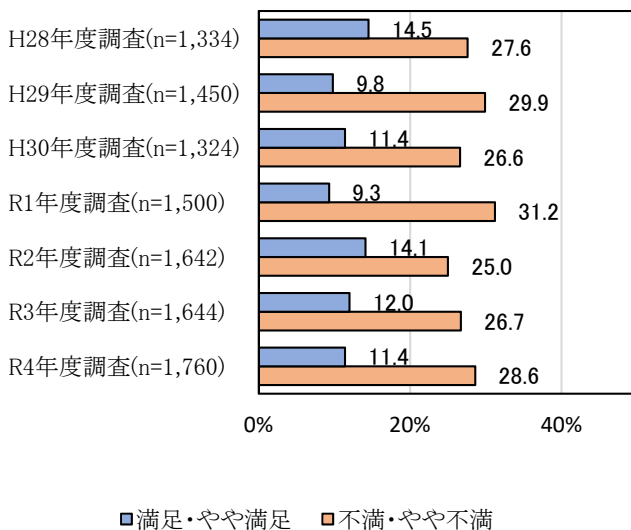
(7) アート・文化による地域づくりへの取組



(8) 強靱な防災基盤の構築に向けた取組



(9) 持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組



問 6-3-2 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」の施策等のうち、今後優先すべき(重要度が高い)と思う項目を3つお選びください。

～「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が上位～

今後優先すべき重要度の高い項目は、「移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組」が58.0%と最も割合が高く、次いで「暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組」が43.0%、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」が39.0%となっている。

平成 28 年度-令和4年度を比較してみると、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」「戦略的な産業人材の育成・確保」はこれまでで最も高くなっている。

年代別でみると、「持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組」は 50 歳代で最も高くなっている。

図23 「幸せと感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(年次比較)

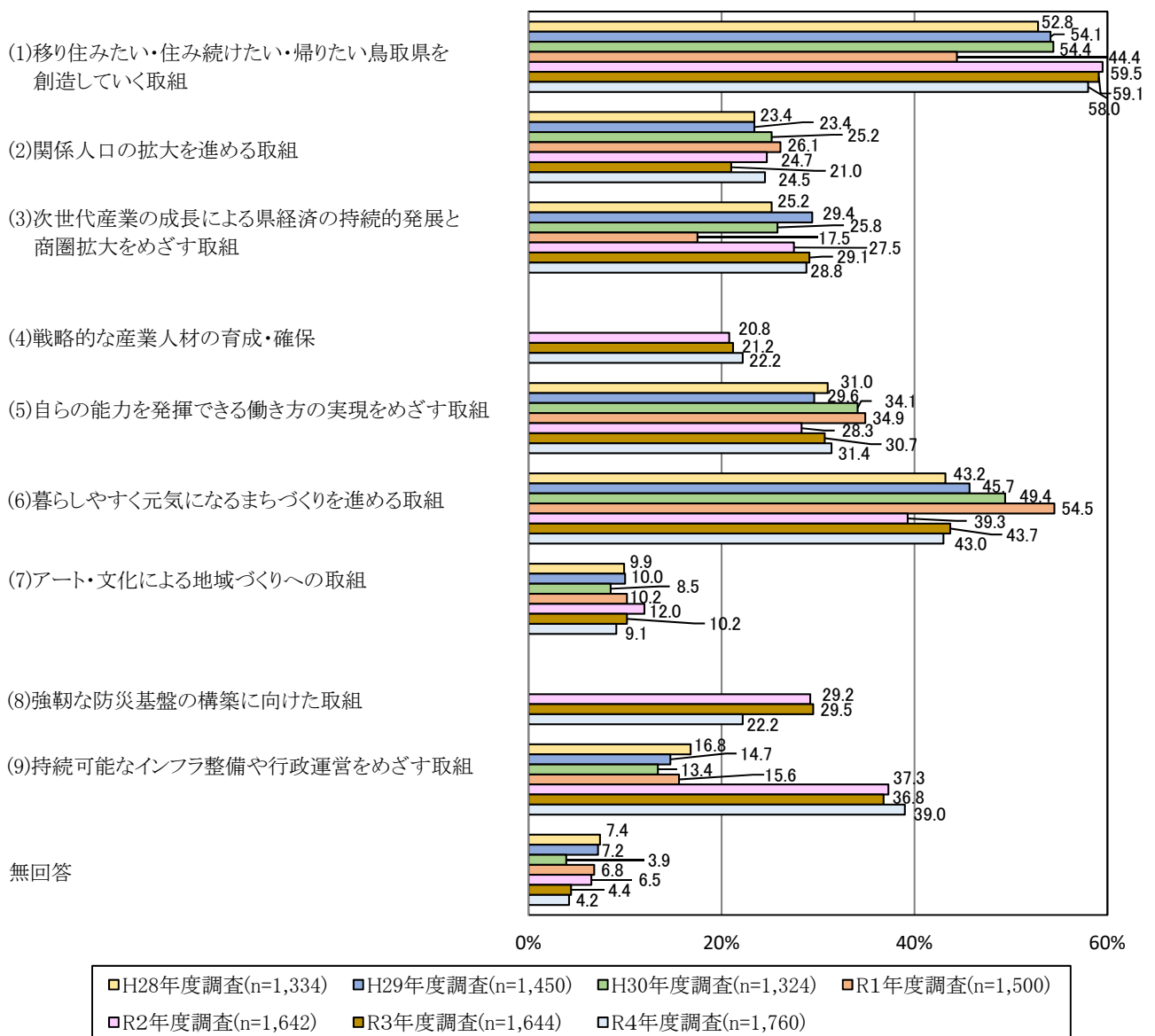
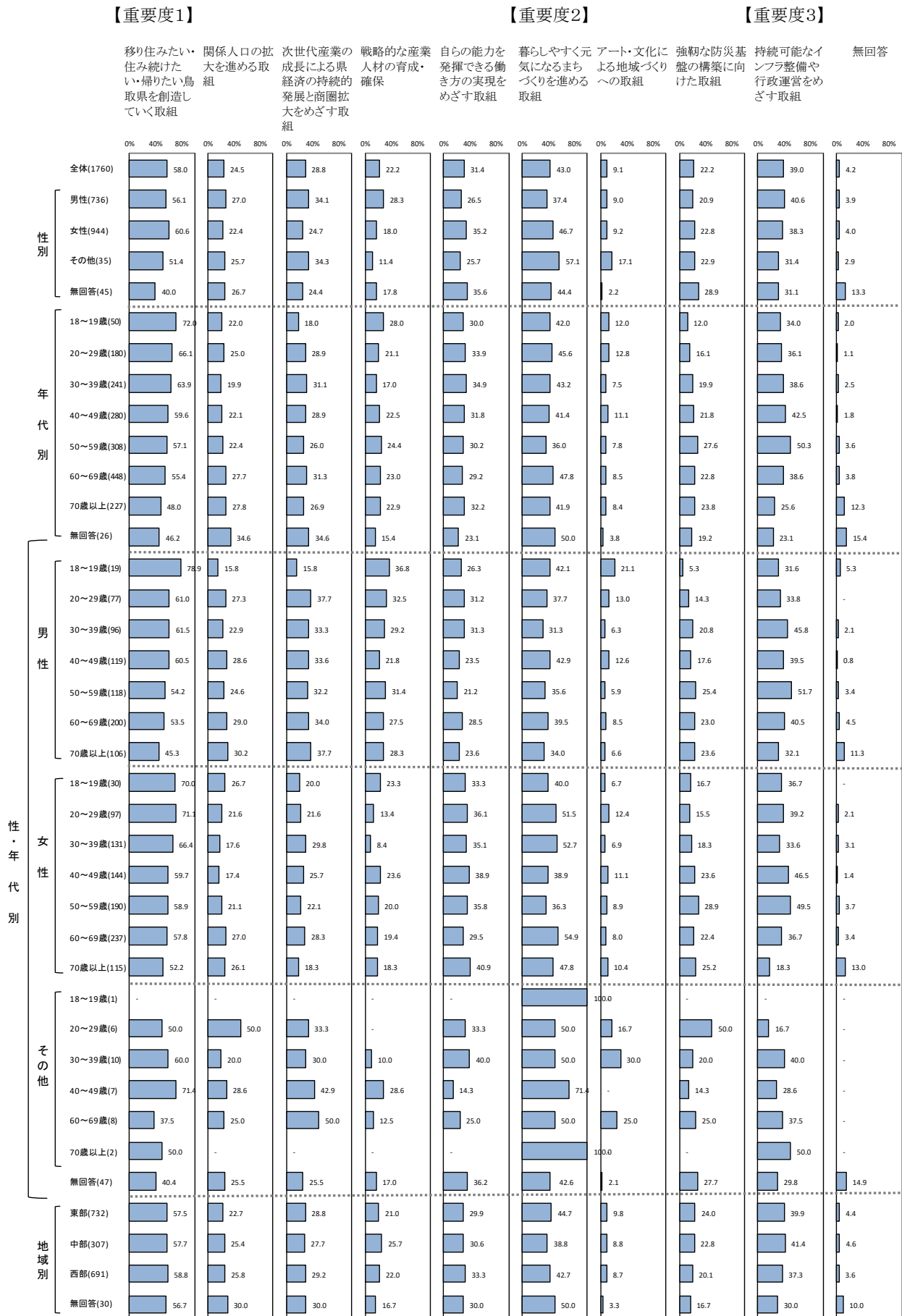


図 24 「幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ」取組の重要度(性別・年代別・地域別)



4 男女共同参画社会づくり

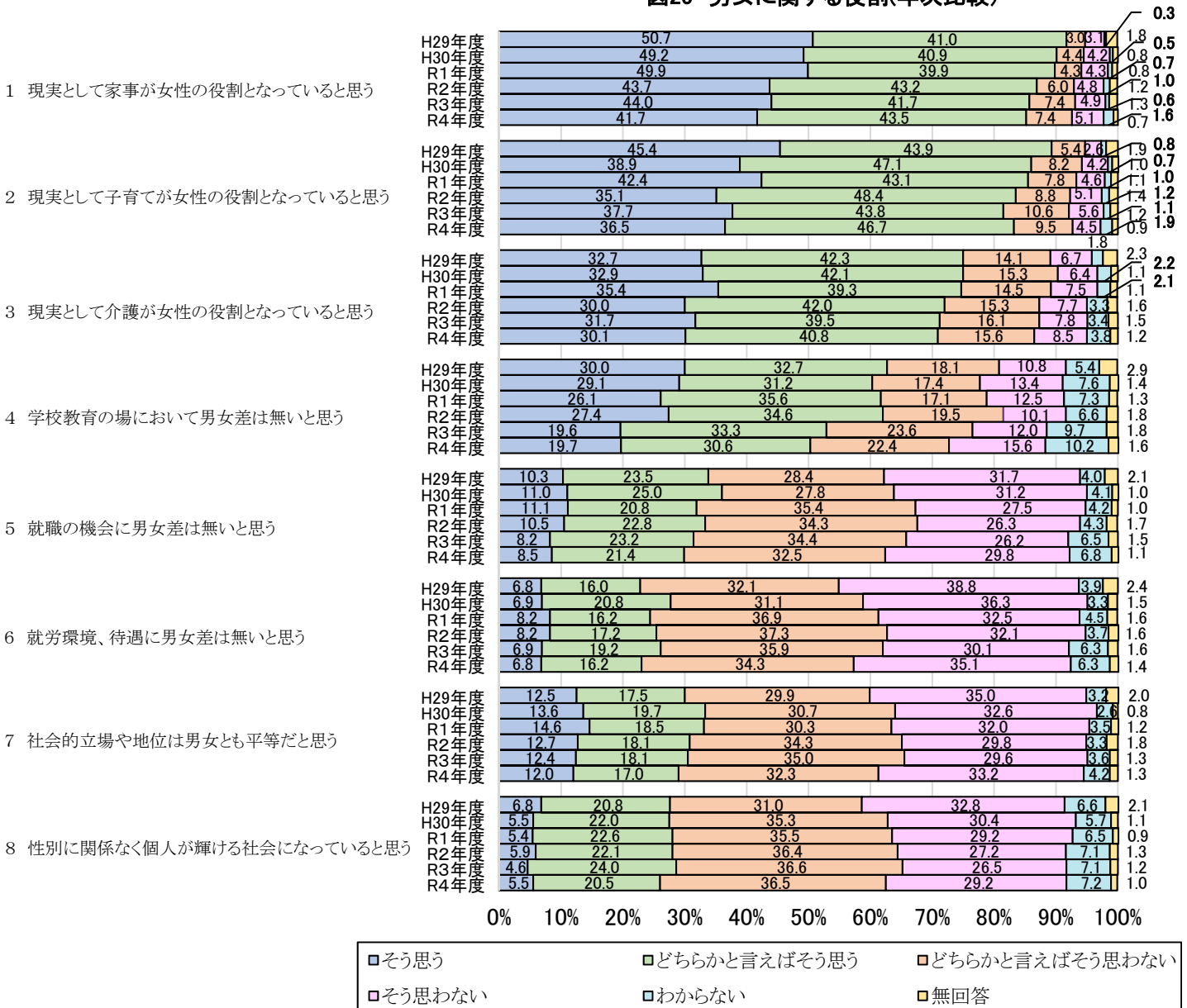
問7 男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目(設問)についてどう思われますか。項目ごとにいずれかに○を記入してください。

～現実として「家事、子育て、介護が女性の役割」となっていると思う人が多数～

男女に関する役割などについて、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」を合わせると、「現実として家事が女性の役割となっていると思う」が85.2%と最も割合が高く、次いで「現実として子育てが女性の役割となっていると思う」が83.2%、「現実として介護が女性の役割となっていると思う」が70.9%となっている。

平成29年度～令和4年度を比較してみると、上記の3項目について「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の計の割合は年度毎に減少傾向である。一方、「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」の計の割合が最も高いのは、「就労環境、待遇に男女差は無いと思う」の69.4%となっている。

図25 男女に関する役割(年次比較)



問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」
「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が上位～

男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」が60.9%と最も割合が高く、次いで「ワーク・ライフ・バランスを実現できる労働環境整備への支援」が47.0%、「性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発」が40.1%となっている。

令和元年度-4年度を比較してみると、特に、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」については、令和元年度から令和4年度のいずれにおいても6割以上が行政が行うべき施策との認識がある。

性・年代別でみると、「男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成」は女性の20～30歳代で高く、男性は30～40歳代で高くなっている。

図26 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために行政が行うべき施策(年次比較)

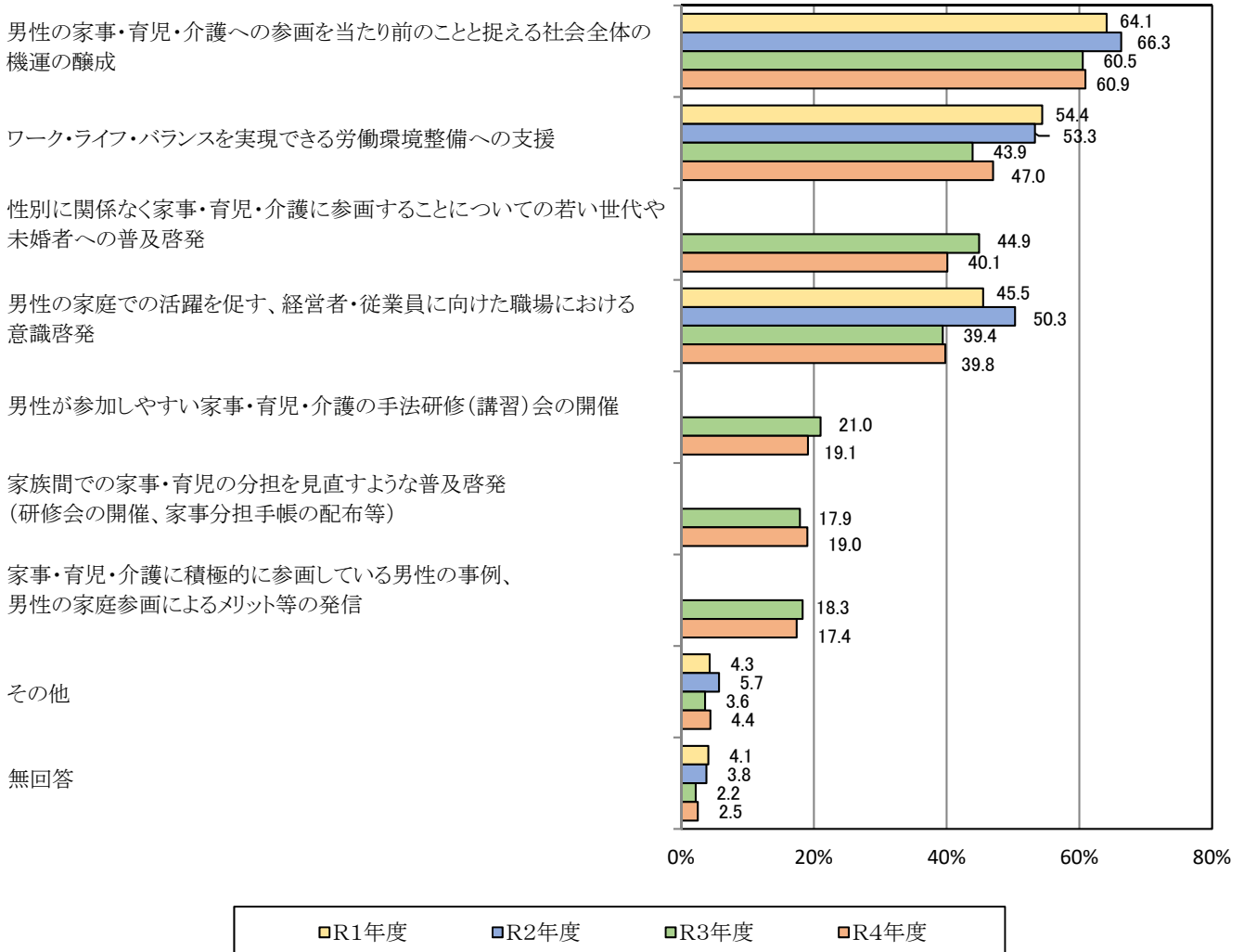
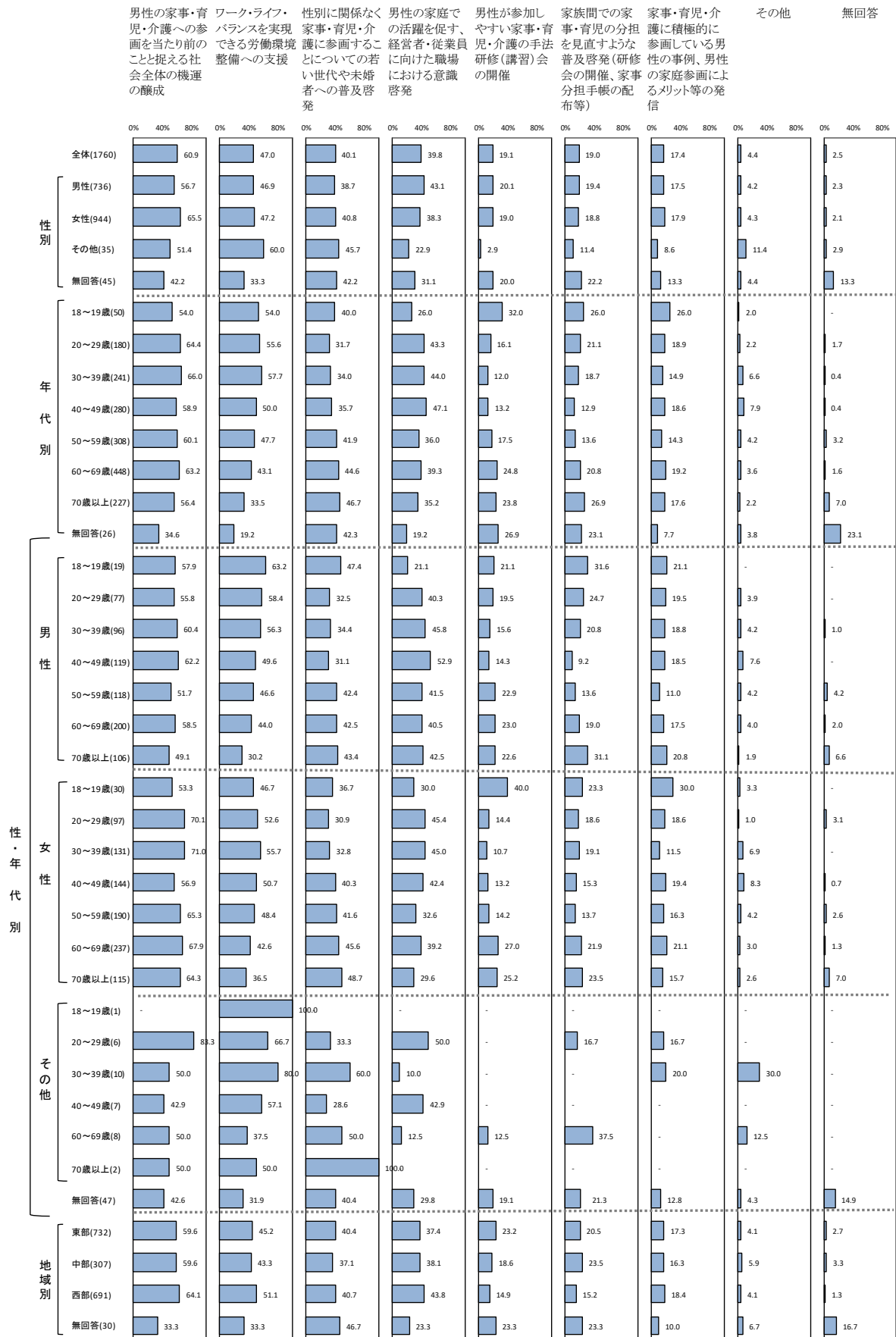


図 27 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策
(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】



問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。(〇は3つまで)

～「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」や「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が上位～

男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」が57.1%と最も高く、次いで「性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援」が56.2%、「子育てや介護等で離職した人の再就職支援」が39.8%となっている。

令和2年度-4年度を比較してみると、上記の3項目は年度毎に増加しており、特に4年度の「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」は前年度より6.1ポイント増加している。

性・年代別でみると、「保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境整備」は男女とも30歳代が最も高くなっている。

図28 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(年次比較)

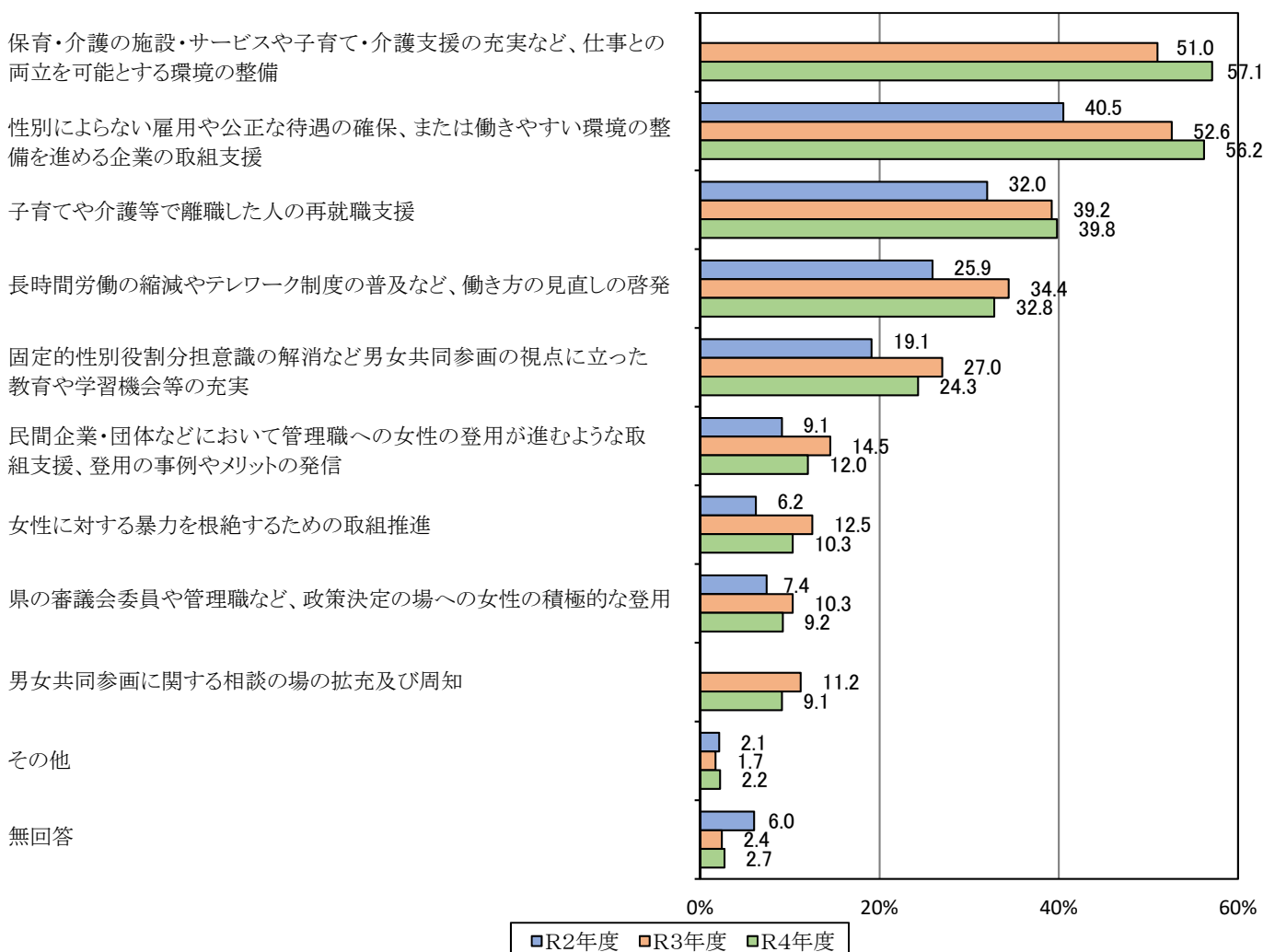
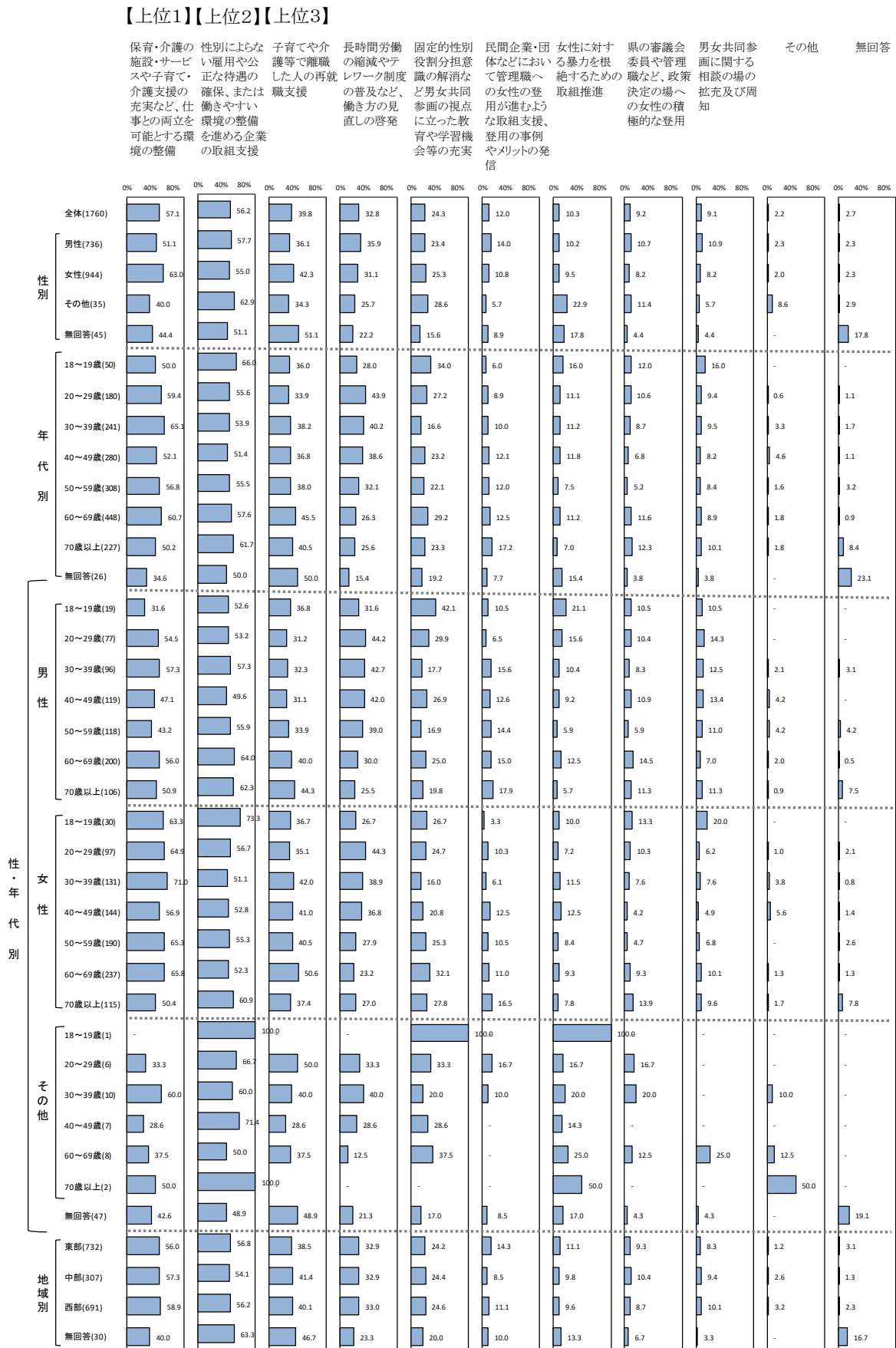


図 29 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきこと(性別・年代別・地域別)



5 SDGs(持続可能な開発目標)の推進

問 10 あなたは国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがありますか。

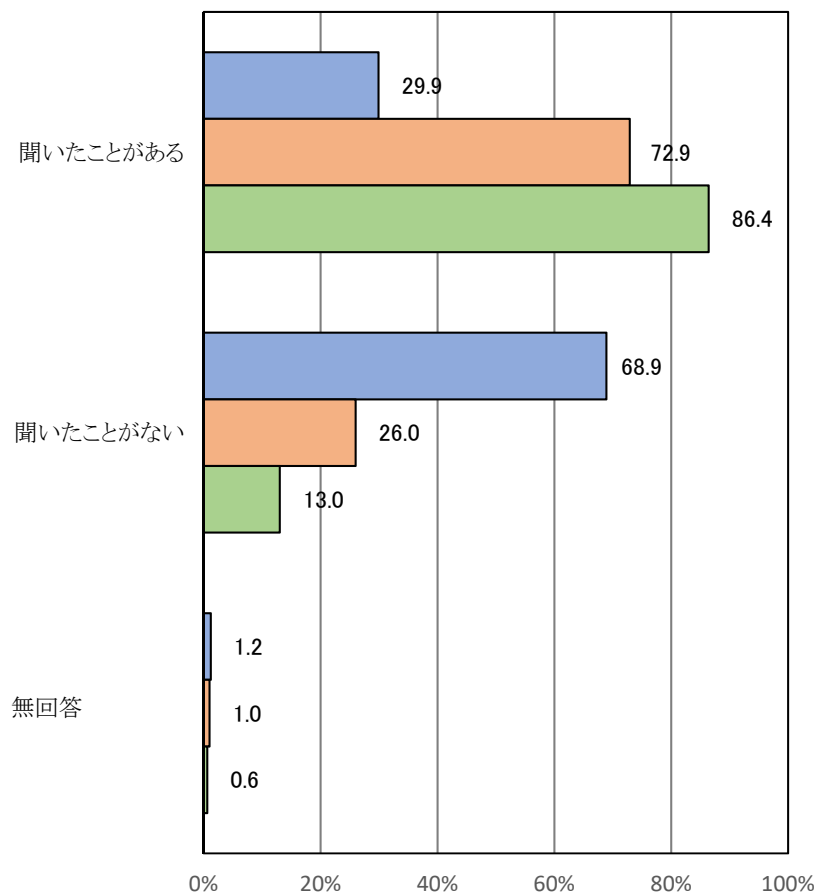
～「聞いたことがある」が約9割、「聞いたことがない」が約1割～

国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがあるかについて、「聞いたことがある」が86.4%、「聞いたことがない」が13.0%となっている。

令和2年度-4年度を比較してみると、「聞いたことがある」は年度毎に増加しており、4年度は前年度より10ポイント以上増加して、約9割となっている。

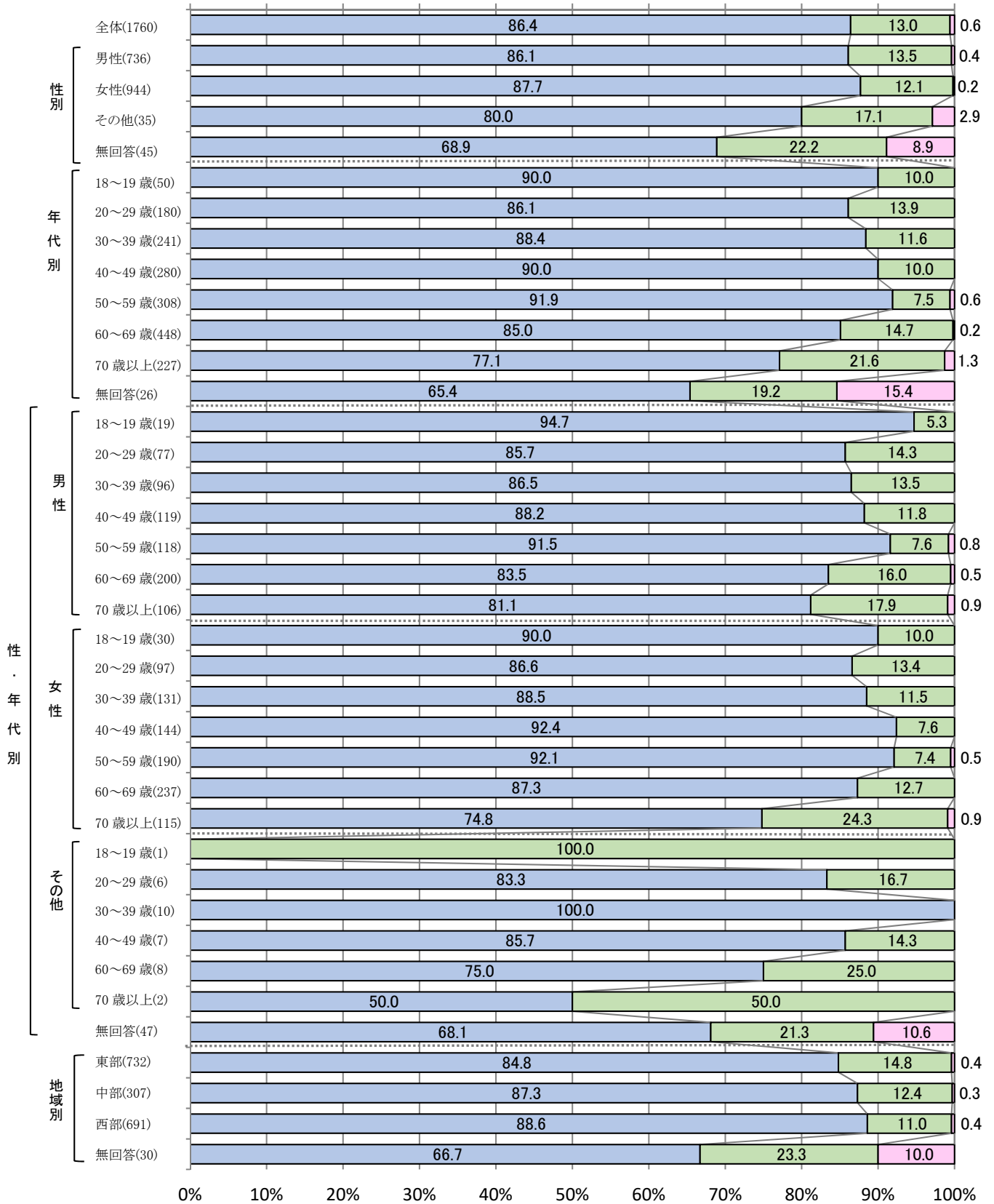
年代別でみると、「聞いたことがない」は70歳以上で高くなっている。

図30 国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか(年次比較)(n=1,760)



■R2年度 ■R3年度 ■R4年度

図31 SDGsという言葉・内容を聞いたことがあるか(性別・年代別・地域別)



□聞いたことがある

□聞いたことがない

□無回答

問 11 (「聞いたことがある」と回答した方へ)SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。
(〇はいくつでも)

～「テレビ」が最も多く「新聞・雑誌」が次に多い～

SDGsという言葉・内容をどうやって知ったかについて、「テレビ」が 77.8%と最も割合が高く、次いで、「新聞・雑誌」が 49.0%、「インターネット」が 33.2%となっている。

令和2年度-4年度を比較してみると、4年度は「インターネット」、「仕事・学校で関わりがある」が前年度より5ポイント程度増加している。

年代別でみると、「テレビ」は全ての年代で高く、「新聞・雑誌」は 60 歳代以上で高く、「インターネット」は 30 歳代以下で高くなっている。

図32 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(年次比較)

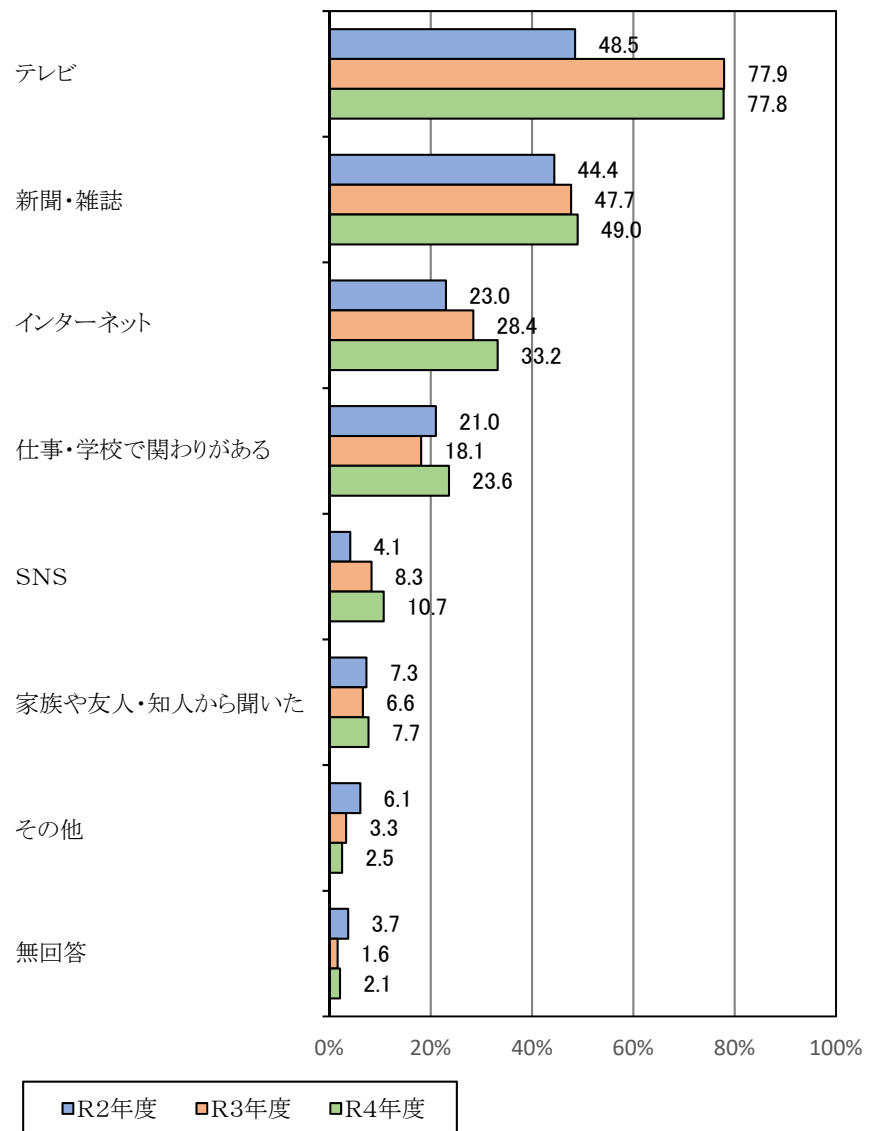
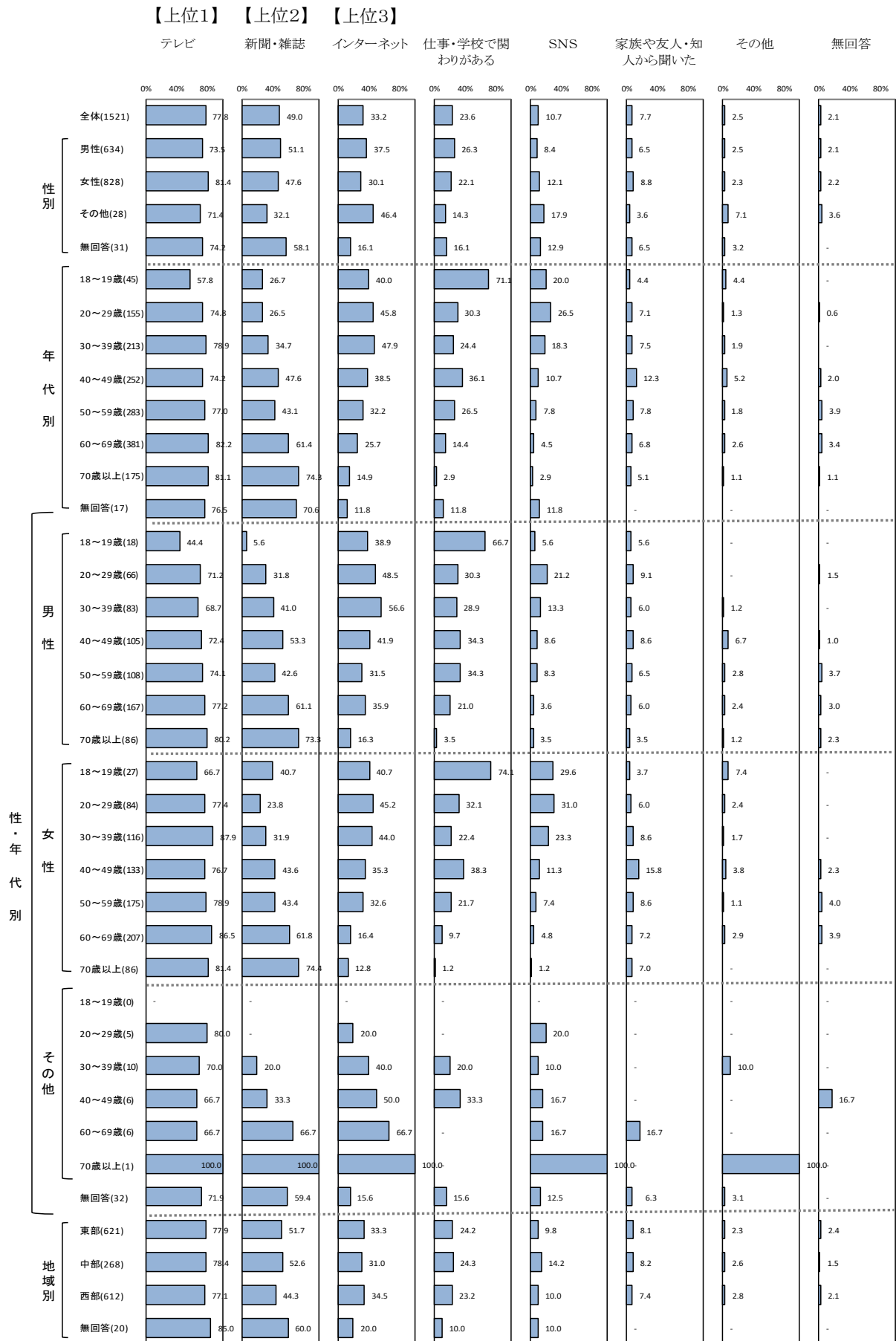


図 33 SDGsという言葉・内容をどうやって知ったか(性別・年代別・地域別)



問 12 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか。(〇はいくつでも)

～「平和と安全・安心社会の実現」「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、関心がある課題について、「平和と安全・安心社会の実現」が54.2%と最も割合が高く、次いで「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が49.5%、「生物多様性、森林、海洋等の環境の保全」が42.0%となっている。

令和2年度-4年度を比較してみると、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」は年度毎に増加している。

年代別でみると、「平和と安全・安心社会の実現」は60歳代以上で、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は40歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、全ての年代において「平和と安全・安心社会の実現」、「あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現」は男性より女性が高く、一方、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」は女性より男性が高くなっている。

図34 SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか(年次比較)

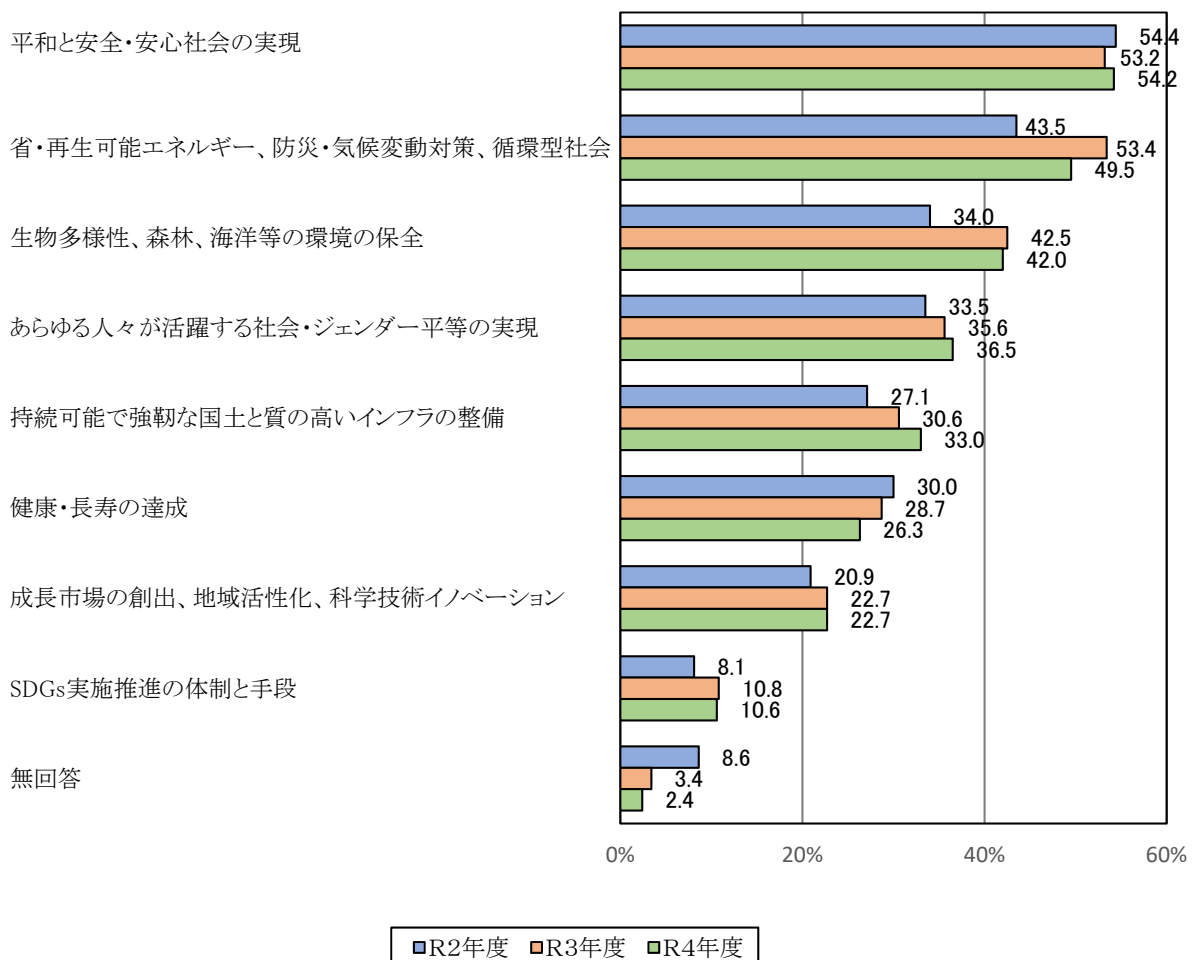
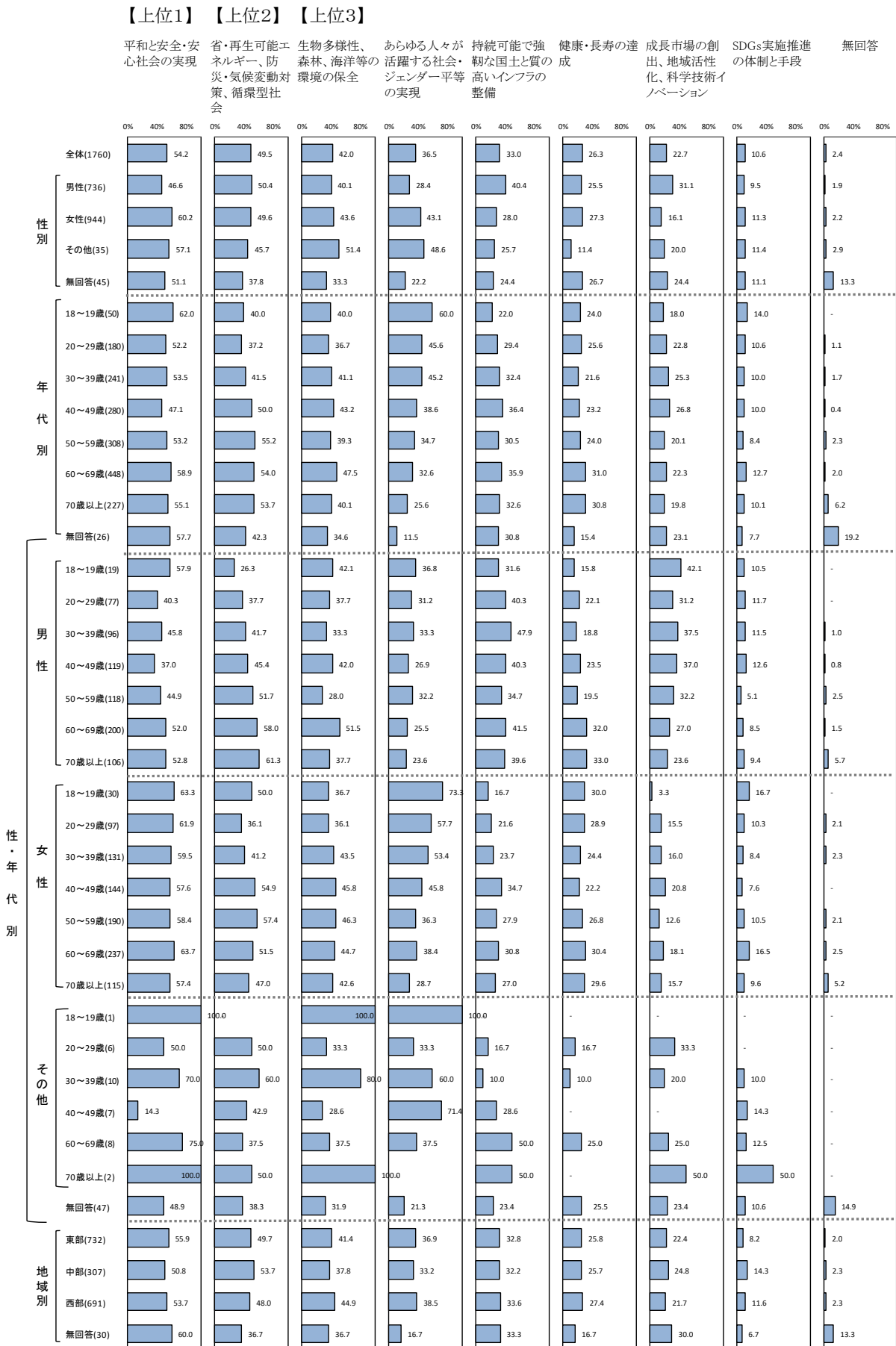


図 35 SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか(性別・年代別・地域別)



問 13 あなたは SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

～「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」「平和と安全・安心社会の実現」が上位～

SDGsの8つの優先課題のうち、行政が特に力を入れるべき課題について、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」が46.8%と最も割合が高く、次いで「平和と安全・安心社会の実現」が41.3%、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」が37.5%となっている。

令和3年度-4年度を比較してみると、「持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」は3年度より4.5ポイント増加している。

年代別でみると、「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」は40歳代以上、「平和と安全・安心社会の実現」は60歳代以上で割合が高くなっている。

図36 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて行政が特に力を入れるべき課題(年次比較)

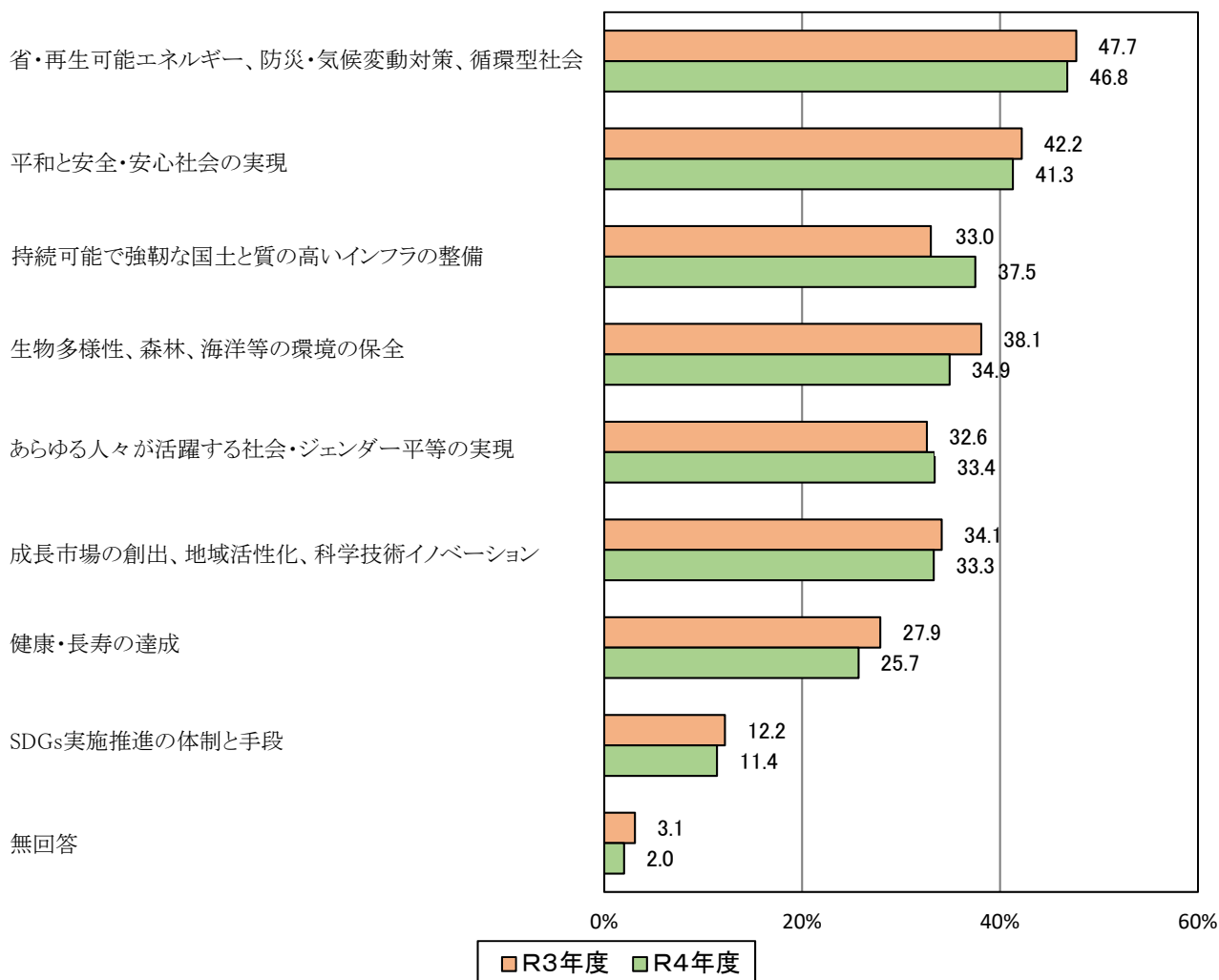
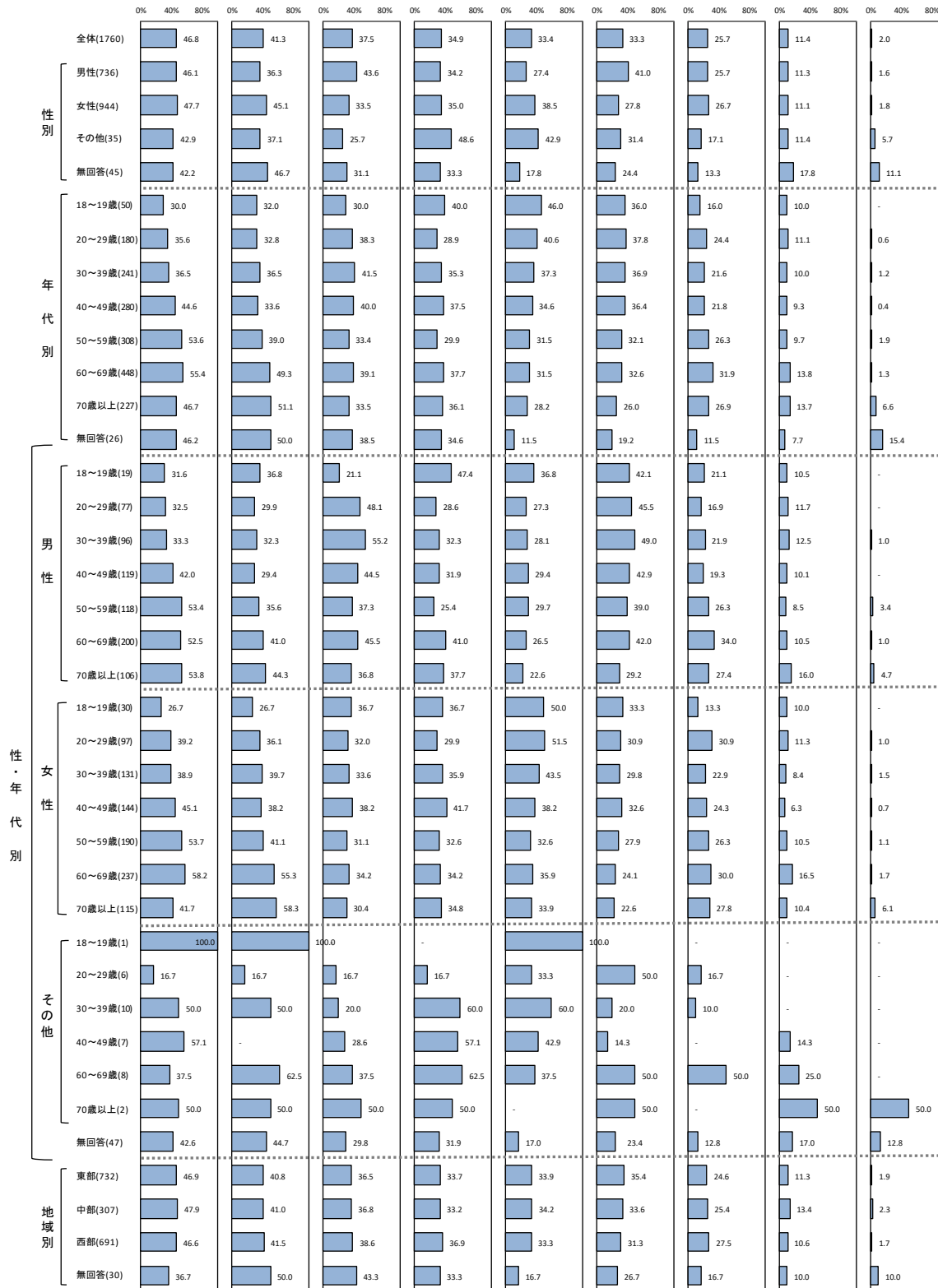


図 37 SDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題
(性別・年代別・地域別)

【上位1】 【上位2】 【上位3】

省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
 平和と安全・安心社会の実現
 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現
 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
 健康・長寿の達成
 SDGs実施推進の体制と手段
 無回答



Ⅲ 重点施策への関心・認識

問 14 「脱炭素社会」を目指す取組は、あなたの生活を豊かにすると思いますか。(〇は1つ)

～「そう思う」が約半数～

「脱炭素社会」を目指す取組は、生活を豊かにすると思うかについて、そう思う(「そう思う」・「ややそう思う」の計)は49.3%、そう思わない(「そう思わない」・「あまりそう思わない」の計)は15.6%となっており、そう思うが約半数となっている。

年代別でみると、そう思う(「そう思う」・「ややそう思う」の計)は50歳代以上で高くなっている。

図38 「脱炭素社会」を目指す取組は、あなたの生活を豊かにするか(n=1,760)

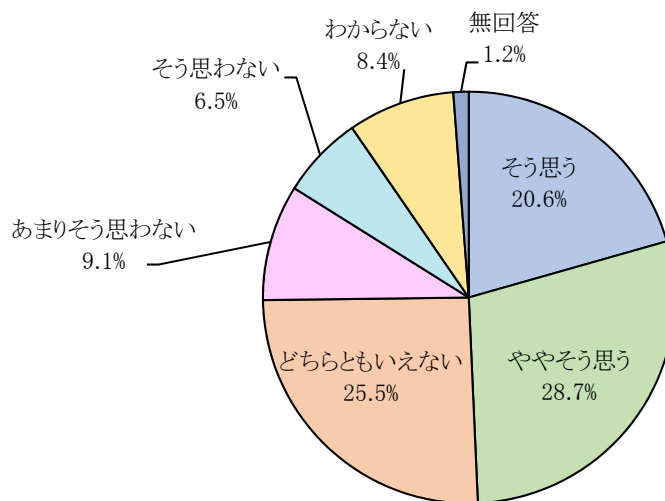
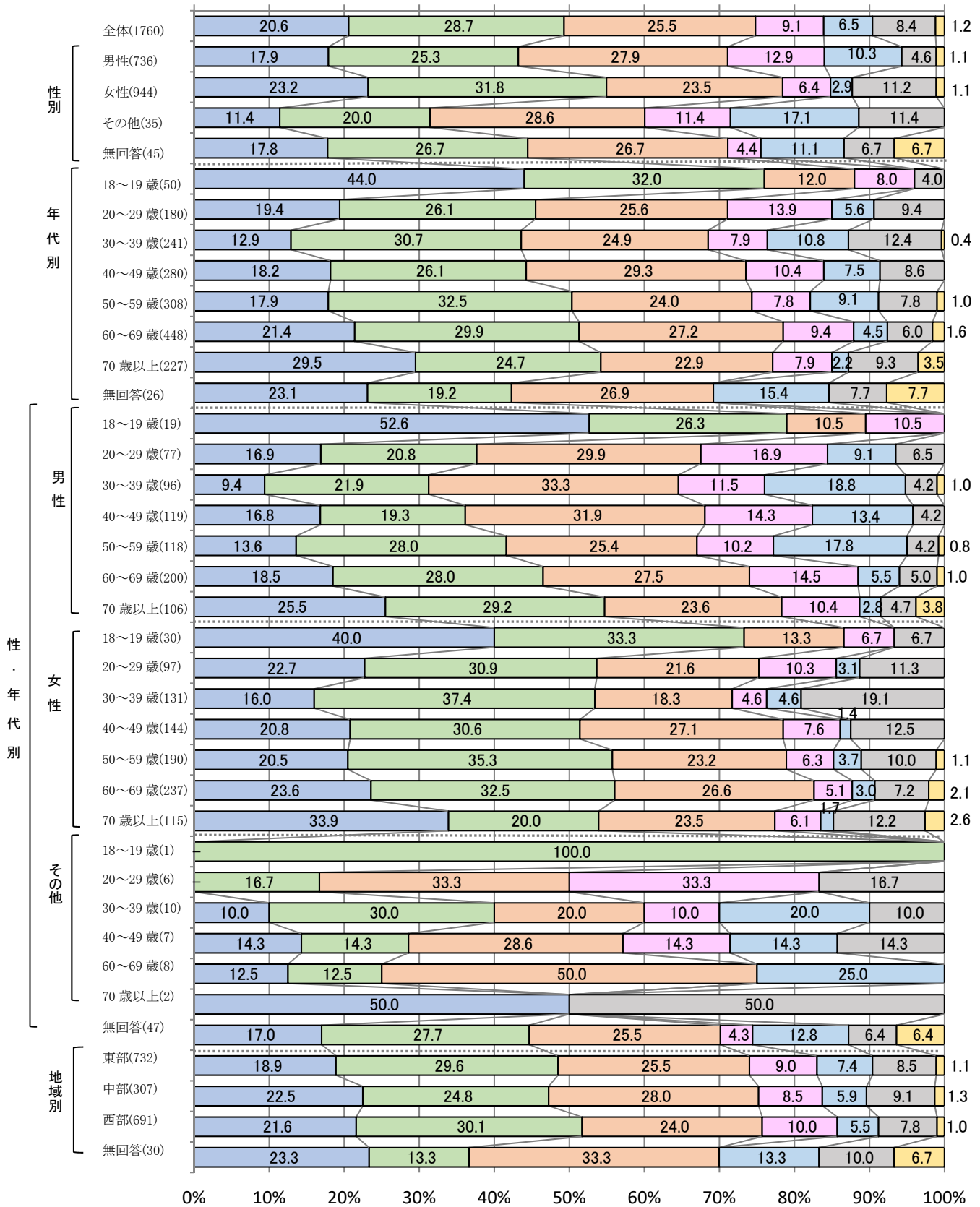


図39 「脱炭素社会」を目指す取組は、あなたの生活を豊かにするか
(性別・年代別・地域別)



そう思う
 ややそう思う
 どちらともいえない
 あまりそう思わない
 そう思わない
 わからない
 無回答

問 15 「とっとりエコライフ構想」を進めていくうえで、あなたが特に重要と考える施策はどれですか。(〇はいくつでも)

～「森林の保全管理」が最も割合が高い～

「とっとりエコライフ構想」を進めていくうえで、特に重要と考える施策について、「森林の保全管理」が 53.3%と最も高く、次いで「エコカー(電気自動車(EV)、プラグインハイブリッドなど)の普及促進」が 35.5%、企業等の省エネルギー化(LED照明、断熱)が 34.2%となっている。

年代別でみると、「森林の保全管理」は 60 歳代以上で高くなっている。

性・年代別でみると、「エコカー(電気自動車(EV)、プラグインハイブリッドなど)の普及促進」は男性の 50～60 歳代で高くなっており、「企業等による大規模な太陽光発電などの再生可能エネルギー導入」は全ての年代で男性より女性が高くなっている。

図40 「とっとりエコライフ構想」を進めていくうえで、特に重要と考える施策(n=1,760)

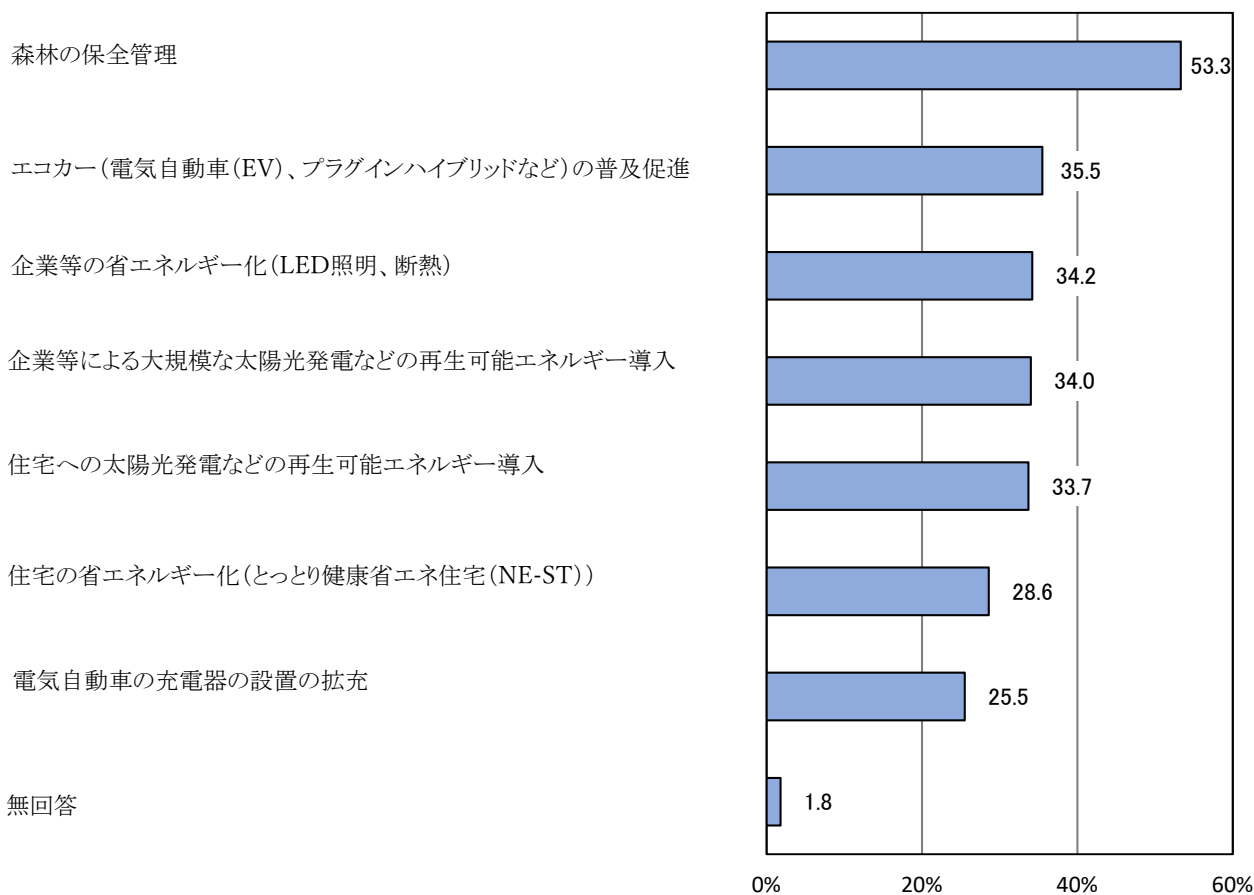
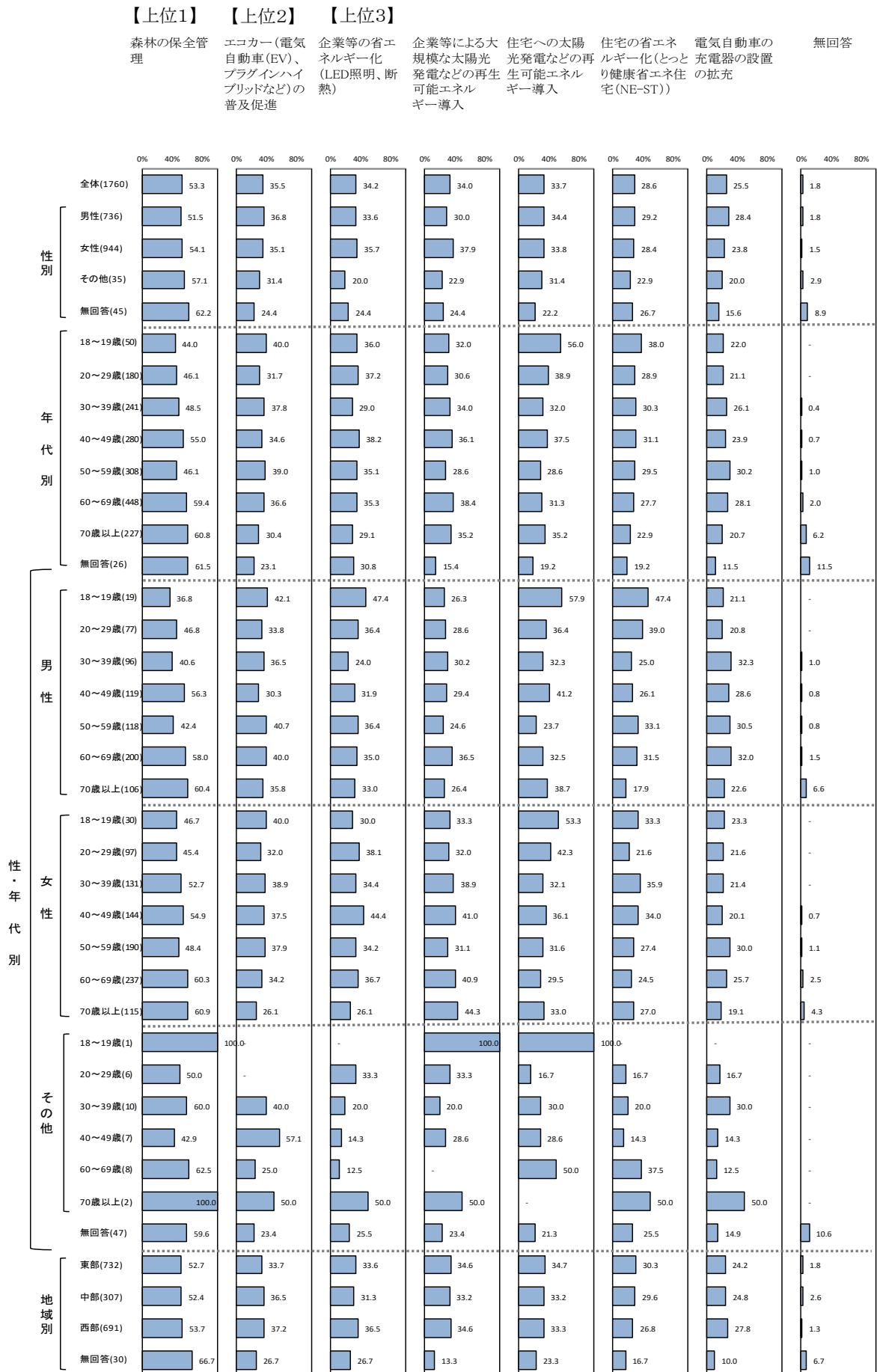


図 41 「とっとりエコライフ構想」を進めていく上で、重要と考える施策(性別・年代別・地域別)



問 16 電気自動車(EV)導入を促進するために、あなたが必要と思うことは何ですか。
(〇はいくつでも)

～「低価格化」「充電場所の拡充」「補助金の拡充」が高い～

電気自動車(EV)導入を促進するために必要と思うことは、「低価格化」が79.4%と最も高く、次いで「充電場所の拡充」が63.6%、「補助金の拡充」が49.4%となっている。

性・年代別でみると、「充電場所の拡充」は男性の60歳代で高くなっており、「走行距離の長距離化」は全ての年代で女性より男性が高くなっている。

図42 電気自動車(EV)導入を促進するために必要と思うこと(n=1,760)

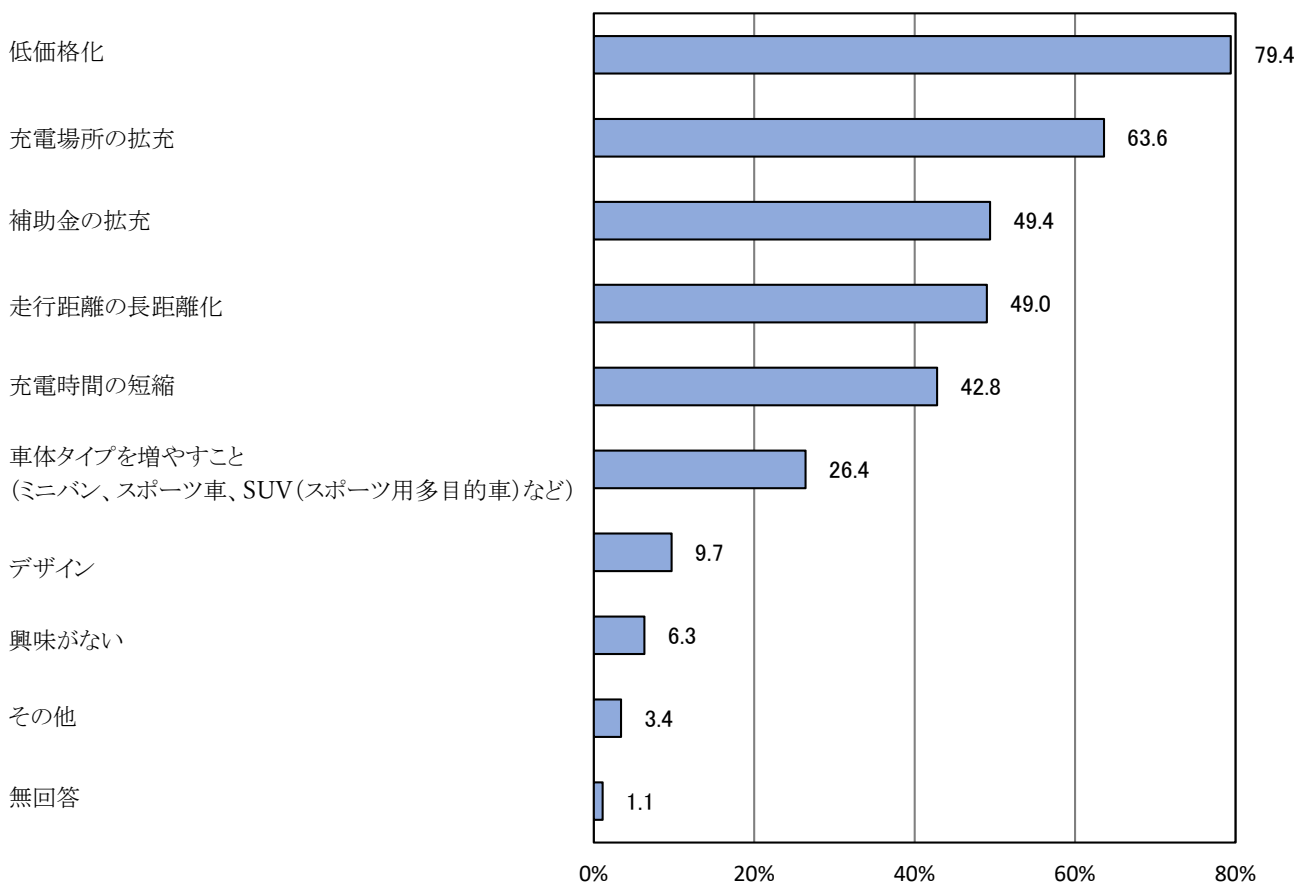
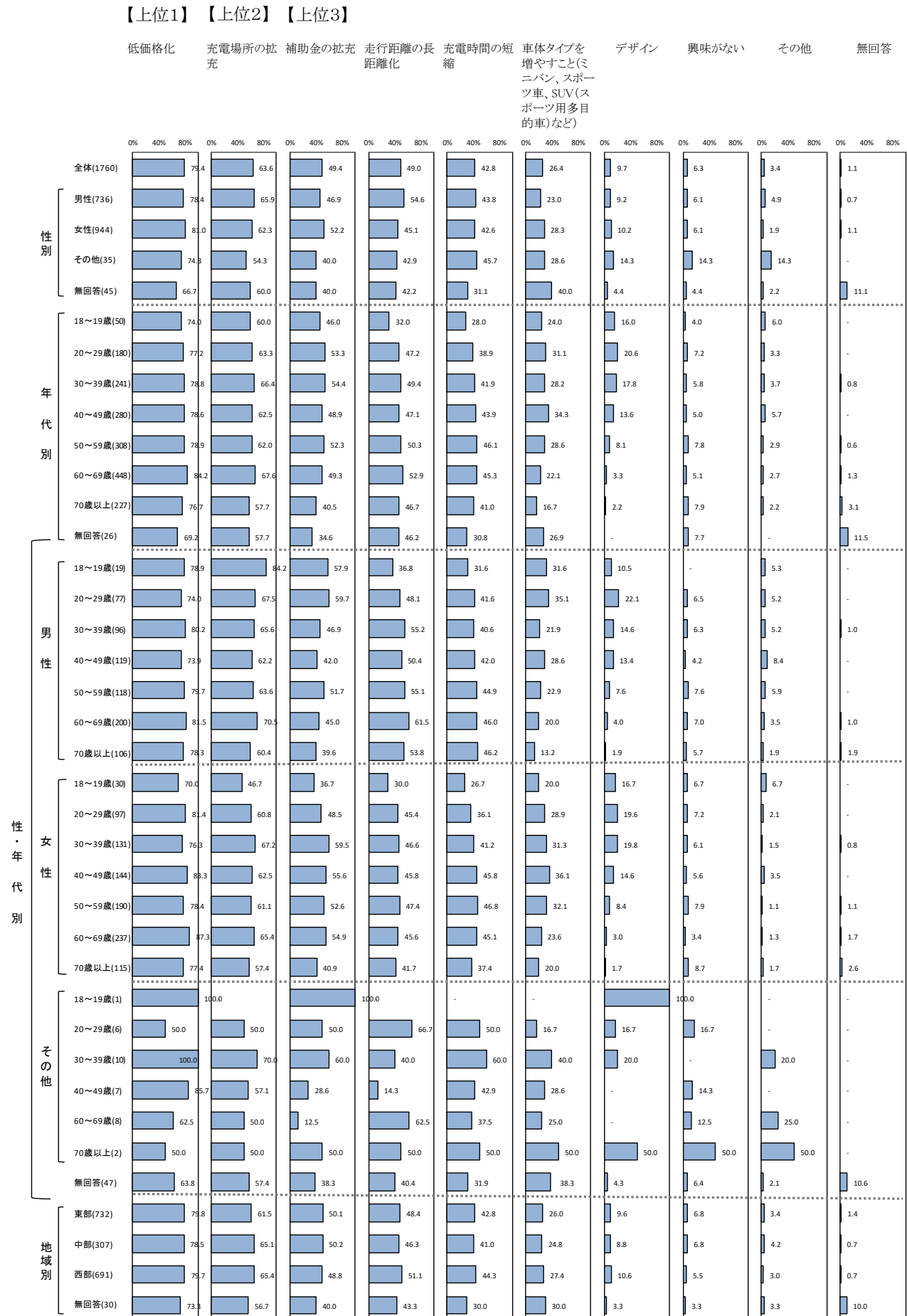


図 43 電気自動車(EV)導入を促進するために必要と思うこと(性別・年代別・地域別)



問 17 各家庭における太陽光発電設置についての設問です。

太陽光発電設備の設置時の初期費用が不要な「PPA(※1)」への関心度について、該当する数字に○をしてください。(○は1つ)

※1 PPAとは

自宅の屋根を民間の発電事業者に貸し出して、事業者が太陽光発電設備を設置することにより、自宅の所有者が初期投資の費用負担ゼロで太陽光発電設備を設置し、発電電力を自家消費する契約制度です。

～「関心がある」が約4割、「関心がない」が約3割～

太陽光発電設備の設置時の初期費用が不要な PPA への関心度について、関心がある(「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計)は 37.7%、関心がない(「全く関心がない」・「あまり関心がない」の計)は 31.2%となっている。

年代別でみると、関心がある(「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計)は 30～60 歳代で高くなっており、関心がない(「全く関心がない」・「あまり関心がない」の計)は、20～30 歳代で高くなっている。

図44 「PPA」への関心度(n=1,760)

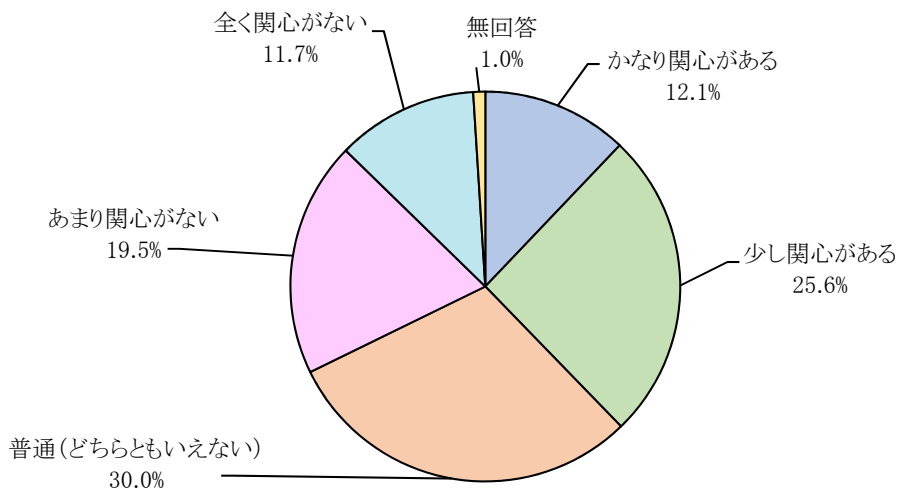
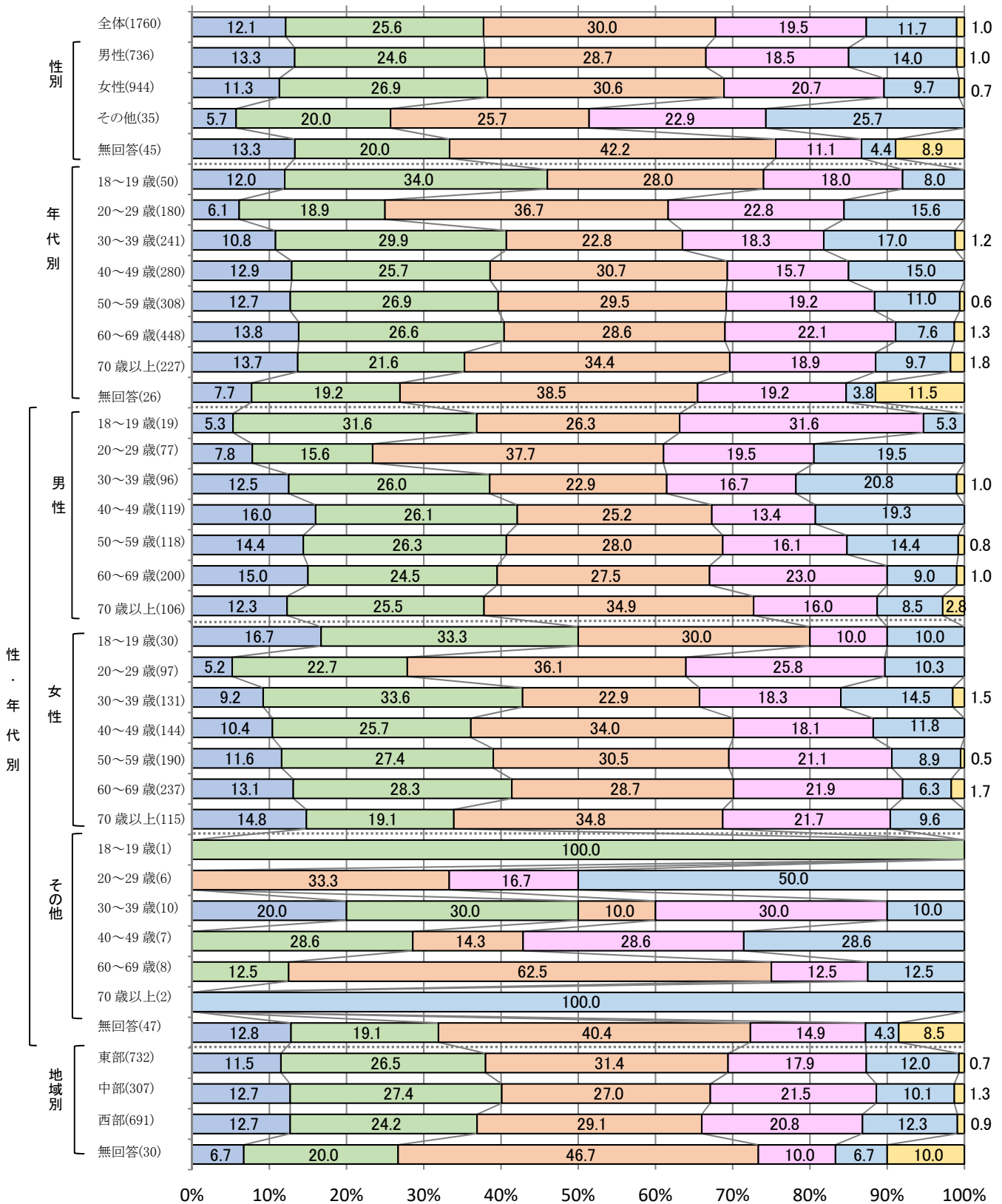


図45 PPAへの関心度(性別・年代別・地域別)



■かなり関心がある ■少し関心がある ■普通(どちらともいえない) ■あまり関心がない ■全く関心がない ■無回答

問 18 とっとり健康省エネ住宅(NE-ST(ネスト)※2)についての認知度及び関心度について、該当する数字に○をしてください。(○は1つ)

※2 とっとり健康省エネ住宅(NE-ST(ネスト))とは

国の基準を大幅に上回る鳥取県独自の住宅性能基準で、高断熱、高气密の家を実現することで光熱費を抑えることができるため、長期的(5～35年程度)に見れば工事費を含めても経済的であるほか、室温差が少ないことから冬季のヒートショックが起きにくく健康的に暮らせる基準です。

<とっとり健康省エネ住宅(NE-ST)の認知度>

～「聞いたことがない」が6割以上～

とっとり健康省エネ住宅(NE-ST(ネスト))の認知度について、「聞いたことがない」が62.5%と最も高く、次いで「聞いたことがあるが、内容は知らない」が29.2%、「だいたいの内容を知っていた」が6.8%となっている。

年代別でみると、「だいたいの内容を知っていた」は30歳代で高くなっている。

性・年代別でみると、「聞いたことがない」は男性の20歳代、40歳代及び女性の20歳代で高くなっている。

地域別でみると、「聞いたことがない」は中部地区で最も低くなっている。

図46 とっとり健康省エネ住宅について (①認知度) (n=1,760)

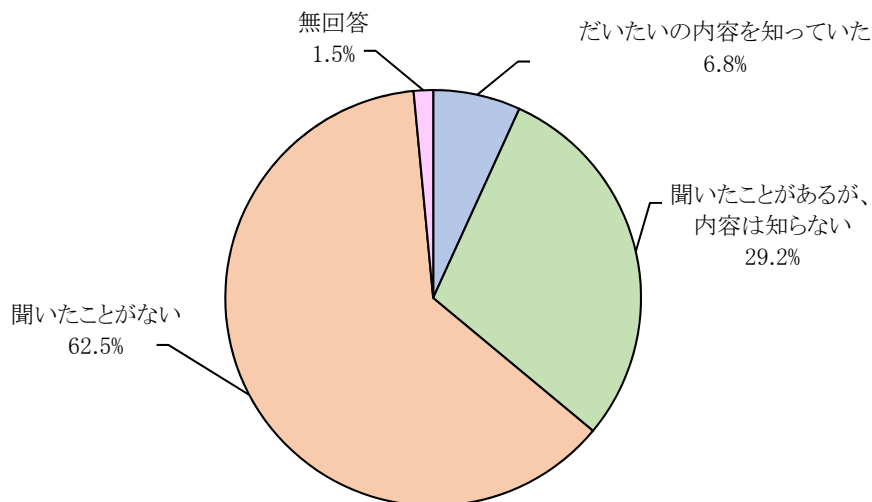
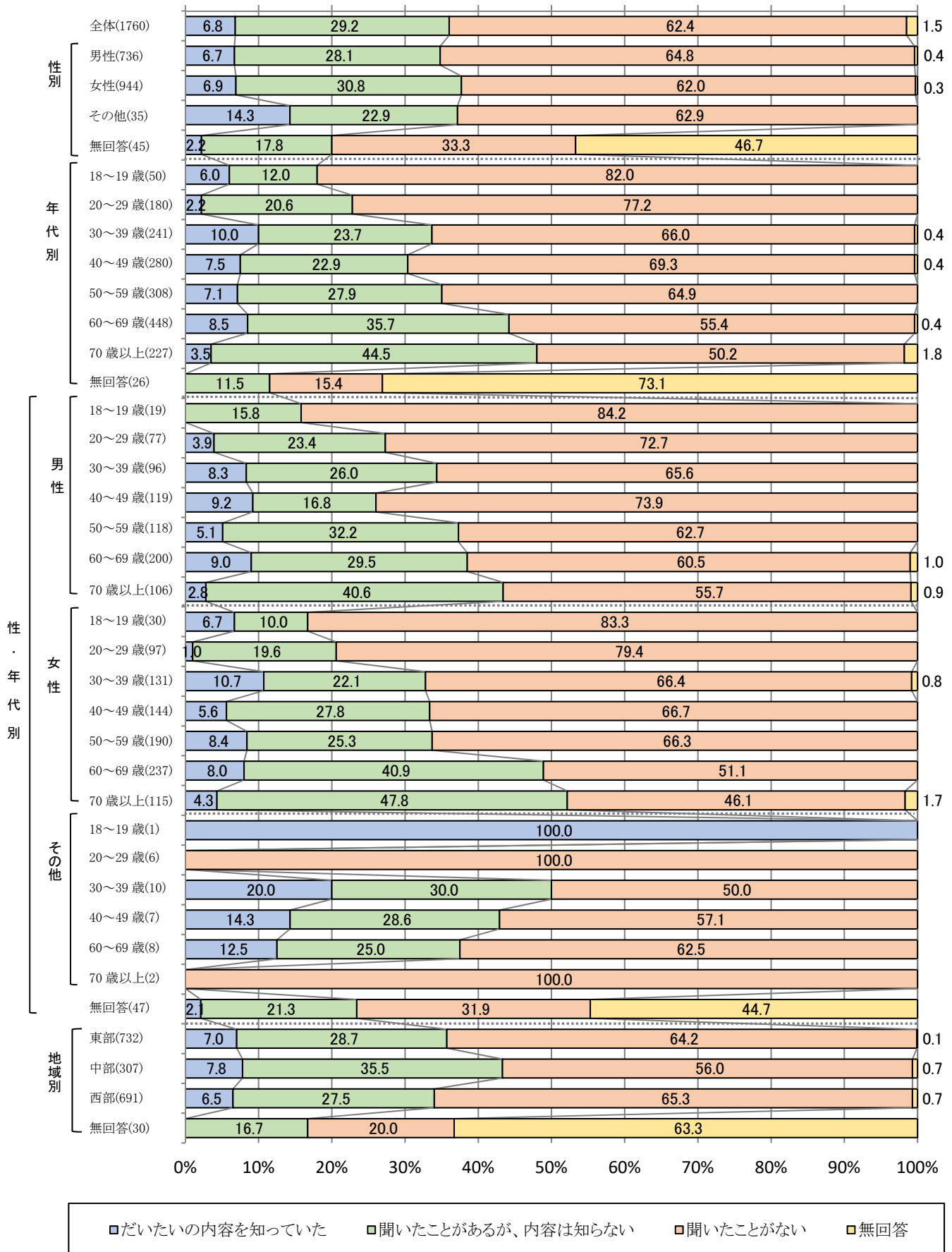


図47 とっとり健康省エネ住宅について (①認知度)(性別・年代別・地域別)



<とっとり健康省エネ住宅(NE-ST)についての関心度>

～「関心がある」「関心がない」が共に約3割～

とっとり健康省エネ住宅(NE-ST(ネスト))の関心度について、関心がある(「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計)は 32.9%、関心がない(「全く関心がない」・「あまり関心がない」の計)は 32.2%となっている。

年代別で見ると、関心がある(「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計)は 50 歳代で高くなっている。

性・年代別で見ると、関心がある(「かなり関心がある」・「少し関心がある」の計)は男性の 50 歳代で特に高くなっている。

一方、関心がない(「全く関心がない」・「あまり関心がない」の計)は男性、女性共に 20～30 歳代で高くなっている。

図48 とっとり健康省エネ住宅について (②関心度) (n=1,760)

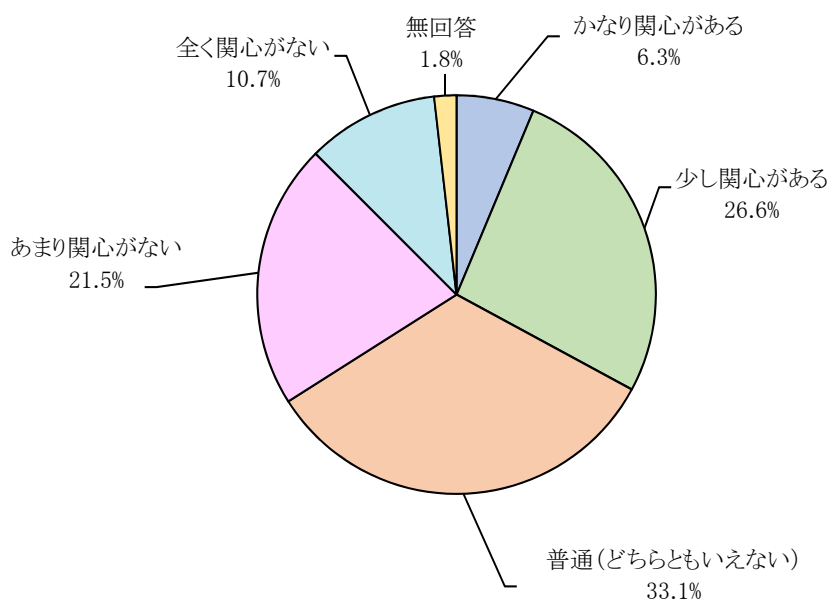
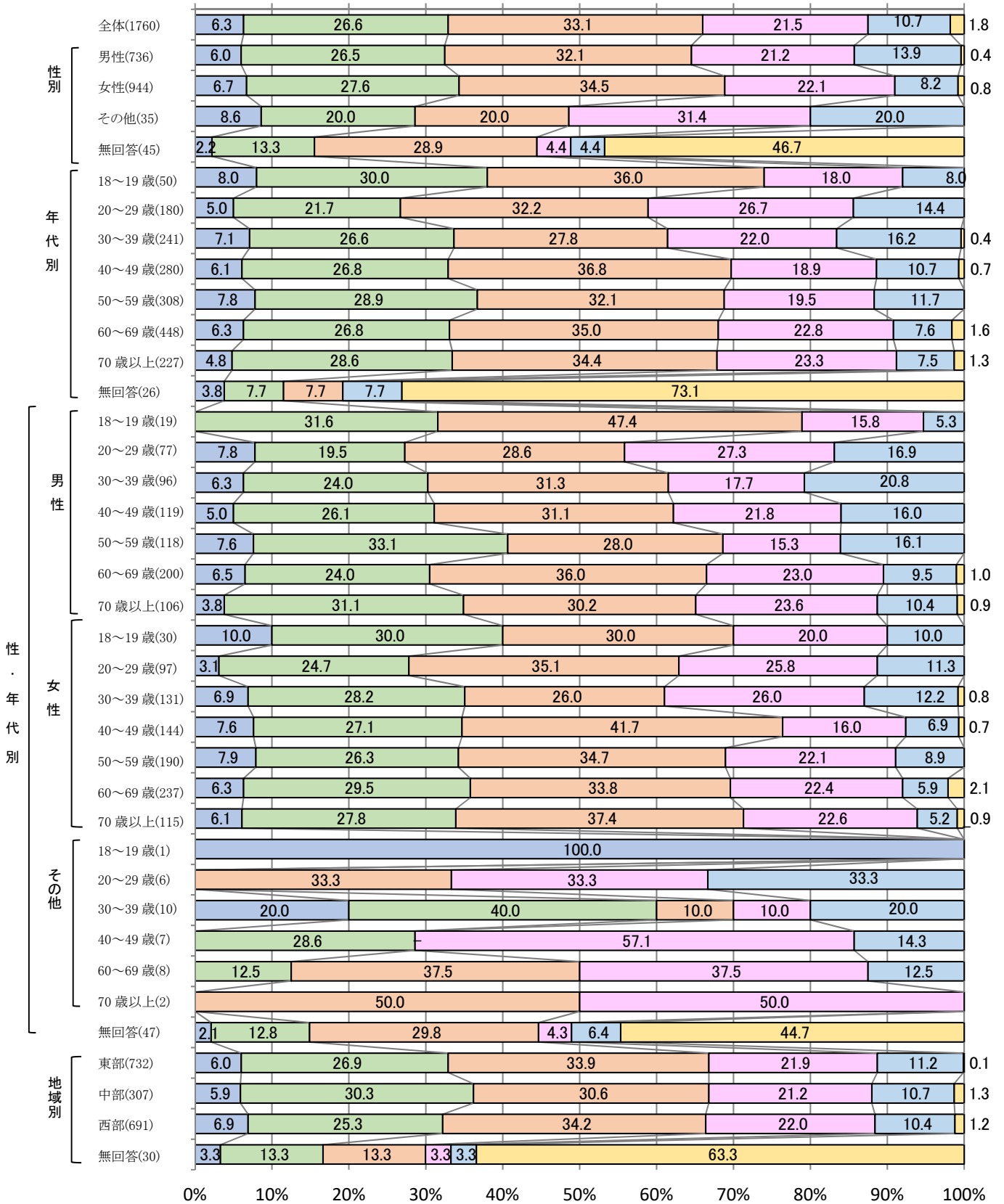


図49 とっとり健康省エネ住宅について (②関心度)(性別・年代別・地域別)



かなり関心がある
 少し関心がある
 普通(どちらともいえない)
 あまり関心がない
 全く関心がない
 無回答

【自由記載】

多くの方々からたくさんのご意見をいただきましたので、一部を紹介いたします。

問5 あなたの「幸福度」を判断するときに、あなたが重視することは何ですか。(選択肢13「その他」への記載)

公共施設の有無(美術館など)。 ◆(30～39歳 男性 東部)
周りの人も幸福であること。 ◆(40～49歳 女性 西部)
医療機関。 ◆(50～59歳 男性 西部)
子どもの成長。 ◆(60～69歳 男性 西部)
安全な食。 ◆(60～69歳 女性 中部)
何もない普通の生活。 ◆(70歳以上 女性 西部)
防犯、防災の為にインフラ充実。 ◆(---)

問8 男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思いますか。

(選択肢8「その他」への記載)

女性も働いているのだから、家事・育児介護の外部への委託を安くできるようにしてほしい。 ◆(20～29歳 女性 西部)
子育て育児のために時短勤務等する際、周囲の同僚の仕事量が増えたり残業が増えたりする。当事者だけに対するフォローだけでなく周囲の人たちへの配慮や工夫も必要だと思う。 ◆(30～39歳 女性 東部)
育児休暇を長期でとるのが当たり前、妊娠中の妻のサポートでも休む環境がほしい。 ◆(30～39歳 女性 西部)
職場には男性の育児休暇がありますが、人員不足により制度を活用することは難しいです。人員不足を解消するのが優先のように思います。 ◆(30～39歳 その他・回答したくない 東部)
男性の所得が女性より多いため、女性の所得を男性と同等か以上にすること。 ◆(40～49歳 女性 西部)
PTA活動などの負担軽減により、子育ての時間を確保する。 ◆(50～59歳 男性 東部)
各家庭で幼いころから両親等が平等に家事・育児・介護をする姿を見せる。(教育の場でも)大人になってからだ固定概念にとらわれて覆すのが難しいと思う。 ◆(50～59歳 女性 西部)
企業規模や産業の特性にあった行政の指導や支援の取り組み。 ◆(60～69歳 男性 東部)

問9 男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思いますか。
(選択肢 10「その他」への記載)

<p>まずは行政機関からの変革が必要。そして地道に周囲へ啓発。 ◆(40～49 歳 男性 東部)</p>
<p>企業や団体においては男女関係なく評価基準を明確にし、仕組み作りから指導、支援する。 ◆(60～69 歳 男性 東部)</p>
<p>政治を変えないと何も変わらない。女性議員が少なすぎる。 ◆(60～69 歳 男性 西部)</p>

問 11 SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。(選択肢 7「その他」への記載)

<p>高校の授業で触れられた。 ◆(18～19 歳 女性 中部)</p>
<p>子どもの通う幼稚園が取り組んでいる。 ◆(30～39 歳 女性 西部)</p>
<p>学会、勉強会など。 ◆(40～49 歳 女性 西部)</p>
<p>地域の団体活動の中で。 ◆(60～69 歳 女性 中部)</p>
<p>会社で具体的に取り組んでいる。 ◆(70 歳以上 男性 西部)</p>
<p>町報紙、県情報誌。 ◆(70 歳以上 その他・回答したくない 西部)</p>

問 16 電気自動車(EV)導入を促進するために、あなたが必要と思うことは何ですか。
(選択肢9「その他」への記載)

<p>電池を安全に使える年数を伸ばす。 ◆(18～19 歳 男性 西部)</p>
<p>EV で使う電気を発電するのに CO2 が出てしまえば本末転倒。CO2 の排出が少ない電力の安定確保が第一。 ◆(18～19 歳 女性 西部)</p>
<p>集合住宅の駐車場や月極駐車場への充電設備の配備。 ◆(30～39 歳 男性 東部)</p>
<p>カーシェアリングサービスの普及。 ◆(30～39 歳 男性 中部)</p>
<p>no-plug 充電。 ◆(30～39 歳 その他・回答したくない 東部)</p>
<p>今日の日本の景気をふまえると、維持費も含めた超低価格化。 ◆(30～39 歳 その他・回答したくない 東部)</p>
<p>すべての車が電気自動車になってもまかなえるだけの発電設備の建設。 ◆(40～49 歳 男性 東部)</p>
<p>トラブル時の安心感 雪の降る鳥取では、立ち往生などの渋滞の時に怖くて電気自動車なんて選択できないです。 ◆(40～49 歳 男性 東部)</p>
<p>ディーゼルやシステムハイブリッド(e パワー等)の方が現実的でエコだと思う。 ◆(40～49 歳 男性 西部)</p>

電池生産時のコストダウン。現在はエコとは逆行している。電池を製造するために大量の化石燃料を使うため等。 ◆(50～59 歳 男性 東部)
雪道の走行可能な四輪駆動。 ◆(50～59 歳 男性 中部)
鳥取県のような冬期、雪が降る地域では EV 車は適さないと思う。 ◆(60～69 歳 男性 東部)

自由記載欄（「ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください」への記載）

鳥取県の努力により色々考える機会が増えました。あとは、より参加しやすい仕組み、関わることの出来る仕組みが大切だと思います。参加するハードルの低さ、日常の当たり前になる施策を期待します。 ◆(40～49 歳 男性 西部)
長引く新型コロナウイルスの影響などで格差社会が生まれています。実際に困っている方々が安心して暮らせる鳥取にしてくださるような政策を打ち出して、一日も早く実施してくださることを希望します。 ◆(70 歳以上 女性 東部)
脱炭素ばかり叫ばれているなか、そればかりが先にたち、生活に支障をきたしていると思う。その前に温室効果ガスを吸収してくれる自然環境保全を第一に持ってくるべき。海も二酸化炭素を多く吸収しているなど、一般の方々にも周知してもらうなど行政機関の啓蒙方法を頑張ってもらいたい。鳥取はガスを出さなく、世界的にもどンドン森林が減ってしまっている自然環境を大切にしよう、街中にも森林公園を作ろう。ヒートアイランドをつくらず、木を植えようなど、鳥取からエビデンスを検証しそれを元に発信していき、自然環境保全等を元にこの地域を発展させて行って欲しいと思う。 ◆(40～49 歳 男性 東部)
とっとりエコライフ、ネストについて、モデル集落のような共同体を指定し、そこを重点的に情報発信してはどうか。具体的に生活がどう変わるのか明示できると思う。 ◆(60～69 歳 男性 西部)
私が住んでいるのは、西部なのでその周辺のことですが、子育て王国をうたっているわりに、子供達にとつての環境が整っていないのではないかと思います。もっと充実した遊具のある公園。近場でちょっと遊べる公園。雨の日でも室内で遊べる施設等の充実。そういった企業が鳥取県に店舗を作るメリットが必要かと思えます。人口の増加等。そのためには、鳥取県に住みたいと思ってもらえること、子供を産み育てていく為の環境、経済的支援の充実が必要だと思います。 ◆(30～39 歳 女性 西部)
都市圏と比べ公共交通網が整備されていない鳥取県において、自家用車での移動が生活基盤の一つとなっています。高齢者による危険運転が注目され、免許自主返納が対策の一つに挙げられてはいますが、それで生活が成り立つのは公共交通網が整備された都市部であり、地方では生活必需品の買い出しや、病院受診にも運転が必須であり、その対策は必須ではないかと思います。また、近年では車の大型化が進み、小型車であっても 3 ナンバーとなる事が増えています。そうした中、旧来の県道や国道では道幅が狭く、中央分離帯も未整備である部分も多いように見受けられます。市役所等の駐車区画も狭く、そうした部分の整備も必要ではないかと思います。 ◆(30～39 歳 男性 西部)
若者が定着できる様な環境づくりへの施策を強化してほしい。 ◆(50～59 歳 女性 東部)

<p>鳥取県は海・山・自然に囲まれた大変素晴らしいところだと思っています(私はこの地が大好きです)。ただ、若い人達が就職できる(資格を取っても活かせる)企業が少ないので、その力を活かせず県外へ出たままになってしまうことが残念です。地元へ帰っても資格を活かして働ける企業が増えると、鳥取県はもっと活気が出てくるのかなと思っています。</p> <p>◆(50～59 歳 女性 中部)</p>
<p>若者が働ける場の確保、都会に比較しかなり低水準の給料等の是正。年収が少なければ、将来の年金等についても不安がある。UターンJターンのできる環境づくりが必要。</p> <p>◆(60～69 歳 男性 西部)</p>
<p>ほとんどが子ども、子育てと支援がありますが、介護をしているものには支援が全くといっていいほどありません。年金は少ない、介護するために仕事もセーブ、又は施設に預けるにしてもかなりのお金がかかり生活困難です。子育てが終わったと思ったら次は介護。そんな中高年の者にも支援して頂きたい。</p> <p>◆(50～59 歳 女性 中部)</p>
<p>物価高についていける給料及び年金など収入を増やすことをしてほしいです。この物価にとっても家計がついていけません。</p> <p>◆(60～69 歳 男性 西部)</p>
<p>子どもの教育に対してもっと力を入れてほしい。学校や保育園の先生たちの負担をとってもらいたいです。教育が無ければ日本の未来はないと思っています。保育園の確保や他県よりは恵まれていると思いますが、子どもや若い人に対する取り組みを今以上に望みます。</p> <p>◆(40～49 歳 女性 西部)</p>
<p>コロナで出会いが少ない、イベントを増やしてほしい。</p> <p>◆(50～59 歳 女性 西部)</p>
<p>鳥取はやはり田舎だからかIT企業数が少なく感じます。これからぜひ誘致していただけるととても助かります。</p> <p>◆(20～29 歳 男性 東部)</p>
<p>県外の大学に入学し、生活する中で、鳥取県は本当に自然に恵まれた、素晴らしい場所だと実感しました。だからこそ、自然をより活用すべきだし、これからも守らねばならないと思っています。</p> <p>◆(20～29 歳 男性 西部)</p>
<p>鳥取県民で良かったと心から思っています。私の子どもやその世代にもそう思ってもらいたいと願っています。私にできる事をこれからも続けていけるような鳥取であってほしいと願っています。</p> <p>◆(40～49 歳 - 東部)</p>

鳥取県の政策に関する「県民意識調査」に ご協力をお願いします

県では、都会にはない鳥取県の強みを活かし、県民の皆さんとともに様々な地方創生の取り組みを進めています。

これからも、県民の皆さんが住み慣れた地域で安全に安心して暮らし続けていただけるよう、現在の状況などについて、あなたの率直なご意見をお伺いし、今後の県政に活かしていきたいと思えます。

ついでには、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようよろしくお願いいたします。

令和4年6月30日

- この調査は鳥取県が行う「鳥取県の政策に関する県民意識調査」（今年で7回目）です。
- この調査は、本調査票にご記入のうえ郵送いただくか、パソコンやスマートフォンでインターネットを通じて回答いただくことも可能です。

インターネットによる回答方法については、調査票の裏面をご覧ください。

- 調査をお願いする方の選定にあたりましては、県内在住の18歳以上の方から3,000人を各市町村の住民基本台帳より無作為に抽出させていただきました。
- 調査票は無記名になっていますので、お名前を記入していただく必要はありません。
- ご回答いただいた内容は、無記名のまま統計的に集計・分析するため、個人が特定されたり、個々の回答内容が公表されることはありません。
- 調査票は、封筒のあて名の方ご本人がお答えください。ただし、ご本人の回答が難しい場合は、ご家族の方など代わりの方（18歳以上）がお答えいただいて差し支えありません。
- ご記入いただいた調査票は、**同封の返信封筒に入れて 令和4年7月20日（水）までに郵便ポストに投函（切手不要）**してください。
- この調査についてご不明な点がございましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

【問合せ先】

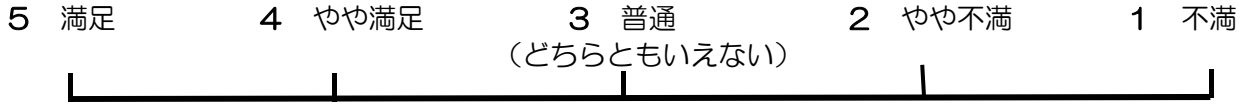
鳥取県地域づくり推進部県民参画協働課
〒680-8570 鳥取市東町一丁目 220
電話：0857-26-7848
ファクシミリ：0857-26-8112
電子メール：kenminsankaku@pref.tottori.lg.jp



Ⅱ 鳥取県の施策の満足度と今後の優先度について

【問6】鳥取県が実施している施策等について、あなたの満足度をお聞きしますので、【評価の基準】を参考にそれぞれ5段階で回答をお願いします（各項目の1～5のいずれかの数字に○をしてください。）
また、テーマごとに今後の優先度（重要度）が高いと思われる施策等について3つずつお選びください。

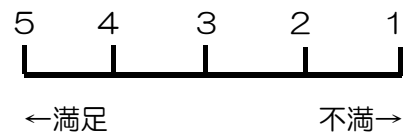
【評価の基準】



1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる

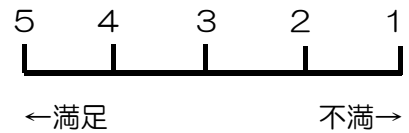
① **豊かな観光資源を活用した観光誘客の取組**

（地域資源を活かした周遊観光、自転車、エコツアー、キャンプなどのアウトドアツーリズムの推進、農山漁村生活体験等の体験型観光・旅行の推進など）



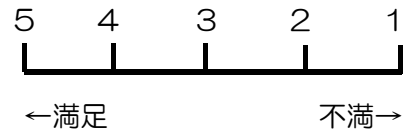
② **外国人観光客が憧れる・訪れる観光地づくり**

（多言語化やキャッシュレス決済等の受入体制整備、国際観光交流人口の増加、SNS などオンラインツールによる誘客など）



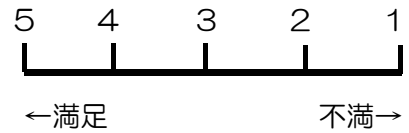
③ **スポーツによる交流促進を進める取組**

（大規模スポーツ大会・国際大会のキャンプ誘致やホストタウン交流の推進、障がい者スポーツや生涯スポーツ推進など）



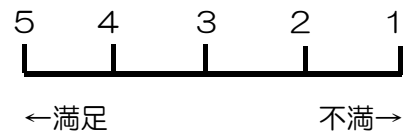
④ **農業の活力増進に関する取組**

（鳥取和牛や星空舞（注1）などの県開発種の導入促進、6次産業化（注2）など農業ビジネス創出、ICT（注3）を活用した機械化・省力化など）



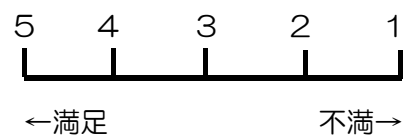
⑤ **農林水産・畜産業の若き担い手育成への取組**

（産地自らが行う後継者育成等への支援、高校でのより実践的な職業教育の推進など）



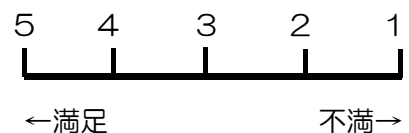
⑥ **地球規模での環境課題への対応**

（脱プラスチック（マイカップ・マイボトル運動等）、食品ロス削減、省エネ住宅の普及啓発促進、脱炭素社会の実現に向けた省エネ・再エネ推進など）



⑦ **海洋・森林等の環境保全と利活用の推進**

（森林体験・保全活動、野外保育・自然体験活動の取組推進、環境保全に関する条例制定など）



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

注1：星空舞（ほしぞらまい）は鳥取県が開発した米の新品種。

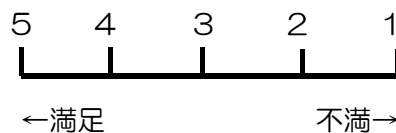
注2：農林漁業者自らが、生産から加工・製造、流通・販売までを主体的に取り組むことにより、新たな付加価値を生み出す取組のこと。

注3：ICT：「Information and Communication Technology」の略語で、「情報通信技術」のこと。

2 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む

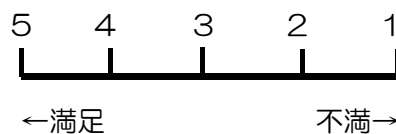
① 結婚・出産・子育ての希望を叶える取組

出会いの機会の充実、不妊治療や子育て世帯の経済的負担の軽減、保育所等の体制整備や放課後児童クラブ等の充実など



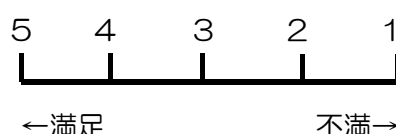
② 地域で子育て世代を支える取組

医療ケア児の受け入れ支援の充実、子どもの貧困対策の推進、不登校等の相談支援、男性の家事・育児参加の促進など



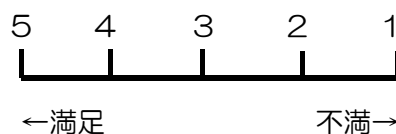
③ 未来を拓く人づくりの取組

グローバル化に対応した英語教育の推進、主体的に学習する児童生徒の育成、プログラミング的思考(注4)や情報活用能力の育成など



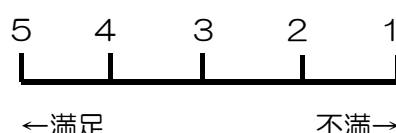
④ 地域を支える人財育成の取組

郷土愛を育むふるさとキャリア教育、地域の自然、歴史、文化等から学ぶ体験活動など



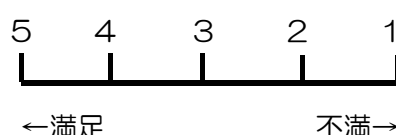
⑤ 女性・高齢者・障がい者など多様な主体が輝く地域づくりを進める取組

人権教育の推進、NPOや地域活動の推進、あいサポート運動(注5)の普及、障がい者の職場定着支援、外国人材の就労支援など



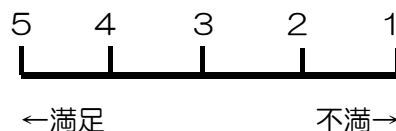
⑥ 絆を活かした中山間地域・まちなか振興に関する取組

地域運営組織づくりの支援、買い物支援や見守り活動等生活サービスの確保、共助交通(注6)など生活交通の再構築など



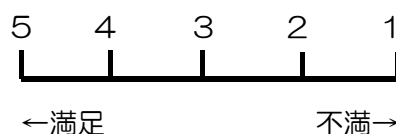
⑦ 健康寿命の延伸

健康マイレージ事業(注7)、がん検診受診率の向上、とっとり方式認知症予防プログラムの普及など



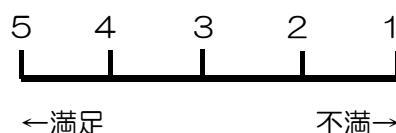
⑧ 感染症に強い地域づくり

新型コロナウイルス等の新たな感染症に対応できる医療提供体制の充実、医療機関や社会福祉施設等による感染症拡大防止・予防対策支援、県民への予防・啓発の推進など



⑨ 鳥取ならではの防災文化づくり

住民や地域が主体的に避難行動を起こす防災文化の定着、市町村と連携した避難体制の整備、鳥取らしい支え愛活動推進など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき(重要度が高い)と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

注4：自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく。

注5：県民が、多様な障がいの特性の理解に努め、障がいのある者に温かく接するとともに、障がいのある者が困っているときに「ちょっとした手助け」を行うことにより共生社会を目指す運動をいう。

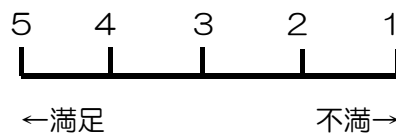
注6：路線バスがなくなるなどした地域で、住民の助け合いにより高齢者等の交通手段を確保する取組。

注7：指定の健康づくり関連事業(健康診断、健康づくり講演会、スポーツ教室など)に参加した場合にポイントを付与し、一定のポイントがたまったら、景品等を付与する制度。

3 幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ

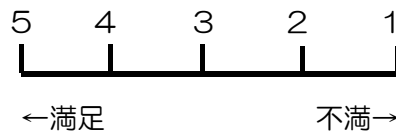
① **移り住みたい・住み続けたい・帰りたい鳥取県を創造していく取組**

地元企業と若者の交流促進、県内就職への支援、移住希望者等の都市部人材同士のネットワーク形成、各種メディアによる継続的な情報発信など



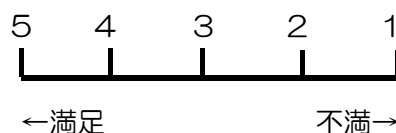
② **関係人口の拡大を進める取組**

企業等と連携した情報発信、ワーケーション(注8)等の推進による都市部在住者の受入促進、農村体験・農泊促進など



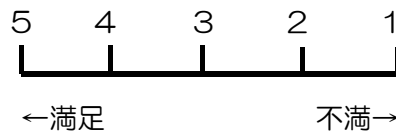
③ **次世代産業の成長による県経済の持続的発展と商圏拡大をめざす取組**

先端技術の開発・導入支援、新ビジネスの創出支援、オンラインによる販路拡大の推進、海外需要獲得推進など



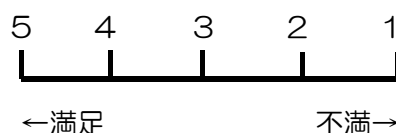
④ **戦略的な産業人材の育成・確保**

学術機関と連携した課題解決型教育推進、職業訓練の充実、様々な媒体を活用した県内企業情報発信、デジタル化など企業課題に応じた人材育成支援など



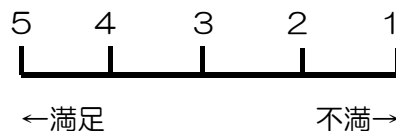
⑤ **自らの能力を発揮できる働き方の実現をめざす取組**

女性の就業・起業支援、イクボス・ファミボス(注9)の普及、副業・兼業・テレワーク(注10)促進支援、高齢者の就業支援など



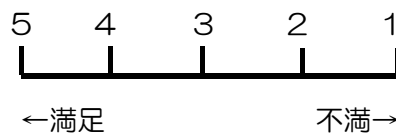
⑥ **暮らしやすく元気になるまちづくりを進める取組**

空き家の利活用、ひきこもり・DV(注11)（家庭内暴力）問題に関する啓発、市町村における犯罪被害者支援条例の制定促進、防犯・交通安全対策の推進など



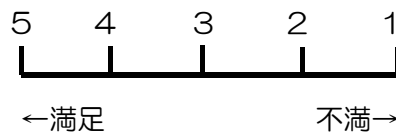
⑦ **アート・文化による地域づくりへの取組**

ICTを活用した文化芸術の場の提供、県立美術館による拠点づくり、まんが・伝統芸能等の文化資源や歴史・文化遺産の活用など



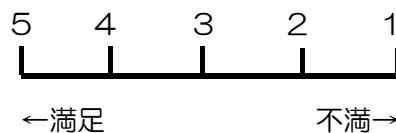
⑧ **強靱な防災基盤の構築に向けた取組**

ハザードマップ(注11)作成等による防災減災対策、原子力防災体制整備、新技術によるインフラ維持・人材の育成など



⑨ **持続可能なインフラ整備や行政運営をめざす取組**

超高速情報通信基盤整備の推進、空港・駅の利便性向上・賑わい創出、ICTを活用した自治体業務の効率化など



上記の施策等のうち、あなたが今後優先すべき（重要度が高い）と思うものを3つ選んで番号を記入ください。

【 】【 】【 】

注8：「ワーク（仕事）」と「バケーション（休暇）」から作られた造語。普段働いている職場を離れて、リゾート地などで休暇を取りながら遠隔勤務を行うこと。

注9：育児はもちろん、介護しながら働き続けられる職場環境づくりを実践する家族志向のリーダーのこと。

注10：情報通信技術を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のこと（在宅勤務、サテライトオフィス勤務等）。

注11：防災を目的に、災害に遭う地域を予測し表示した地図。災害危険予測地図。

4 男女共同参画社会づくり

【問7】男女に関する役割などについてお聞きします。次の項目（設問）についてどう思われますか。
1～8の設問ごとに表中の「選択」の中から1つ選んで○を記入してください。

設 問	選 択				
	そう 思う	どちらかと言 えばそう思う	どちらかと言え ばそう思わない	そう思 わない	わから ない
1 現実として家事が女性の役割となっていると思う					
2 現実として子育てが女性の役割となっていると思う					
3 現実として介護が女性の役割となっていると思う					
4 学校教育の場において男女差は無いと思う					
5 就職の機会に男女差は無いと思う					
6 就労環境、待遇に男女差は無いと思う					
7 社会的立場や地位は男女とも平等だと思う					
8 性別に関係なく個人が輝ける社会になっていると思う					

【問8】男性の家事、育児、介護への積極的な参画を促進するために、行政が行うべき施策は何だと思えますか。該当する数字に○をしてください。（○は3つまで）

- 1 男性の家事・育児・介護への参画を当たり前のことと捉える社会全体の機運の醸成
- 2 男性の家庭での活躍を促す、経営者・従業員に向けた職場における意識啓発
- 3 ワーク・ライフ・バランス(注1 2)を実現できる労働環境整備への支援
- 4 家族間での家事・育児の分担を見直すような普及啓発（研修会の開催、家事分担手帳の配布等）
- 5 男性が参加しやすい家事・育児・介護の手法研修（講習）会の開催
- 6 家事・育児・介護に積極的に参画している男性の事例、男性の家庭参画によるメリット等の発信
- 7 性別に関係なく家事・育児・介護に参画することについての若い世代や未婚者への普及啓発
- 8 その他（下記に具体的にお書きください）

（

【問9】男女共同参画社会を実現するために、行政が特に力を入れるべきことは何だと思えますか。該当する数字に○をしてください。（○は3つまで）

- 1 固定的性別役割分担意識(注1 3)の解消など男女共同参画の視点に立った教育や学習機会等の充実
- 2 男女共同参画に関する相談の場の拡充及び周知
- 3 性別によらない雇用や公正な待遇の確保、または働きやすい環境の整備を進める企業の取組支援
- 4 保育・介護の施設・サービスや子育て・介護支援の充実など、仕事との両立を可能とする環境の整備
- 5 長時間労働の縮減やテレワーク制度の普及など、働き方の見直しの啓発
- 6 子育てや介護等で離職した人の再就職支援
- 7 県の審議会委員や管理職など、政策決定の場への女性の積極的な登用
- 8 民間企業・団体などにおいて管理職への女性の登用が進むような取組支援、登用の事例やメリットの発信
- 9 女性に対する暴力を根絶するための取組推進
- 10 その他（下記に具体的にお書きください）

（

注1 2：ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）とは、だれもが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自分の希望するバランスで実現できる状態のこと。

注1 3：「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」というような性別に基づく固定的な役割分担意識のこと。

5 エスディージーズ SDGs (持続可能な開発目標) の推進

エスディージーズ エスディージーズ サステイナブル デベロップメント ゴールズ SDGsとは・・・「SDGs (Sustainable Development Goals) (持続可能な開発目標)」

2015年9月に国連で採択された、2030年に向けた世界共通の目標です。

SDGsは、「誰ひとり取り残さない」ことを理念に掲げており、貧困・飢餓・教育などの社会目標、気候変動・エネルギー・生物多様性などの環境目標、雇用・インフラ・生産消費など経済目標に加え、不平等・平和など全17のゴール(目標)と169のターゲットで構成されています。

日本政府では、SDGsのゴール及びターゲットを踏まえ、日本として特に注力すべきものを以下の問12及び問13に掲載している「8つの優先課題」として取組の柱に掲げています。

【問10】あなたは国連で採択されたSDGsという言葉・内容を聞いたことがありますか。該当する数字に○をしてください。

- 1 聞いたことがある 2 聞いたことがない (→問12へ)

【問11】(※問10で「聞いたことがある」と回答した方へ) SDGsという言葉・内容をどうやって知りましたか。該当する数字に○をしてください。 (○はいくつでも)

- 1 新聞・雑誌 2 テレビ 3 インターネット 4 仕事・学校で関わりがある
5 SNS 6 家族や友人・知人から聞いた
7 その他 ()

【問12】あなたはSDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心がありますか。該当する数字に○をしてください。 (○はいくつでも)

- 1 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現(注14)
2 健康・長寿の達成
3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション(注15)
4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
5 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
7 平和と安全・安心社会の実現
8 SDGs実施推進の体制と手段

【問13】あなたはSDGsの8つの優先課題のうち、「2030年の鳥取県」に向けて、行政が特に力を入れるべき課題は何だと思えますか。該当する数字に○をしてください。 (○はいくつでも)

- 1 あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現
2 健康・長寿の達成
3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション
4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
5 省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会
6 生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
7 平和と安全・安心社会の実現
8 SDGs実施推進の体制と手段

注14：ジェンダーとは、生まれつきの生物学的性別に対して、社会によって作り上げられた「男性像」「女性像」(男らしさ・女らしさ)のこと。

注15：既存の商品や仕組みなどに対して、新しい考え方や方法、技術を取り入れ、社会に大きな変革をもたらすこと。

Ⅲ 重点施策への関心・認識

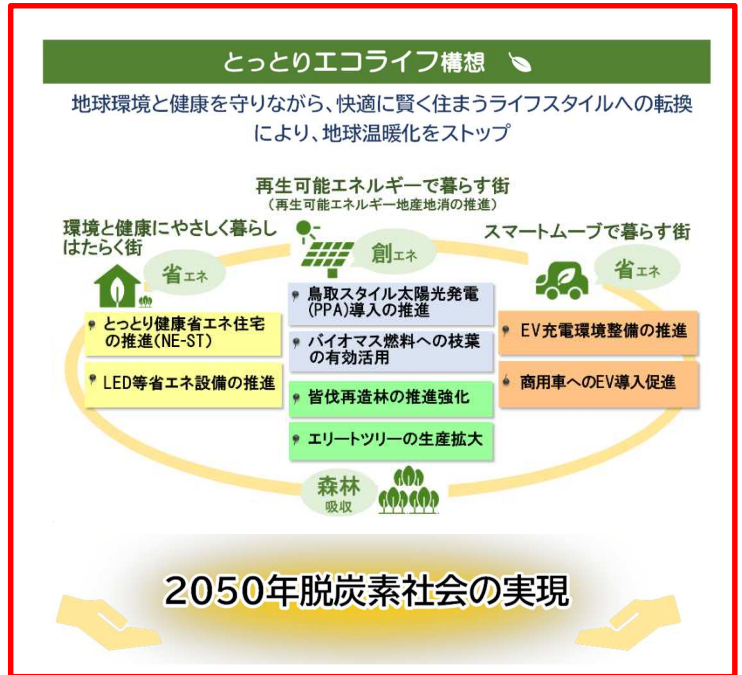
<脱炭素社会の推進について>

鳥取県は、2050年までに地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスを実質ゼロにする「カーボンニュートラル宣言」をし、脱炭素社会の実現を目指しています。

またそれに向けて「令和新時代とっとり環境イニシアティブプラン」を改訂し、2030年度に温室効果ガスを60%削減（2013年度比）する目標を設定しました。

こうした高い目標を達成するため、地球環境と健康を守りながら、快適に賢く住まうライフスタイルへの転換を図る「とっとりエコライフ構想」（図1）として取りまとめ、県民の皆様に分かりやすく普及啓発を図ることとしています。

（図1：とっとりエコライフ構想）



【問14】「脱炭素社会」を目指す取組は、あなたの生活を豊かにすると思いますか。

（〇は1つ）

- 1 そう思う
- 2 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりそう思わない
- 5 そう思わない
- 6 わからない

【問15】「とっとりエコライフ構想」を進めていくうえで、あなたが特に重要と考える施策はどれですか。

（〇はいくつでも）

- 1 住宅への太陽光発電などの再生可能エネルギー導入
- 2 企業等による大規模な太陽光発電などの再生可能エネルギー導入
- 3 住宅の省エネルギー化（とっとり健康省エネ住宅（NE-ST）※2. 9ページ参照）
- 4 企業等の省エネルギー化（LED照明、断熱）
- 5 エコカー（電気自動車（EV）、プラグインハイブリッドなど）の普及促進
- 6 電気自動車の充電器の設置の拡充
- 7 森林の保全管理

【問18】とっとり健康省エネ住宅（NE-ST（ネスト）※2）についての認知度及び関心度について、
該当する数字に○をしてください。（○は1つだけ）

<とっとり健康省エネ住宅（NE-ST）の認知度>

- 1 だいたいの内容を知っていた
- 2 聞いたことがあるが、内容は知らない
- 3 聞いたことがない

<とっとり健康省エネ住宅（NE-ST）についての関心度>

- 1 かなり関心がある
- 2 少し関心がある
- 3 普通（どちらともいえない）
- 4 あまり関心がない
- 5 全く関心がない

※2 ～とっとり健康省エネ住宅(NE-ST(ネスト))とは～

国の基準を大幅に上回る鳥取県独自の住宅性能基準で、高断熱、高气密の家を実現することで光熱費を抑えることができるため、長期的(5～35年程度)に見れば工事費を含めても経済的であるほか、室温差が少ないことから冬季のヒートショックが起きにくく健康的に暮らせる基準です。

鳥取県では、経済的にかつ快適に生活できるT-G2レベルの家づくりを推奨しています。

	国の省エネ基準	ZEH	とっとり健康省エネ住宅性能基準「NE-STな家」		
			T-G1	T-G2	T-G3
備考	次世代基準 (H11年)	2020年標準 政府推進	冷暖房費を抑えるために必要な 最低限のレベル	経済的で快適に生活できる 推奨レベル	優れた快適性を有する 最高レベル
断熱性能 UA値*1	0.87	0.60	0.48	0.34	0.23
気密性能 C値*2	-	-	1.0	1.0	1.0
冷暖房費削減率	0%	約10%削減	約30%削減	約50%削減	約70%削減
世界の省エネ基準 (UA値)との比較					

*1_UA値：建物外表面から外部に逃げる熱量を示す指標。値が小さいほど熱が逃げにくく、断熱性、省エネ性が高い。

*2_C値：建物の床面積当たりの隙間面積を示す指標。値が小さいほど気密性が高い。

Ⅳ 回答者の情報

あなたの年代や性別などをお答えください。該当する項目に○印をお願いします。
なお、この情報はアンケート集計以外には利用いたしません。

【問19】年代

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|--------|
| 1 | 18～19歳 | 2 | 20～29歳 | 3 | 30～39歳 | 4 | 40～49歳 |
| 5 | 50～59歳 | 6 | 60～69歳 | 7 | 70歳以上 | | |

【問20】性別

- 1 男性 2 女性 3 その他・回答したくない

【問21】お住まいの住所

- | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|-----|----|-----|----|------|----|------|
| 1 | 鳥取市 | 2 | 米子市 | 3 | 倉吉市 | 4 | 境港市 | 5 | 岩美町 |
| 6 | 八頭町 | 7 | 若桜町 | 8 | 智頭町 | 9 | 湯梨浜町 | 10 | 三朝町 |
| 11 | 北栄町 | 12 | 琴浦町 | 13 | 南部町 | 14 | 伯耆町 | 15 | 日吉津村 |
| 16 | 大山町 | 17 | 日南町 | 18 | 日野町 | 19 | 江府町 | | |

【問22】職業

- | | | | | | |
|---|------------|---|--------------|---|-----------|
| 1 | 会社員（含 公務員） | 2 | 自営業（含 家族従業者） | 3 | パート・アルバイト |
| 4 | 学 生 | 5 | 専業主婦・主夫 | 6 | 無職 |

Ⅴ 自由記載欄

ご意見・ご要望があれば自由にお聞かせください。

以上で質問は終わりです。ご協力誠にありがとうございました

◆記入もれがないか再度ご確認ください、同封の返信用封筒に入れて郵便ポストに投函（切手不要）してください。なお、本調査の結果は10月中旬頃に「とりネットホームページ」に掲載予定です。

◆既にパソコン・スマートフォンによりインターネット回答をされた方は、この調査票へのご記入や郵便ポストへの投函は不要です。

この調査票を使用されず、インターネット回答をされる方は、裏面の案内をご覧ください。

インターネット回答のご案内

このページは、パソコン、スマートフォンでインターネット回答をされる方へのご案内を掲載しています。

調査票にご記入いただき郵便ポストに投函される方は、
インターネット回答は不要です。

<インターネット回答の手順>

インターネット回答ページは、鳥取県版電子申請システム(とっとり電子申請サービス)に設けています。
7月20日(水)までに回答していただきますようお願いいたします。

(1) インターネットで回答される方は、次のいずれかの方法でインターネット回答ページにアクセスしてください。

①直接、次の URL を入力してアクセスする。

https://s-kantan.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=5752

②右のQRコードを読み込んでアクセスする。



(2) 回答ページ(はじめに)の「調査票番号」入力欄に、以下の**6けたの数字**を入力してください。
※ご回答いただいた方に再度回答依頼を送付しないための入力欄で、個人の回答内容と結びつけることはありません。

(3) 設問に沿って回答してください。

(4) 回答を途中で保存したい場合は、画面の一番下の「申込データの一時保存」ボタンをクリックして、データを一時保存してください。

(5) 回答が完了したら、「確認へ進む」ボタンをクリックし、内容を確認後に、「申込む」ボタンをクリックしてください。以上で回答の手続きは終了です。

～ご協力いただき誠にありがとうございました～

性別	1-問1. 鳥取県に対して愛着や誇りを感ずるか				1-問2. 今暮らしている地域の住みやすさ							
	感じている	少し感ずる	普通	あまり感ずらない	感じていない	無回答	感ずる	普通	どちらかといふと住みやすい	どちらかといふと住みにくい	無回答	
全体(1760)	47.1	24.7	22.0	3.8	1.9	0.6	19.0	44.5	28.9	6.6	2.3	0.7
男性(736)	46.2	26.2	20.5	4.9	1.9	0.3	20.5	44.4	26.8	5.6	2.2	0.5
女性(944)	48.8	23.5	22.4	3.0	1.7	0.6	19.0	45.9	26.2	7.3	2.0	0.6
その他(35)	22.9	37.1	25.7	5.7	8.6	-	5.7	22.9	42.9	14.3	14.3	-
無回答(45)	44.4	15.6	35.6	-	-	4.4	26.7	33.3	31.1	2.2	-	6.7
18~19歳(50)	52.0	28.0	16.0	2.0	2.0	2.0	24.0	48.0	20.0	5.0	2.0	-
20~29歳(180)	45.0	18.3	28.3	3.9	4.4	1.3	18.3	38.3	32.2	7.8	3.3	-
30~39歳(241)	41.1	28.2	24.9	3.7	2.1	2.1	20.3	46.5	24.1	5.0	4.1	-
40~49歳(300)	44.3	23.2	23.9	6.4	1.8	0.4	19.9	42.5	28.9	7.3	1.8	0.4
50~59歳(308)	44.9	27.3	22.7	3.2	1.9	1.9	17.9	45.8	24.7	8.6	2.6	0.3
60~69歳(148)	57.7	24.6	16.8	3.8	1.3	1.3	16.3	45.3	25.8	6.3	1.6	0.8
70歳以上(227)	45.2	24.4	18.1	1.8	1.3	0.4	19.4	46.3	26.8	4.8	0.9	0.9
無回答(26)	45.3	24.1	22.1	3.8	3.8	7.7	25.1	43.3	10.5	5.3	3.8	7.7
18~19歳(18)	45.4	13.0	27.3	6.5	3.9	-	23.4	36.4	24.7	10.4	5.2	-
20~29歳(77)	40.6	33.3	19.8	3.1	3.1	40.2	33.3	43.8	24.0	1.0	5.2	-
30~39歳(96)	40.4	26.6	24.4	2.8	1.7	0.8	18.5	44.5	26.6	6.7	0.6	0.8
40~49歳(119)	43.7	24.4	21.8	7.6	1.7	3.4	18.6	44.9	26.3	7.6	2.5	-
50~59歳(118)	36.1	29.7	23.7	5.1	3.4	0.5	20.0	44.0	28.0	5.0	1.5	1.5
60~69歳(200)	52.0	24.0	17.5	5.5	0.5	0.5	20.0	44.0	28.0	5.0	1.5	1.5
70歳以上(106)	50.9	28.3	17.9	1.9	0.9	-	18.9	47.2	30.2	3.8	-	-
18~19歳(30)	60.0	16.7	16.7	3.3	3.3	-	26.7	40.0	26.7	3.3	3.3	-
20~29歳(97)	43.3	22.7	28.9	1.0	4.1	-	15.5	40.2	37.1	5.2	2.1	-
30~39歳(131)	44.4	23.6	23.6	6.3	2.1	1.8	16.8	51.1	21.4	7.6	3.1	-
40~49歳(144)	44.4	23.6	23.6	6.3	2.1	1.8	16.8	51.1	21.4	7.6	3.1	-
50~59歳(190)	48.9	25.8	22.1	2.1	1.1	1.7	17.4	46.3	23.7	9.5	2.6	0.5
60~69歳(237)	50.2	24.5	19.8	2.5	0.8	2.1	17.7	47.7	24.9	6.8	1.3	1.7
70歳以上(115)	57.4	21.7	17.4	0.9	1.7	0.9	20.0	47.0	26.1	6.1	-	0.9
18~19歳(1)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
20~29歳(6)	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	-	33.3	50.0	16.7	-	-	-
30~39歳(10)	10.0	60.0	30.0	-	-	10.0	20.0	50.0	50.0	10.0	10.0	-
40~49歳(7)	28.6	28.6	42.9	-	-	-	42.9	42.9	14.3	-	-	-
50~59歳(0)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60~69歳(8)	37.5	37.5	12.5	-	12.5	-	12.5	50.0	12.5	12.5	12.5	-
70歳以上(2)	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	100.0	-	-
無回答(47)	42.6	17.0	34.0	-	2.1	4.3	25.5	34.0	29.8	2.1	3.1	6.4
東部(32)	43.4	26.6	23.0	4.5	1.8	0.7	14.1	46.7	26.2	9.0	3.1	0.8
中部(307)	47.6	22.8	25.4	2.3	1.6	0.3	21.2	39.7	32.9	3.6	2.0	0.7
西部(81)	51.2	23.4	19.2	3.8	2.2	0.1	23.3	44.6	24.5	5.6	1.6	0.4
無回答(30)	36.7	26.7	26.7	-	10.0	-	20.0	36.7	36.7	-	-	6.7

性別	1-問3. 鳥取県内の暮らしについて①豊かか自然環境(親戚)が優れている				1-問3. 鳥取県内の暮らしについて②住んでいる住人のつながりがある				1-問3. 鳥取県内の暮らしについて③地域の人とのつながりがある				1-問3. 鳥取県内の暮らしについて④生活するに余裕が整っている				
	そう思う	どちらかといふと感ずる	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかといふと感ずる	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかといふと感ずる	そう思わない	無回答	そう思う	どちらかといふと感ずる	そう思わない	無回答	
全体(1760)	30.9	7.7	1.0	0.4	54.4	5.0	0.5	49.6	41.0	8.5	0.9	9.9	28.4	58.9	16.6	0.9	
男性(736)	89.5	9.6	0.7	0.1	52.7	42.0	5.2	51.9	39.5	8.2	0.4	8.3	29.3	62.2	0.1	22.3	
女性(944)	32.6	6.0	1.0	0.4	56.1	38.7	4.7	49.3	41.6	7.9	1.2	10.9	30.2	59.1	18.2	0.4	
その他(35)	85.7	5.7	0.6	-	26.6	50.0	11.4	22.9	45.7	31.4	-	22.9	82.9	48.6	25.7	2.9	
無回答(45)	38.0	13.3	2.2	4.4	76.0	20.0	0.3	56.0	28.0	8.3	4.4	14.0	56.0	50.0	8.3	4.4	
18~19歳(50)	36.1	19.3	0.6	-	48.3	44.4	6.7	46.1	42.2	11.2	0.6	6.1	20.8	65.0	16.7	0.6	
20~29歳(180)	33.8	5.0	1.2	-	54.4	37.8	7.9	48.5	40.2	11.2	0.6	6.6	26.6	66.3	23.2	24.5	
30~39歳(241)	32.9	6.8	-	0.4	50.0	43.6	6.4	48.6	41.4	10.0	0.3	9.3	21.8	68.2	0.7	25.4	
40~49歳(300)	34.5	5.2	0.3	-	55.8	38.3	5.9	48.7	43.8	7.1	0.3	6.8	26.3	66.9	0.3	20.5	
50~59歳(308)	30.6	8.0	0.9	0.4	56.3	41.1	2.0	50.0	42.2	6.3	1.2	12.1	32.4	54.9	0.7	24.1	
60~69歳(148)	85.0	11.5	2.6	0.9	51.5	43.2	4.4	52.9	35.7	9.3	2.2	15.4	44.5	38.8	1.3	25.1	
70歳以上(227)	73.1	11.5	7.7	7.7	73.1	15.4	3.8	73.1	50.0	17.7	7.7	19.2	34.6	50.0	7.7	26.9	
無回答(26)	100.0	-	-	-	84.2	15.8	-	-	73.7	26.3	-	26.3	36.8	36.8	-	36.8	
18~19歳(17)	80.5	19.5	-	-	48.1	44.2	7.8	48.1	40.3	11.7	-	6.5	23.4	70.1	-	19.8	
20~29歳(77)	94.8	3.1	2.1	-	57.3	34.4	8.3	57.3	30.2	12.5	-	7.3	24.0	68.8	-	19.8	
30~39歳(96)	89.1	10.9	0.5	-	45.7	47.9	8.4	47.9	40.3	11.8	-	7.6	21.8	70.8	-	24.4	
40~49歳(119)	87.2	9.9	0.2	-	46.2	45.4	8.3	46.2	45.4	8.3	-	6.2	26.6	68.6	-	19.5	
50~59歳(118)	89.6	8.5	0.2	-	52.8	48.2	1.0	52.8	34.9	6.6	0.5	12.3	48.3	41.3	-	24.5	
60~69歳(200)	93.6	8.5	0.9	0.9	52.8	48.2	3.3	52.8	34.9	6.6	0.5	12.3	48.3	41.3	-	24.5	
70歳以上(106)	96.7	7.6	3.3	3.3	66.7	20.0	3.3	66.7	30.0	3.3	-	3.3	26.7	70.0	-	33.3	
18~19歳(30)	90.7	8.2	1.0	-	48.5	44.3	6.2	46.4	41.2	11.3	1.0	6.2	23.7	69.1	1.0	11.3	
20~29歳(97)	92.4	6.9	0.8	-	55.0	38.9	6.1	44.3	47.3	8.4	-	6.1	29.0	64.9	-	26.0	
30~39歳(131)	95.8	3.5	0.5	-	56.9	37.5	5.6	49.3	41.7	9.0	-	9.0	22.9	66.7	1.4	23.6	
40~49歳(144)	95.3	4.7	-	0.7	57.9	38.9	3.2	48.4	44.7	6.3	0.5	9.5	24.7	65.8	-	21.1	
50~59歳(190)	93.2	5.1	0.8	0.8	57.8	38.4	2.5	51.1	39.2	7.2	2.5	14.8	35.4	48.5	1.3	28.3	
60~69歳(237)	83.5	12.2	3.5	0.9	51.3	40.0	7.8	50.4	38.3	8.7	2.6	19.3	45.2	34.8	1.7	26.1	
70歳以上(115)	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	100.0	
18~19歳(1)	83.3	16.7	-	-	50.0	50.0	-	16.7	83.3	-	-	16.7	83.3	-	-	16.7	
20~29歳(6)	100.0	-	70.0	10.0	-	-	10.0	20.0	40.0	40.0	-	10.0	20.0	70.0	-	20.0	
30~39歳(10)	100.0	-	-	-	-	-	-	42.9	57.1	-	-	-	14.3	85.7	-	42.9	
40~49歳(7)	87.5	-	-	-	50.0	12.5	-	25.0	37.5	37.5	-	-	100.0	-	-	12.5	
50~59歳(8)	87.5	-	-	-	50.0	50.0	-	-	100.0	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	
60~69歳(2)	78.7	12.8	4.3	4.3	63.8	25.5	6.4	40.4	44.7	10.6	4.3	21.3	27.7	46.8	4.3	29.8	
70歳以上(2)	88.9	9.8	0.7	0.5	47.8	48.6	5.7	44.3	44.7	9.8	1.2	9.7	29.3	61.2	0.8	23.8	
東部(32)	92.8	5.5	1.6	-	57.7	38.2	5.9	0.3	58.3	33.2	7.2	1.3	9.8	27.7	61.9	0.7	25.1
中部(307)	92.5	6.4	1.0	0.1	58.9	37.0	4.1	-	52.0	39.9	8.0	0.1	10.0	31.1	58.8	0.1	22.7
西部(81)	80.0	10.0	3.3	6.7	76.7	16.7	-	6.7	36.7	53.3	6.7	6.7	33.3	43.3	6.7	23.3	
無回答(30)	87.5	-	-	-	50.0	50.0	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	100.0	
18~19歳(1)	87.5	-	-	-	50.0	12.5	-	25.0	37.5	37.5	-	-	100.0	-	-	12.5	
20~29歳(6)	87.5	-	-	-	50.0	50.0	-	-	100.0	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	
30~39歳(9)	87.5	-	-	-	50.0	50.0	-	-	100.0	-	-	-	50.0	50.0	-	50.0	

性別	年代別	①-③ 鳥取県内の暮らしについて⑥地域の治安が良れている				①-③ 鳥取県内の暮らしについて⑦子育て支援が充実している				①-③ 鳥取県内の暮らしについて⑧医療や介護の環境が充実している				①-③ 鳥取県内の暮らしについて⑨子どもの教育に関する生活について				①-③ 鳥取県内の暮らしについて⑩ストレスなく暮らしている			
		そう思う	どちらともいえない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	無回答	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	無回答
男性(760)		65.3	29.7	4.2	0.8	31.9	55.5	11.3	1.3	33.2	52.4	13.3	1.1	24.3	59.4	15.1	33.9	49.0	16.4	0.7	
女性(726)		68.6	26.8	4.2	0.4	30.0	58.4	13.0	0.5	33.6	52.6	13.3	0.5	23.6	59.6	16.3	30.4	47.3	17.0	0.3	
その他(944)		63.2	31.9	4.0	0.8	33.6	54.8	10.0	1.7	33.1	51.9	13.8	1.3	24.8	59.1	14.5	33.2	50.8	15.3	0.7	
18～19歳(50)		62.2	31.1	4.2	6.7	42.2	44.4	8.9	4.4	44.4	48.9	2.2	4.4	42.2	48.9	4.4	4.4	44.4	11.1	4.4	
20～29歳(180)		62.2	29.4	7.8	0.6	32.2	54.4	12.8	0.6	28.7	59.4	13.3	0.6	29.4	51.1	18.9	36.1	40.0	23.3	0.6	
30～39歳(241)		68.0	26.6	5.0	0.4	32.0	51.5	16.2	0.4	32.0	51.5	16.2	0.4	19.1	59.8	20.7	32.4	45.2	22.0	0.4	
40～49歳(280)		62.9	33.6	3.6	3.6	36.1	50.0	13.9	3.6	30.7	50.0	19.3	-	26.4	56.4	17.1	32.9	48.6	18.6	-	
50～59歳(308)		67.5	28.9	3.8	3.8	40.3	51.6	7.5	0.6	33.4	53.2	13.3	-	23.7	61.0	14.6	30.5	47.4	22.1	-	
60～69歳(448)		66.3	29.2	3.1	1.3	25.2	63.2	9.6	2.0	33.5	54.2	10.5	1.8	21.7	64.1	12.7	1.6	34.2	55.8	9.4	0.7
70歳以上(277)		58.6	34.8	4.8	1.8	22.5	65.6	8.8	3.1	34.4	50.7	12.3	2.8	21.1	65.2	10.6	3.1	36.6	51.5	10.1	1.8
無回答(26)		61.5	28.9	3.8	7.7	38.5	38.5	11.5	11.5	48.2	38.5	3.8	-	38.5	48.2	11.5	38.5	48.2	11.5	11.5	
18～19歳(19)		94.7	5.3	0.0	0.0	42.1	57.9	42.1	0.0	57.9	42.1	0.0	-	42.1	57.9	0.0	57.9	42.1	0.0	0.0	
20～29歳(77)		66.2	27.3	6.5	6.5	28.9	54.5	15.6	6.5	32.5	53.2	14.3	-	26.0	54.5	19.5	37.7	27.3	6.5	6.5	
30～39歳(96)		74.0	19.8	6.3	6.3	33.3	47.9	18.8	6.3	30.2	55.2	14.6	-	24.0	57.3	18.8	38.5	42.7	20.8	6.3	
40～49歳(119)		57.2	26.9	5.9	5.9	31.9	59.4	17.6	5.9	29.4	47.1	23.5	-	26.9	55.8	19.3	31.9	47.1	21.0	5.9	
50～59歳(118)		70.3	27.1	4.9	4.9	45.2	47.9	9.3	4.9	33.1	56.6	10.2	-	22.0	53.3	16.6	31.4	43.2	23.4	4.9	
60～69歳(200)		67.5	27.3	4.9	0.5	23.0	60.3	11.5	1.0	38.9	54.0	10.5	1.0	21.5	67.0	14.0	37.5	57.0	8.5	0.5	
70歳以上(106)		53.2	33.0	9.9	1.9	33.0	39.7	10.4	1.9	33.0	39.7	10.4	-	20.8	45.2	13.7	24.9	43.7	6.4	1.9	
18～19歳(30)		59.3	30.3	8.2	1.0	35.1	52.6	11.2	1.0	33.0	47.4	13.0	-	25.7	58.3	16.0	35.2	45.3	17.5	1.0	
20～29歳(91)		64.9	30.5	4.8	0.8	32.1	48.8	11.4	0.8	33.6	48.9	16.8	0.8	16.8	58.8	23.7	30.8	46.6	22.9	0.8	
30～39歳(144)		59.7	38.2	2.1	2.1	38.4	54.2	6.3	1.1	33.7	51.1	15.3	-	24.7	62.1	12.1	1.1	30.0	50.0	2.0	
40～49歳(180)		65.6	30.0	4.2	4.2	35.4	51.1	7.6	3.0	33.3	53.6	10.5	2.5	22.4	64.1	11.0	2.5	31.6	57.8	9.3	1.3
50～59歳(237)		65.4	30.8	1.7	2.1	28.3	61.2	7.0	4.3	33.9	49.6	13.0	3.5	20.9	64.3	10.4	4.3	37.4	50.4	1.7	
60～69歳(115)		54.8	36.5	7.8	0.9	23.5	66.2	7.0	4.3	33.9	49.6	13.0	-	100.0	-	-	33.3	66.7	16.7	-	
70歳以上(2)		100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-	
18～19歳(6)		50.0	33.3	16.7	-	16.7	83.3	-	-	16.7	83.3	-	-	16.7	83.3	-	16.7	83.3	-	-	
20～29歳(10)		60.0	30.0	10.0	-	30.0	60.0	10.0	-	30.0	60.0	10.0	-	30.0	60.0	10.0	20.0	60.0	20.0	-	
30～39歳(10)		60.0	30.0	10.0	-	30.0	60.0	10.0	-	30.0	60.0	10.0	-	30.0	60.0	10.0	20.0	60.0	20.0	-	
40～49歳(7)		57.1	42.9	-	-	14.3	71.4	14.3	-	14.3	85.7	-	-	85.7	14.3	-	14.3	28.6	57.1	-	
50～59歳(0)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
60～69歳(8)		62.5	25.0	12.5	-	75.0	25.0	-	-	25.0	62.5	12.5	-	62.5	25.0	-	25.0	50.0	25.0	-	
70歳以上(2)		50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	-	50.0	50.0	-	-	
無回答(47)		59.6	31.9	2.1	6.4	40.4	44.7	8.5	6.4	42.6	48.9	2.1	6.4	40.4	48.9	4.3	6.4	38.3	44.7	10.6	6.4
東部(722)		61.9	32.8	4.4	1.0	31.6	55.9	10.7	1.9	28.8	55.1	15.2	1.0	21.9	59.7	16.9	1.6	30.6	52.0	16.4	1.0
中部(307)		69.7	26.1	3.6	0.7	36.5	53.1	11.1	1.3	31.3	52.1	15.0	1.6	25.7	55.7	16.9	1.5	31.6	50.5	17.3	0.7
西部(691)		67.1	28.1	4.3	0.4	31.1	58.3	12.2	0.4	38.2	50.1	11.0	0.7	25.9	60.8	12.9	0.4	38.5	45.2	16.2	0.1
無回答(30)		63.3	26.7	3.3	6.7	33.3	50.0	10.0	6.7	43.3	46.7	3.3	6.7	33.3	56.7	3.3	6.7	33.3	50.0	6.7	

性別	年代別	①-③ 鳥取県内の暮らしについて⑥地域の治安が良れている				①-③ 鳥取県内の暮らしについて⑦子育て支援が充実している				①-③ 鳥取県内の暮らしについて⑧医療や介護の環境が充実している				①-③ 鳥取県内の暮らしについて⑨子どもの教育に関する生活について				①-③ 鳥取県内の暮らしについて⑩ストレスなく暮らしている					
		0「とても不幸」	1	2	3	4	5「普通」	6	7	8	9	10「とても幸せ」	無回答	自己の健康 自由な時間 仕事・学 校の充実 度	精神的なゆ たがいがい	家族関係	友人関係	隣隣 関係	地域コミュ ニティとの 関係	自然環境 (住みやす 袋)	その他	無回答	
全体(700)		0.7	0.2	1.0	2.7	5.9	28.1	11.1	19.1	31.2	69.2	0.9	0.9	46.1	30.7	53.0	59.0	36.5	15.5	47.6	1.4	0.3	
男性(640)		0.5	0.3	1.2	3.4	5.6	28.7	12.4	18.1	19.4	5.3	4.6	6.7	24.9	34.8	52.7	33.8	52.5	30.9	17.7	43.5	1.2	0.1
女性(640)		0.6	0.2	1.0	5.0	27.6	10.3	20.0	19.8	5.6	7.2	0.8	71.4	28.9	70.7	47.4	30.2	62.3	33.6	14.7	50.5	1.4	0.1
18～19歳(55)		8.6	11.4	25.7	8.6	22.9	8.6	22.9	8.6	22.9	8.6	22.9	8.6	22.9	8.6	22.9	8.6	22.9	8.6	22.9	8.6	22.9	8.6
18～19歳(50)		-	-	-	-	4.4	4.4	28.9	11.1	15.6	17.8	2.2	11.1	4.4	62.2	34.3	51.4	48.7	28.6	11.4	57.1	2.9	6.9
20～29歳(80)		-	-	-	-	2.0	2.0	14.0	18.0	20.0	16.0	10.0	16.0	2.0	42.0	28.0	54.0	62.0	60.0	40.0	22.0	40.0	74.0
30～39歳(240)		2.2	0.4	0.4	1.2	7.5	24.9	10.8	21.2	19.1	6.2	5.9	1.2	73.9	45.2	61.8	63.5	41.1	63.9	38.8	66.0	41.5	42.3
40～49歳(241)		0.7	0.4	0.4	0.4	2.2	3.3	31.9	10.0	22.5	20.3	3.3	4.5	0.9	73.0	24.8	77.7	34.2	23.0	55.4	32.1	62.9	
50～59歳(308)		0.4	0.4	0.4	2.2	5.7	39.6	12.3	15.0	14.1	5.3	4.4	0.4	63.4	8.8	76.7	35.2	10.6	47.1	35.2	45.4	30.4	
60～69歳(448)		0.4	0.4	0.4	2.2	5.7	39.6	12.3	15.0	14.1	5.3	4.4	0.4	63.4	8.8	76.7	35.2	10.6	47.1	35.2	45.4	30.4	
70歳以上(277)		-	-	-	-	3.8	30.8	11.5	11.5	19.2	2.2	11.5	11.5	65.4	23.1	65.4	34.6	19.2	46.2	30.8	26.9	15.4	
18～19歳(19)		-	-	-	-	5.3	24.1	21.1	42.1	15.8	0.5	5.3	0.5	42.1	15.8	63.2	63.2	47.4	63.2	36.3	78.9	41.1	
20～29歳(77)		-	-	-	-	4.9	20.3	19.5	19.8	26.0	6.3	7.2	1.0	78.1	64.9	56.3	64.6	51.0	65.4	49.0	37.8	47.8	
30～39歳(96)		-	-	-	-	4.3	20.3	19.5	19.8	26.0	6.3	7.2	1.0	78.1	64.9	56.3	64.6	51.0	65.4	49.0	37.8	47.8	
40～49歳(119)		-	-	-	-	2.5	5.0	8.4	22.7	11.8	20.2	19.3	5.9	4.2	7.3	31.9	53.8	51.3	34.5	57.1	40.3	65.3	
50～59歳(144)		-	-	-	-	0.8	2.5	4.2	4.2	11.0	18.6	22.0	8.5	4.2	0.8	67.3	38.1	56.8	40.7	36.1	48.6	30.3	
60～69歳(180)		-	-	-	-	0.5	2.0	4.0	37.5	12.0	18.0	17.5	3.0	4.5	1.0	68.5	34.5	58.0	32.0	25.5	48.5	59.0	
70歳以上(200)		-	-	-	-	3.8	4.7	-	-	12.3	15.1	3.8	2.2	77.4	33.0	9.4	44.1	33.0					

II-問11. SDGsをどうやって知ったか (〇いくつまで)

性別	II-問10. SDGsをどうやって知ったか (〇いくつまで)		新聞・雑誌	テレビ	インターネット	仕事・学校で聞いたりする	SNS	家族や友人・知人と聞いた	その他	無回答
	聞いたことがある	聞いたことがない								
全体(1760)	86.4	13.0	49.0	77.8	33.2	23.6	10.7	7.7	2.5	2.1
男性(736)	86.1	13.5	0.4	73.5	37.5	26.3	8.4	6.5	2.3	2.1
女性(944)	87.7	12.1	0.2	81.4	30.1	22.1	12.1	8.8	3.5	2.2
その他(35)	80.0	17.1	2.9	32.1	71.4	48.4	14.3	17.9	3.6	7.1
18～19歳(50)	86.9	22.2	8.9	58.1	74.2	16.1	16.1	12.9	6.5	3.2
20～29歳(180)	90.1	10.0	-	26.7	57.8	40.0	71.1	20.0	4.4	4.4
30～39歳(241)	86.1	13.9	-	28.5	74.8	45.8	30.3	26.5	7.1	1.3
40～49歳(180)	88.4	11.6	-	34.7	78.9	47.9	24.4	18.3	7.5	1.9
50～59歳(200)	90.0	10.0	-	47.6	74.2	38.5	36.1	10.7	12.3	5.2
60～69歳(308)	91.9	7.5	0.6	43.1	77.0	32.2	26.5	7.8	7.8	3.9
70歳以上(448)	85.0	14.7	0.2	61.4	82.2	25.7	14.4	4.5	6.8	3.4
無回答(227)	77.1	21.6	1.3	74.3	81.1	14.9	2.9	2.9	5.1	1.1
18～19歳(19)	65.4	19.2	15.4	70.6	76.5	11.8	11.8	-	-	-
20～29歳(17)	94.7	5.3	-	5.6	44.4	38.9	66.7	5.6	-	-
30～39歳(77)	85.7	14.3	-	31.8	71.2	48.5	30.3	21.2	9.1	1.5
40～49歳(96)	86.5	13.5	-	41.0	68.7	56.6	28.9	13.3	6.0	1.2
50～59歳(119)	88.2	11.8	-	53.3	72.4	41.9	34.3	8.6	8.6	6.7
60～69歳(118)	91.5	7.6	0.5	42.6	74.1	31.5	34.3	8.3	6.5	2.8
70歳以上(106)	83.5	16.0	0.8	61.1	77.2	35.9	21.0	3.6	6.0	2.4
18～19歳(30)	81.1	17.9	0.9	73.3	80.2	16.3	3.5	3.5	3.5	1.2
20～29歳(97)	90.0	10.0	-	40.7	66.7	40.7	74.1	29.6	3.7	7.4
30～39歳(131)	86.6	13.4	-	23.8	77.4	45.2	32.1	31.0	6.0	2.4
40～49歳(144)	88.5	11.5	-	31.9	87.9	44.0	22.4	23.3	8.6	1.7
50～59歳(190)	92.4	7.6	-	43.6	76.7	35.3	38.3	11.3	15.8	3.8
60～69歳(237)	87.3	12.7	-	43.4	78.9	32.6	21.7	7.4	8.6	1.1
70歳以上(115)	74.8	24.3	0.9	61.8	86.5	16.4	9.7	4.8	7.2	2.9
18～19歳(1)	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳(6)	83.3	16.7	-	80.0	20.0	20.0	100.0	-	-	-
30～39歳(10)	100.0	-	-	20.0	70.0	40.0	40.0	20.0	-	10.0
40～49歳(7)	85.7	14.3	-	33.3	66.7	50.0	33.3	16.7	-	16.7
50～59歳(8)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60～69歳(6)	75.0	25.0	-	66.7	66.7	66.7	-	16.7	-	-
70歳以上(2)	50.0	50.0	-	100.0	100.0	100.0	-	-	100.0	-
無回答(32)	66.1	21.3	10.6	無回答(32)	無回答(32)	無回答(32)	無回答(32)	無回答(32)	無回答(32)	無回答(32)
東部(732)	84.8	14.8	0.4	59.4	71.9	15.6	15.6	6.3	3.1	2.4
中部(307)	87.3	12.4	0.3	52.6	78.4	31.0	24.3	14.2	8.2	2.6
西部(691)	86.6	11.0	0.4	44.3	77.1	34.5	23.2	10.0	7.4	2.8
無回答(30)	66.7	23.3	10.0	60.0	85.0	20.0	10.0	-	-	-

II-問12. SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか (〇いくつまで)

性別	II-問12. SDGsの8つの優先課題のうち、どの課題に関心があるか (〇いくつまで)		II-問13. SDGsの8つの優先課題のうち、7/2020年の優先課題に向けて、行動が特に力を入れるべき課題 (いくつまで)	
	関心がある	関心がない	関心がある	関心がない
全体(1760)	26.3	22.7	33.0	25.7
男性(736)	31.1	20.4	33.3	25.7
女性(944)	21.5	25.0	32.7	25.7
その他(35)	48.6	11.4	20.0	25.7
18～19歳(50)	22.2	24.4	24.4	25.7
20～29歳(180)	24.0	18.0	22.0	24.4
30～39歳(241)	25.6	22.8	29.4	24.4
40～49歳(180)	25.3	22.6	32.4	24.4
50～59歳(200)	24.3	20.8	30.5	24.4
60～69歳(308)	24.3	20.8	30.5	24.4
70歳以上(448)	32.6	31.0	22.3	24.4
18～19歳(19)	25.6	30.8	32.6	24.4
20～29歳(17)	11.5	15.4	23.1	24.4
30～39歳(77)	38.8	15.8	42.1	24.4
40～49歳(96)	32.2	12.1	37.7	24.4
50～59歳(119)	37.7	11.7	40.3	24.4
60～69歳(118)	29.9	23.5	37.0	24.4
70歳以上(106)	29.9	37.0	45.4	24.4
18～19歳(30)	32.2	19.5	32.2	24.4
20～29歳(97)	23.0	51.7	29.0	24.4
30～39歳(131)	23.0	51.7	29.0	24.4
40～49歳(144)	23.0	51.7	29.0	24.4
50～59歳(190)	23.0	51.7	29.0	24.4
60～69歳(237)	23.0	51.7	29.0	24.4
70歳以上(115)	23.0	51.7	29.0	24.4
18～19歳(1)	23.0	51.7	29.0	24.4
20～29歳(6)	23.0	51.7	29.0	24.4
30～39歳(10)	23.0	51.7	29.0	24.4
40～49歳(7)	23.0	51.7	29.0	24.4
50～59歳(8)	23.0	51.7	29.0	24.4
60～69歳(6)	23.0	51.7	29.0	24.4
70歳以上(2)	23.0	51.7	29.0	24.4
無回答(32)	23.0	51.7	29.0	24.4
東部(732)	26.3	22.7	33.0	25.7
中部(307)	26.3	22.7	33.0	25.7
西部(691)	26.3	22.7	33.0	25.7
無回答(30)	26.3	22.7	33.0	25.7

質問14、「自然素材社会」を目指す層級は、あなたの生活を豊かにするか		質問15、「じっとりエコライフ構想」を遂げていく上で、特に重要と考えられる施策（○はいくつでも）													
そう思う	ややそう思う どちらとも 思わない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答											
全体(1700)	20.6	28.7	25.5	9.1	6.5	8.4	1.2	33.7	34.0	28.6	34.2	35.5	25.5	53.3	1.8
性別															
男性(792)	17.9	25.3	27.9	12.9	10.3	4.6	1.1	34.4	34.0	29.2	33.6	36.8	28.4	51.5	1.8
女性(904)	23.2	31.8	23.5	6.4	2.9	11.2	1.1	33.8	37.9	28.4	35.7	35.1	23.8	54.1	1.5
その他(95)	11.4	20.0	28.6	11.4	17.1	11.4	6.7	22.2	22.9	20.0	31.4	20.0	57.1	20.0	2.9
年齢															
無回答(45)	17.8	26.7	26.7	4.4	11.1	17.8	6.7	22.2	24.4	24.4	24.4	15.6	62.2	6.9	
18～19歳(50)	44.0	32.0	12.0	8.0	4.0	56.0	32.0	38.0	38.0	38.0	38.0	40.0	22.0	44.0	-
20～29歳(180)	19.4	26.1	25.8	13.9	5.8	38.9	28.9	37.2	31.7	21.1	21.1	46.1	48.5	0.4	
30～39歳(241)	12.9	30.7	24.9	7.9	10.2	32.0	34.0	30.3	37.8	25.1	37.8	25.1	36.3	0.7	
40～49歳(330)	16.2	26.1	23.3	10.4	6.2	35.1	36.1	38.2	35.8	35.8	35.8	33.0	23.9	0.7	
50～59歳(416)	15.0	25.8	24.9	9.8	6.0	38.1	38.1	37.9	36.3	36.3	36.3	35.1	38.4	2.0	
60～69歳(446)	21.8	26.9	27.0	9.8	4.5	33.3	39.1	37.9	35.3	35.3	35.3	30.1	59.1	2.0	
70歳以上(106)	21.8	26.9	27.0	9.8	4.5	33.3	39.1	37.9	35.3	35.3	35.3	30.1	59.1	2.0	
無回答(27)	25.5	24.7	22.5	7.9	3.2	35.2	35.2	22.9	29.1	30.4	20.7	60.8	6.2		
18～19歳(19)	23.1	19.2	26.9	15.4	7.7	19.2	15.4	19.2	30.8	23.1	11.5	61.5	11.5	11.5	
20～29歳(77)	52.6	28.3	10.5	10.5	4.1	57.9	26.3	47.4	42.1	21.1	42.1	36.8	46.8		
30～39歳(111)	16.9	20.8	29.9	16.9	9.1	36.4	28.6	39.0	36.4	33.8	20.8	46.8			
40～49歳(166)	9.4	21.9	33.3	11.5	18.8	4.2	1.0	32.3	30.2	25.0	24.0	36.5	32.3	40.6	1.0
50～59歳(119)	16.8	19.3	31.9	14.3	13.4	4.2	4.2	29.4	26.1	31.9	30.3	28.6	56.3	0.8	
60～69歳(118)	13.6	28.0	25.4	10.2	17.8	4.2	0.8	23.7	24.6	33.1	36.4	40.7	30.5	42.4	0.8
70歳以上(106)	18.5	28.0	27.5	14.5	15.0	1.0	32.5	36.5	31.5	35.0	40.0	32.0	58.0	1.5	
無回答(106)	25.5	29.2	23.6	10.4	2.8	4.7	3.8	36.7	26.4	17.9	33.0	35.8	22.6	60.4	6.6
性別															
男性(792)	40.0	33.3	13.3	6.7	4.7	53.3	33.3	33.3	30.0	40.0	23.3	46.7			
女性(904)	22.7	30.9	21.6	10.3	3.1	42.3	32.0	21.6	38.1	32.0	21.6	45.4			
その他(95)	16.0	37.4	18.3	4.6	14.4	19.1	32.1	38.9	35.9	34.4	38.9	21.4	52.7		
地域															
東部(32)	20.5	35.3	27.1	7.6	1.4	20.8	30.6	27.1	7.6	1.4	31.4	34.2	37.9	30.0	48.4
中部(307)	22.5	24.8	28.0	8.5	5.9	32.2	31.6	31.1	27.4	34.2	37.9	30.0	48.4	1.1	
西部(69)	21.6	30.1	24.0	10.0	5.5	21.2	29.5	40.9	24.5	36.7	34.2	25.7	60.3	2.5	
無回答(30)	25.3	13.3	33.3	-	13.3	23.3	13.3	16.7	26.7	26.7	26.7	10.0	66.7	6.7	

質問16、電気自動車（EV）購入を促進するために必要と思うこと（○はいくつでも）		質問17、各層級における大規模な電気自動車普及の促進策について		質問18、とっとり県産電気自動車普及について		質問19、とっとり県産電気自動車普及について（近隣県産）																				
重要	重要でない	重要	重要でない	重要	重要でない	重要	重要でない																			
全体(1700)	78.4	49.4	63.6	42.8	9.7	6.3	3.4	1.1	12.1	25.6	30.0	19.5	11.7	1.0	6.8	29.2	62.4	1.5	6.3	26.6	33.1	21.5	10.7	1.8		
性別																										
男性(792)	84.4	53.9	63.9	43.8	19.2	51.6	4.9	0.7	13.3	28.5	28.7	19.5	14.0	0.9	6.7	28.1	67.8	0.4	6.0	25.8	32.1	27.2	13.9	0.4		
女性(904)	72.4	45.0	57.3	45.7	14.3	42.9	23.6	14.3	11.1	5.7	20.0	25.7	22.9	25.7	14.3	22.9	62.9	0.9	8.6	20.0	20.0	31.4	20.0	19.2		
その他(95)	66.7	40.0	60.0	31.1	4.4	42.2	40.0	4.4	2.2	11.1	13.3	20.0	42.2	11.1	4.4	8.9	2.2	17.8	33.3	46.7	2.2	13.3	28.9	4.4	4.4	
年齢																										
18～19歳(50)	74.0	46.0	60.0	28.0	16.0	42.0	32.0	4.0	6.0	12.0	34.0	28.0	18.0	8.0	6.0	12.0	82.0	-	8.0	30.0	36.0	18.0	8.0	8.0		
20～29歳(180)	78.8	54.3	62.4	43.9	17.8	49.4	34.3	0.8	10.1	28.3	27.6	15.3	17.1	1.2	10.2	20.7	46.6	0.4	7.1	24.6	27.6	22.0	14.3	0.4		
30～39歳(241)	74.6	54.3	62.4	43.9	17.8	49.4	34.3	0.8	10.1	28.3	27.6	15.3	17.1	1.2	10.2	20.7	46.6	0.4	7.1	24.6	27.6	22.0	14.3	0.4		
40～49歳(330)	78.3	48.9	62.5	43.9	13.6	47.1	34.3	6.0	5.7	12.9	29.7	30.7	15.7	10.1	7.5	22.9	69.3	0.4	6.1	26.8	36.8	18.9	10.7	0.7		
50～59歳(416)	78.9	52.3	62.0	46.1	8.1	50.3	28.6	7.8	2.9	12.7	29.5	29.5	19.2	11.0	0.6	7.1	27.9	64.9	-	7.8	28.9	32.1	19.5	11.7		
60～69歳(446)	84.2	49.3	67.8	45.3	3.3	52.9	22.1	5.1	2.7	13.3	28.6	28.6	22.1	7.6	13.3	6.5	37.7	55.4	0.4	6.3	26.8	35.0	22.8	7.6	1.6	
70歳以上(106)	82.6	53.6	67.7	46.2	2.2	51.6	28.9	7.9	2.2	11.5	27.7	19.2	38.4	13.2	11.5	3.5	42.3	38.8	3.8	29.7	31.6	23.3	7.7	7.3		
無回答(27)	69.2	34.6	57.7	30.8	-	48.2	28.9	-	-	5.3	31.6	26.3	5.3	5.3	15.8	84.2	31.6	47.4	15.8	47.4	15.8	5.3	33.3			
18～19歳(19)	74.0	59.7	67.5	41.6	22.1	48.1	35.1	6.5	5.2	7.5	15.6	37.7	19.5	19.5	-	3.9	29.4	72.7	-	7.8	19.5	28.6	27.3	16.9		
20～29歳(77)	80.2	48.9	66.6	46.6	14.6	55.2	21.9	6.3	5.2	1.0	12.0	22.9	18.7	10.0	6.3	26.0	65.6	-	6.3	24.0	31.3	17.7	20.8			
30～39歳(111)	78.7	54.3	62.4	43.9	17.8	49.4	34.3	0.8	10.1	28.3	27.6	15.3	17.1	1.2	10.2	20.7	46.6	-	7.6	53.1	24.0	15.3	16.1			
40～49歳(166)	73.7	51.7	63.6	44.9	7.4	55.1	22.9	7.6	5.9	14.4	26.3	23.0	16.1	14.4	0.8	5.1	32.2	46.2	-	7.6	53.1	24.0	15.3	16.1		
50～59歳(119)	78.3	48.9	62.5	43.9	13.6	47.1	34.3	6.0	5.7	12.9	29.7	30.7	15.7	10.1	7.5	22.9	69.3	0.4	6.1	26.8	36.8	18.9	10.7	0.7		
60～69歳(118)	78.3	39.5	69.4	46.2	1.9	55.8	13.2	5.7	1.9	12.3	25.5	34.9	16.0	8.5	2.8	2.8	40.6	55.7	0.9	3.8	31.1	30.2	23.8	10.4	0.9	
70歳以上(106)	70.0	38.7	46.7	26.7	16.7	30.0	20.0	6.7	6.7	16.7	30.0	30.0	10.0	10.0	-	10.0	30.0	30.0	10.0	30.0	30.0	20.0	10.0	10.0		
性別																										
男性(792)	76.3	55.5	62.2	41.2	19.8	46.6	31.3	6.1	1.5	0.8	9.2	33.6	22.9	19.3	14.5	1.5	10.7	22.1	66.4	0.8	6.9	28.2	25.0	26.0	12.2	0.9
女性(904)	78.4	52.6	61.1	46.8	8.4	47.4	32.1	7.9	1.1	11.6	27.4	30.5	21.1	8.9	0.5	8.4	25.3	66.3	-	7.8	26.3	34.7	22.1	6.9	0.7	
その他(95)	97.3	54.9	68.4	45.1	3.0	45.6	23.8	3.4	1.3	17.7	13.1	25.3	28.7	23.9	6.3	17.1	8.0	49.9	51.1	6.3	29.5	33.8	22.4	5.9	2.1	
年齢																										
18～19歳(19)	100.0	100.0	97.4	37.4	100.0	41.7	23.0	81.7	17.1	26.8	14.9	100.0	34.0	81.7	95.1	100.0	47.8	48.1	1.7	100.0	27.8	37.4	22.0	32.1	0.2	
20～29歳(77)	50.0	50.0	50.0	16.7	16.7	66.7	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	50.0	-	33.3	16.7	50.0	-	100.0	-	20.0	40.0	10.0	10.0	20.0		
30～39歳(111)	100.0	60.0	70.0	60.0	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	20.0	30.0	10.0	20.0	-	20.0	30.0	50.0	20.0	20.0		
40～49歳(166)	85.7	28.6	57.1	42.9	14.3	28.6																				